

(表)

地域医療支援病院業務報告書

令和 6年 10月 11日

(宛先) 川崎市長

住 所 川崎市川崎区宮本町 1 番地

氏 名 川 崎 市

川 崎 市 長 福 田 紀 彦

(公印省略)
〔 法人にあっては、主たる事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名 〕

電話番号 044-200-2111 (代)

令和5年度の業務に関して報告します。

名 称	川崎市立多摩病院	電話	044-933-8111
所 在 地	川崎市多摩区宿河原 1 丁目 30 番 37 号		
病 床 数	376 床		
病 床 種 別	精神病床	床	感染症病床 床 結核病床 床
	療養病床	床	一般病床 376 床
施設の構造設備の概要			
集中治療室	(主な設備) 名 称: 集中治療室 ※ベッドサイドモニター10台、セントラルモニター式、除細動装置1台、 人工呼吸器2台、スポット型パルスオキシメーター式、ベッド10台ほか ※病床数 ICU 7床、CCU 3床 計 10床		
化学検査室	(主な設備) 名 称: 検体検査室 ※生化学自動分析装置2台、浸透圧測定装置1台、血液ガス分析装置2台ほか		
細菌検査室	(主な設備) 名 称: 細菌検査室 ※微生物感受性分析装置1台、全自動血液培養装置2台、光学顕微鏡1台ほか		
病理診断科	(主な設備) 名 称: 病理診断科 ※病理診断支援システム一式、自動免疫染色装置1台、 全自動染色装置・封入装置、顕微鏡ほか		
病理解剖室	(主な設備) 名 称: 剖検室 ※埋込型遺体冷蔵庫1台、昇降式解剖台1台、密閉式自動固定包埋装置1台、 オートクレーブ1台、ジェット式器具洗浄機1台、真空包装機1台ほか		



(裏)

研 究 室	(主な設備及び施設) 許可名称:研究室 ※室数 1室 収容定員 4~6人 ※プロジェクター1台、パーソナルコンピュータ1台ほか
講 義 室	(主な設備及び施設) 許可名称:講堂 ※講 堂 室数 1室 収容定員 100人 ※プロジェクター1台、パーソナルコンピュータ1台、放送設備ほか
図 書 室	(主な設備及び施設) 許可名称:図書室 ※室数 1室 ※パーソナルコンピュータ 検索用2台 蔵書数245冊 雑誌タイトル数54タイトル 製本雑誌129冊 オンライン資料 電子ジャーナル(Micro Medex, Medical Online, 医書.jpオールアクセス, 医中誌Web) 診療支援データベース(DynaMed, Up to Date)
救急用又は 患者搬送用 自 動 車	(主な設備) ※普通、ニッサン、CBF-FPWGE50改 保有台数 1台 ※緊急自動車使用届出確認書・自動車検査証あり
医 薬 品 情報管理室	(専用室の場合) 許可名称:DI・TDM室(共用室の場合) ※施設 床面積 24.89㎡ (共有室の場合) TDM(薬物治療モニタリング)室と共用

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

- 添付書類
- 1 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績に関する書類
 - 2 地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)の実績に関する書類
 - 3 救急医療の提供の実績に関する書類
 - 4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績に関する書類
 - 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類
 - 6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績に関する書類
 - 7 医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績に関する書類
 - 8 患者相談の実績に関する書類
 - 9 その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されている
ことを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	79.0%	算定 期間	令和 5年 4月 1日～令和 6年 3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率	80.6%		
算出 根拠	A：紹介患者の数		13,802人
	B：初診患者の数		17,467人
	C：逆紹介患者の数		14,070人

- (注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13)救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入に対応できる医療従事者の確保状況

NO.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
1	医師		常勤	専従	8:30～17:00 17:00～8:30ローテーション	救急災害医療センター
2	医師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
3	医師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
4	医師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
5	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
6	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
7	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
8	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
9	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
10	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
11	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
12	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
13	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
14	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
15	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
16	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
17	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
18	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
19	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
20	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
21	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
22	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
23	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
24	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
25	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
26	医師		常勤	非専従	〃	呼吸器内科
27	医師		常勤	非専従	〃	呼吸器内科
28	医師		常勤	非専従	〃	呼吸器内科

(様式例第13)救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入に対応できる医療従事者の確保状況

NO.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
29	医師		常勤	非専従	〃	呼吸器内科
30	医師		常勤	非専従	〃	循環器内科
31	医師		常勤	非専従	〃	循環器内科
32	医師		常勤	非専従	〃	循環器内科
33	医師		常勤	非専従	〃	循環器内科
34	医師		常勤	非専従	〃	循環器内科
35	医師		常勤	非専従	〃	循環器内科
36	医師		常勤	非専従	〃	消化器内科
37	医師		常勤	非専従	〃	消化器内科
38	医師		常勤	非専従	〃	消化器内科
39	医師		常勤	非専従	〃	消化器内科
40	医師		常勤	非専従	〃	腎臓・高血圧内科
41	医師		常勤	非専従	〃	腎臓・高血圧内科
42	医師		常勤	非専従	〃	腎臓・高血圧内科
43	医師		常勤	非専従	〃	腎臓・高血圧内科
44	医師		常勤	非専従	〃	腎臓・高血圧内科
45	医師		常勤	非専従	〃	代謝・内分泌内科
46	医師		常勤	非専従	〃	代謝・内分泌内科
47	医師		常勤	非専従	〃	脳神経内科
48	医師		常勤	非専従	〃	脳神経内科
49	医師		常勤	非専従	〃	脳神経内科
50	医師		常勤	非専従	〃	脳神経内科
51	医師		常勤	非専従	〃	脳神経内科
52	医師		常勤	非専従	〃	血液・腫瘍内科
53	医師		常勤	非専従	〃	小児科
54	医師		常勤	非専従	〃	小児科
55	医師		常勤	非専従	〃	小児科
56	医師		常勤	非専従	〃	小児科

(様式例第13)救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入に対応できる医療従事者の確保状況

NO.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
57	医師		常勤	非専従	〃	小児科
58	医師		常勤	非専従	〃	小児科
59	医師		常勤	非専従	〃	小児科
60	医師		常勤	非専従	〃	放射線診断・IVR
61	医師		常勤	非専従	〃	放射線診断・IVR
62	医師		常勤	非専従	〃	放射線診断・IVR
63	医師		常勤	非専従	〃	放射線診断・IVR
64	医師		常勤	非専従	〃	放射線診断・IVR
65	医師		常勤	非専従	〃	消化器・一般外科
66	医師		常勤	非専従	〃	消化器・一般外科
67	医師		常勤	非専従	〃	消化器・一般外科
68	医師		常勤	非専従	〃	消化器・一般外科
69	医師		常勤	非専従	〃	消化器・一般外科
70	医師		常勤	非専従	〃	消化器・一般外科
71	医師		常勤	非専従	〃	消化器・一般外科
72	医師		常勤	非専従	〃	脳神経外科
73	医師		常勤	非専従	〃	脳神経外科
74	医師		常勤	非専従	〃	脳神経外科
75	医師		常勤	非専従	〃	脳神経外科
76	医師		常勤	非専従	〃	整形外科
77	医師		常勤	非専従	〃	整形外科
78	医師		常勤	非専従	〃	整形外科
79	医師		常勤	非専従	〃	整形外科
80	医師		常勤	非専従	〃	整形外科
81	医師		常勤	非専従	〃	産婦人科
82	医師		常勤	非専従	〃	産婦人科
83	医師		常勤	非専従	〃	産婦人科
84	医師		常勤	非専従	〃	産婦人科

(様式例第13)救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入に対応できる医療従事者の確保状況

NO.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
85	医師		常勤	非専従	〃	産婦人科
86	医師		常勤	非専従	〃	産婦人科
87	医師		常勤	非専従	〃	麻酔
88	医師		常勤	非専従	〃	麻酔
89	医師		常勤	非専従	〃	麻酔
90	医師		常勤	非専従	〃	麻酔
91	医師		常勤	非専従	〃	研修医
92	医師		常勤	非専従	〃	研修医
93	医師		常勤	非専従	〃	研修医
94	医師		常勤	非専従	〃	研修医
95	医師		常勤	非専従	〃	研修医
96	医師		常勤	非専従	〃	研修医
97	医師		常勤	非専従	〃	研修医
98	医師		常勤	非専従	〃	研修医
99	医師		常勤	非専従	〃	研修医
100	医師		常勤	非専従	〃	研修医
101	医師		常勤	非専従	〃	研修医
102	医師		常勤	非専従	〃	研修医
103	医師		常勤	非専従	〃	研修医
104	医師		常勤	非専従	〃	研修医
105	医師		常勤	非専従	〃	研修医
106	医師		常勤	非専従	〃	研修医
107	医師		常勤	非専従	〃	研修医
108	医師		常勤	非専従	〃	研修医
109	医師		常勤	非専従	〃	研修医
110	医師		常勤	非専従	〃	研修医

(様式例第13)救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入に対応できる医療従事者の確保状況

NO.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
1	看護師		常勤	専従	8:30～17:00・16:30～9:00 2交代・ローテーション	ICU
2	看護師		常勤	専従	〃	ICU
3	看護師		常勤	専従	〃	ICU
4	看護師		常勤	専従	〃	ICU
5	看護師		常勤	専従	〃	ICU
6	看護師		常勤	専従	〃	ICU
7	看護師		常勤	専従	〃	ICU
8	看護師		常勤	専従	〃	ICU
9	看護師		常勤	専従	〃	ICU
10	看護師		常勤	専従	〃	ICU
11	看護師		常勤	専従	〃	ICU
12	看護師		常勤	専従	〃	ICU
13	看護師		常勤	専従	〃	ICU
14	看護師		常勤	専従	〃	ICU
15	看護師		常勤	専従	〃	ICU
16	看護師		常勤	専従	〃	ICU
17	看護師		常勤	専従	〃	ICU
18	看護師		常勤	専従	〃	ICU
19	看護師		常勤	専従	〃	ICU
20	看護師		常勤	専従	〃	ICU
21	看護師		常勤	専従	〃	ICU
22	看護師		常勤	専従	〃	ICU
23	看護師		常勤	専従	〃	ICU
24	看護師		常勤	専従	〃	ICU
25	看護師		常勤	専従	〃	ICU
26	看護師		常勤	専従	〃	ICU
27	看護師		常勤	専従	〃	ICU
28	看護師		常勤	専従	〃	ICU

(様式例第13)救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入に対応できる医療従事者の確保状況

NO.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
29	看護師		常勤	専従	〃	ICU
30	看護師		常勤	専従	〃	ICU
31	看護師		常勤	専従	〃	ICU
32	看護師		常勤	専従	〃	ICU
33	看護師		常勤	専従	〃	救急外来
34	看護師		常勤	専従	〃	救急外来
35	看護師		常勤	専従	〃	救急外来
36	看護師		常勤	専従	〃	救急外来
37	看護師		常勤	専従	〃	救急外来
38	看護師		常勤	専従	〃	救急外来
39	看護師		常勤	専従	〃	救急外来
40	看護師		常勤	専従	〃	救急外来
41	看護師		常勤	専従	〃	救急外来
42	看護師		常勤	専従	〃	救急外来
43	看護師		常勤	専従	〃	救急外来
44	看護師		常勤	専従	〃	救急外来
45	看護師		常勤	専従	〃	救急外来
46	看護師		常勤	専従	〃	救急外来
47	看護師		常勤	専従	〃	救急外来

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	
専用病床	病院1階集中治療室 ICU 7床 CCU 3床 病院3階西病棟 NCU 4床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
内視鏡センター	231. 33 m ²	別紙－1 参照	可
救急災害医療センター	1,064. 49 m ²	別紙－2 参照	可
一般撮影室	29. 88 m ²	別紙－3 参照	可
CT撮影室	25. 37 m ²	別紙－4 参照	可
MR検査室	26. 00 m ²	別紙－5 参照	可
血管撮影室	84. 02 m ²	別紙－6 参照	可
生理検査室	26. 12 m ²	別紙－7 参照	可
超音波室	36. 39 m ²	別紙－8 参照	可
検体検査室・細菌検査室	110. 89 m ²	別紙－9 参照	可
手術室(6室)	1,099. 75 m ²	別紙－10 参照	可
腎センター(透析室)	480. 15 m ²	別紙－11 参照	可
輸血室	28. 49 m ²	別紙－12 参照	可
ヘリポート	440. 67 m ²	別紙－13 参照	可

4 備考

- ・ 救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院認定
救急病院認定

「救急病院の認定について(通知) 平成18年1月25日(医第688号)」

平成18年2月1日 から 令和 6年1月31日まで

神奈川県告示第31号 平成18年1月31日

現認定有効期間

「救急病院の認定について(通知) 令和6年2月2日(医第42号)」

令和6年2月1日 から 令和9年1月31日まで

神奈川県告示第182号 令和3年2月19日

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について、(昭和52年7月6日付け医発第693号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院に会っては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した 救急患者の数	4,580 人 (1,569 人)
上記以外の救急患者の数	3,922 人 (1,379 人)
合計	8,502 人 (2,948 人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の述べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

内視鏡センター 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設置場所
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-H260	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-H260	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-H260	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-H260	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-H260	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-H260	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-XP260	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-Q240Z	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-Q260J	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-2TQ260M	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	オリンパス	CF-H260AZI	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	オリンパス	CF-H260AZI	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	オリンパス	CF-H260AZI	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	オリンパス	CF-H260AZI	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	オリンパス	CF-Q260AI	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	オリンパス	PCF-Q260AI	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	オリンパス	CF-Q240ZI	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	オリンパス	CF-Q240ZI	内視鏡センター
透視下電子内視鏡システム(気管支ビデオスコープ)	オリンパス	BF-1T260	内視鏡センター
透視下電子内視鏡システム(気管支ビデオスコープ)	オリンパス	BF-260	内視鏡センター
透視下電子内視鏡システム(気管支ビデオスコープ)	オリンパス	BF-260	内視鏡センター
透視下電子内視鏡システム(十二指腸ビデオスコープ)	オリンパス	JF-260V	内視鏡センター
透視下電子内視鏡システム(十二指腸ビデオスコープ)	オリンパス	JF-260V	内視鏡センター
透視下電子内視鏡システム(十二指腸ビデオスコープ)	オリンパス	TJF-240	内視鏡センター
透視下電子内視鏡システム(多用途細経ビデオスコープ)	オリンパス	CHF-B260	内視鏡センター
高周波手術装置(APC付)	アムコ	VIO300D、APC2 他	内視鏡センター
高周波手術装置(APC付)	アムコ	VIO300D、APC2 他	内視鏡センター
高周波手術装置(エントカット機能付)	アムコ	VIO300DエントカットIQ、APC2 他	内視鏡センター
薬用保冷库	サンヨー電機	MPR-214F	内視鏡センター
超音波洗浄器	オリンパス	ENDSONIC	内視鏡センター
超音波洗浄器	オリンパス	ENDSONIC	内視鏡センター
カセット式卓上型高圧蒸気滅菌器	サクラ精機	STAITIM S-5000	内視鏡センター
内視鏡用診察台	タラヘルモント	EX-SP33N+DB-EX-L	内視鏡センター
内視鏡用診察台	タラヘルモント	EX-SP33N+DB-EX-L	内視鏡センター
内視鏡用診察台	タラヘルモント	EX-SP33N+DB-EX-L	内視鏡センター
内視鏡用診察台	タラヘルモント	EX-SP33N+DB-EX-L	内視鏡センター
リクライニングベッド	パラマウントベッド	KA-823、KC-56	内視鏡センター

リクライニングベッド	パラマウントベッド	KA-823、KC-56	内視鏡センター
リクライニングベッド	パラマウントベッド	KA-823、KC-56	内視鏡センター
喉頭ファイバースコープ	オリンパス	LF-TP	内視鏡センター
内視鏡保管庫4本掛け	センシメディカル	EN-A-2	内視鏡センター
超低温フリーザ	サンヨー	MDF-U32V	内視鏡センター
処置・包交カート	サカセ化学	C34-A1011HMKTY2	内視鏡センター
リカバリーベッド	パラマウントベッド	KA-830A、KE-525、KA-0271	内視鏡センター
EVIS LUCERA大腸ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ(株)	PCF-Q260AL/1	内視鏡センター
EVIS LUCERA大腸ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ(株)	PCF-Q260AZI	内視鏡センター
EVIS LUCERA上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ(株)	GIF-H260Z	内視鏡センター
内視鏡検査モニタリングシステム	(株)朋栄	MVA-400他	内視鏡センター
高周波手術装置	(株)アムコ	VIO300D	内視鏡センター
内視鏡部門システム	富士フィルムメディカル(株)		内視鏡センター
内視鏡システム一式	オリンパスメディカルシステムズ(株)	CV-290他	内視鏡センター
内視鏡用超音波観測装置	オリンパスメディカルシステムズ(株)	EU-ME2 PREMIER PLUS 他	内視鏡センター
小腸ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ(株)	SIF-H290S	内視鏡センター
EVIS LUCERA ELITE 気管支ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ(株)	BF-XP290	内視鏡センター
物質併用電気手術器 エルベVIO300D エンドカットモデル	(株)アムコ	E120700	内視鏡センター
十二指腸ビデオスコープ	オリンパス	TJF-Q290V	内視鏡センター
ESDスコープ ESG-300セット	オリンパス	GIF-H290T/ESG-300	内視鏡センター
内視鏡洗浄消毒装置	オリンパスメディカルシステムズ(株)	OER-6	内視鏡センター
高周波焼灼電源装置	オリンパスメディカルシステムズ(株)	ESG-300	内視鏡センター

救急災害医療センター 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設定場所
アーム式シーリングペンダント(救急処置室用)	ドレーゲルメディカルジャパン	Movita Life	救急災害医療センター
アーム式シーリングペンダント(救急処置室用)	ドレーゲルメディカルジャパン	Movita Life	救急災害医療センター
薬用保冷庫	サンヨー電機	MPR-214F	救急災害医療センター
薬用保冷庫	サンヨー電機	MPR-214F	救急災害医療センター
薬用保冷庫	サンヨー電機	MPR-214F	救急災害医療センター
VVI体外式ペースメーカー	日本光電工業	VVI EDP-20A	救急災害医療センター
ギブスカッター	日本ストライカー	OR-940-S	救急災害医療センター
ギブスカッター吸引器	日本ストライカー	OR-986	救急災害医療センター
無影灯(スタンド式移動型)	東機質	4003US	救急災害医療センター
血液凝固計(ACT測定装置)	平和物産	ヘモクロン401	救急災害医療センター
検診台(救命婦人科)	アトムメディカル	CM-6920(ET-8500Ⅲ)	救急災害医療センター
製氷機	ホシザキ電機	IM-55L-1	救急災害医療センター
低圧持続吸引器	泉工医科工業	メラサキューム MS-008	救急災害医療センター
別注壁取付棚	センシンメディカル	No509097	救急災害医療センター
別注ステンレスシンク	センシンメディカル	No509096	救急災害医療センター
アーム式シーリングペンダント(CCU用)	ドレーゲルメディカルジャパン	Movita Warm+Warm	ICU
アーム式シーリングペンダント(CCU用)	ドレーゲルメディカルジャパン	Movita Warm+Warm	ICU
アーム式シーリングペンダント(CCU用)	ドレーゲルメディカルジャパン	Movita Warm+Warm	ICU
ビーム式シーリングペンダント	ドレーゲルメディカルジャパン	Ponta E/S	ICU
ビーム式シーリングペンダント	ドレーゲルメディカルジャパン	Ponta E/S	ICU
ビーム式シーリングペンダント	ドレーゲルメディカルジャパン	Ponta E/S	ICU
ビーム式シーリングペンダント	ドレーゲルメディカルジャパン	Ponta E/S	ICU
ビーム式シーリングペンダント	ドレーゲルメディカルジャパン	Ponta E/S	ICU
ビーム式シーリングペンダント	ドレーゲルメディカルジャパン	Ponta E/S	ICU
ビーム式シーリングペンダント	ドレーゲルメディカルジャパン	Ponta E/S	ICU
ICUベッド	パラマウント	KA-8701、KE-807	ICU
ICUベッド	パラマウント	KA-8701、KE-808	ICU
ICUベッド	パラマウント	KA-8701、KE-809	ICU
ICUベッド	パラマウント	KA-8701、KE-811	ICU
デジタル体重計付ICUベッド	パラマウント	KA-8530A、KE-803	ICU
経皮の心肺補助装置	テルモ	キャピオックスEBS	ICU
連続心肺出量測定装置	エドワーズライフサイエンス	CEDVモニター-VGSVSYG VIG2	ICU
連続心肺出量測定装置	エドワーズライフサイエンス	CEDVモニター-VGSVSYG VIG2	ICU
連続心肺出量測定装置	エドワーズライフサイエンス	CEDVモニター-VGSVSYG VIG2	ICU
プラム スライディングストレッチャー(車椅子タイプ)	村中	SR-500N(260-003-02)	救急観察室
超音波診断装置Viamo	東芝メディカルシステムズ(株)	SSA-640A/JI	救急観察室
ナージングストレッチャー	村中	NST-2	救急観察室
エマージェンシーストレッチャー	パラマウントベッド(株)	KK-8120B	救急観察室
汎用超音波画像診断装置 Venue	GEヘルスケア・ジャパン(株)	Venue R2 他	救急観察室

無侵襲混合血酸素飽和度監視システム	コヴィディエンジャパン(株)	INVOS 5100C	救急処置室
血液浄化用装置	東レ・メディカル(株)	TR55X-II	救急処置室
血液浄化用装置	東レ・メディカル(株)	TR55X-II	救急処置室
CVC穿刺挿入シミュレーターⅡ	(株)京都科学	M93B(11347-300)	救急災害医療センター
CVC穿刺挿入シミュレーターⅡ	(株)京都科学	M93B(11347-300)	救急災害医療センター
ベッドサイドモニタ BSM-6701	日本光電工業株	MU-671R-Q20 他	救急処置室
与薬カート 20床用 YT-9セット ストップバーカギ付	村中	GUA4-AL21020	ICU
BISモニタ Vista	日本光電工業株	A-3000	ICU
ビジレオモニター	エドワーズライフサイエンス(株)	MHM1	ICU
中心静脈留置型経皮的体温調節装置システム(サーモガードシステム)	旭化成ゾールメディカル(株)	8700-0650-03	ICU
生体情報管理システム	日本光電南関東(株)		ICU
汎用超音波画像診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Vscan Dual Probe	ICU
汎用超音波画像診断装置 SonoSite iViz	富士フイルムメディカル(株)	タブレット型超音波診断装置 iViz	ICU
超音波画像診断装置	東芝メディカルシステムズ(株)	Xario SSA-660A/LG	救急観察室
スマートリフトスケール2	(株)エー・アンド・ディ	AD-6082	ICU
アトム HL洗髪車	アトム	52004	ICU
電動リモートコントロールベッド	パラマウントベッド	KA-H7210A	ICU
電動リモートコントロールベッド	パラマウントベッド	KA-H7210A	ICU
エマージェンシーストレッチャー	パラマウントベッド	KK-8120B	救急観察室
電動リモートコントロールベッド	パラマウントベッド	KA-H7210A	ICU
電動リモートコントロールベッド	パラマウントベッド	KA-H7210A	ICU
電動リモートコントロールベッド	パラマウントベッド	KA-H7210A	ICU
ビデオ喉頭鏡セット	カールストルツ	8403KXC	救急災害医療センター
遠隔ICUシステム一式	日本光電工業	ネットワークカメラ一式	ICU
ブランケットローラーⅢ	アイエムアイ	本体セット	救急災害医療センター
エマージェンシーストレッチャー	パラマウントベッド	KK-8020B	救急処置室

一般撮影室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設置場所
デジタル式乳房X線撮影装置(Tomosynthesis)	(株)日立製作所	SELENIA Dimensions	一般・X線TV室
ドライイメージャ	ケアストリームヘルス(株)	DV5950	一般・X線TV室
EIZOディスプレイ及び検像システム	(株)ナナオ	RadiForce GS521-CLG 他	一般・X線TV室
デジタル式乳房X線撮影装置(Tomosynthesis)	(株)日立製作所	SELENIA Dimensions	一般・X線TV室
ドライイメージャ	ケアストリームヘルス(株)	DV5950	一般・X線TV室
骨密度測定装置	東洋メディック	Horizon Wi型	一般・X線TV室
X線ポータブル・FFD撮影システム	富士フィルムメディカル	MobileArtEvolution・CALEO	一般・X線TV室
デジタルX線透視撮影システム一式	富士フィルムヘルスケア	CUREVISTA Open 他	一般・X線TV室
一般X線撮影装置 間接変換FPD装置	富士フィルムメディカル	CALNEO Smart C77他	一般・X線TV室
診断用X線装置	富士フィルムメディカル	DR BENE0 eX他	一般・X線TV室
診断用X線撮影装置	富士フィルムメディカル	DR BENE0 Fx他	一般・X線TV室
診断用X線撮影装置	富士フィルムメディカル	DR BENE0 Fx他	一般・X線TV室
PDFデータ取り込み用ファイル転送装置一式	キャノン	FTS-100	一般・X線TV室
CD作成機	エプソン	PP-100Ⅲ	一般・X線TV室
画像サーバーNAS	キャノンメディカルシステムズ	SNAS01W-32	サーバー室

CT室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設置場所
デュアルショットGX用圧力監視モニター	デュアルショットGX用	(株)根本杏林堂	CT室
デュアルショットGX用圧力監視モニター	デュアルショットGX用	(株)根本杏林堂	CT室
多相電動式造影剤注入装置 プロトCO2L	ES390005	エーディア(株)	CT室
80列CTシステム	キャノンメディカルシステムズ	Aquilion PRIME Focus Edition	CT室
320列エリアディテクタCTシステム	キャノンメディカルシステムズ	Aquilion-ONE NATURE	CT室

MR検査室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設置場所
超電導磁気共鳴断層撮影システム(MRI)(循環器用)	フィリップス	1.5T Achiva NOVA	MRI室
超電導磁気共鳴断層撮影システム(MRI)(脳神経外科用)	フィリップス	1.5T Achiva NOVA	MRI室
MRI用磁性体検知器 MAGGUARD-H(マグガードハンディ)	フジデノロ(株)	DH-MH101	MRI室
MRI室用パルスオキシメータ及び外部監視システム	スター・プロダクト(株)	7500FO	MRI室

血管撮影室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設置場所
ベッドサイドモニター一式	日本光電工業株	BSM-6301	血管撮影室
血液凝固計 ヘモクロン401	平和物産	401	血管撮影室
除細動器(デフィブリレータ)	日本光電工業株	TEC-5531	血管撮影室
放射線防護用固定式バリア・アンギオカーテン	(株)保科製作所	AP-2B(特注)	血管撮影室
大動脈内バルーンポンプ	マッケ・ジャパン(株)	CS300	血管撮影室
ANGIO CT装置 テーブルエクステンダー(多目的台座型マウント含む)	GEヘルスケア・ジャパン	Endrail	血管撮影室
非目視下非鏡視下処置用電気手術器 RF-Generator	日本ライフライン	RFP-100-115	血管撮影室
体外式ペースメーカー 3077	セント・ジュード・メディカル(株)	EXT3077	血管撮影室
体外式ペースメーカー 3077	セント・ジュード・メディカル(株)	EXT3077	血管撮影室
Prucka心臓カテーテルモニタリングシステム	GEヘルスケア・ジャパン	ComboLab XT128ch Ver.6.9.5	血管撮影室
血管撮影装置	シーメンスヘルスケア(株)	Artis zee BA Twin PURE	血管撮影室
超音波画像診断装置	キャノンメディカル	Xario 100G	血管撮影室
超音波画像診断装置	フィリップス・ジャパン	CX50 Xper	血管撮影室
血管治療器具 ロータブレーターPRO	ボストンサイエンティフィック ジャパン	H74939309060	血管撮影室
ペースメーカー電極アナライザカーディアックススティムレータ	日本光電工業	SEC-5104	血管撮影室
据置型デジタル式循環器用X線透視診断装置(IVR-CTシステム)	キャノンメディカルシステムズ	Alphenix INFX-8000C	血管撮影室

生理検査室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設定場所
心電計（生理検査システム）	フクダ電子	FCP-7431	生理検査
心電計（生理検査システム）	フクダ電子	FCP-7431	生理検査
心電計（生理検査システム）	フクダ電子	FCP-7431	生理検査
自動心電計（生理検査システム）	フクダ電子	FDX-6531	生理検査
トレッドミル心電計（血圧付）（生理検査システム）	フクダ電子	ML-9000、MAT-2700、FB-300	生理検査
ホルター心電計（生理検査システム）	フクダ電子	FM-120	生理検査
ホルター心電計（生理検査システム）	フクダ電子	FM-120	生理検査
ホルター心電計（生理検査システム）	フクダ電子	FM-120	生理検査
ホルター心電計（生理検査システム）	フクダ電子	FM-120	生理検査
ホルター心電計（生理検査システム）	フクダ電子	FM-120	生理検査
ホルター心電計（生理検査システム）	フクダ電子	FM-120	生理検査
脳波システム（生理検査システム）	フクダ電子	コメットCMXL-E、コメットCMP-E、HP DC5100 他	生理検査
電子スパイロメーター（生理検査システム）	フクダ電子	SP-770	生理検査
デジタルホルタ記録器	フクダ電子	FM-800	生理検査
デジタルホルタ記録器	フクダ電子	FM-800	生理検査
デジタルホルタ記録器	フクダ電子	FM-800	生理検査
総合呼吸機能自動解析装置	フクダ電子	FUDAC-77	生理検査
ホルター自動連続血圧計	フクダ電子(株)	FB-270	生理検査
ホルター自動連続血圧計	フクダ電子(株)	FB-270	生理検査
血圧脈波検査装置 VaSera	フクダ電子(株)	VS-3000TN	生理検査
生理検査部門システム	富士フィルムメディカル(株)		生理検査
脳波計判読用PCの増設および脳波システムPCソフトウェアバージョンアップ実施	フクダ電子	HP ProiDesk 600 G1 SFF	生理検査
聴力検査管理システム	リオン(株)	リオンシステム	生理検査
デジタルホルタ記録器	フクダ電子(株)	FM-190	生理検査
デジタルホルタ記録器	フクダ電子(株)	FM-190	生理検査
ホルター心電図解析装置	フクダ電子(株)	SCM-800他	生理検査
筋電図・誘発電位検査装置	日本光電工業株	MEB-2312	生理検査
電動リモートコントロールベッド他	パラマウントベッド(株)	KA-8332	生理検査
重心動揺計グラビコーダ		GW-31他	生理検査
ホルタ記録器	フクダ電子(株)	FM-190	生理検査
ホルタ記録器	フクダ電子(株)	FM-190	生理検査
ホルタ記録器	フクダ電子(株)	FM-190	生理検査

ホルタ記録器	フクダ電子(株)	FM-980他	生理検査
ホルタ記録器	フクダ電子(株)	FM-980他	生理検査
解析付心電計	フクダ電子(株)	FCP-8800	生理検査
睡眠評価装置 パルスリープ	フクダ電子(株)	LS-140他	生理検査
鼻腔通気度計	日本光電工業株	MPR-3100	生理検査
無散瞳眼底カメラ	(株)トプコンメディカルジャパン	TRC-NW400	生理検査
睡眠評価装置 パルスリープ	フクダ電子(株)	LS-120S	生理検査
心電計(生理検査システム)	フクダ電子	FCP-7431	生理検査

超音波室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設置場所
電動診察台 EX-SD8	タカラベルモント	EX-SD8	超音波検査室
電動診察台	タカラベルモント	EX-SD6	超音波検査室
超音波診断装置	フィリップス・レスピロニクス合同会社	EPIQ7	超音波検査室
超音波診断装置 EPIQ7	フィリップス・レスピロニクス合同会社	EPIQ7他	超音波検査室
超音波診断装置	キャノンメディカル	Aplio a450	超音波検査室
超音波画像診断装置	富士フィルムヘルスケア	ARIETTA850	超音波検査室

検体検査室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設定場所
ディスカッション装置	オリンパス	BX2N-SDO	検体検査室
顕微鏡	オリンパス	BX51N-34	検体検査室
顕微鏡	オリンパス	CX-41	検体検査室
生物顕微鏡	オリンパス	CX41N-11	検体検査室
写真撮影装置	オリンパス	PM10SP-1	検体検査室
電気味覚計	リオン	TR-06	検体検査室
卓上低速遠心機	久保田商事	2420	検体検査室
試験管ヒータ	東機貿	K-FHT-1012	検体検査室
小型卓上遠心機	日立工機	CT4D	検体検査室
小型卓上遠心機	日立工機	CT4D	検体検査室
総合呼吸機能自動解析装置	フクダ電子横浜販売(株)	FUDAC-77	検体検査室
超音波骨密度測定装置	(株)エルクコーポレーション	CM-200	検体検査室

細菌検査室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設定場所
細菌検査システム	A&T	CLINILAN MB2	細菌検査
自動細菌検査装置	シーメンス	Walk Away 40SI	細菌検査
微生物感受性分析装置	デイドベーリング	Auto SCAN-4	細菌検査
全自動血液培養装置	日本ビオメリュー	バクテアラート3D	細菌検査
全自動血液培養装置	シスメックス	バクテアラート3D	細菌検査
光学顕微鏡	オリンパス	BX-41	細菌検査
インキュベーター	旭テクノグラス	NIB-11	細菌検査
インキュベーター	旭テクノグラス	NIB-11	細菌検査
CO2インキュベーター	サンヨー	MCO-5AC	細菌検査

インキュベーター	サンヨー	MIR-553	細菌検査
オートクレーブ	トミー精工	SX-500	細菌検査
安全キャビネット	サンヨー	MHE-91AB3	細菌検査
冷蔵ショーケース	サンヨー	MPR-311D	細菌検査
冷蔵ショーケース	サンヨー	MPR-311D	細菌検査
冷蔵ショーケース	サンヨー	MPR-311D	細菌検査
遠心機	コクサン	H-19FM	細菌検査
全自動遺伝子解析装置	東洋紡	GENECUBE	細菌検査
クリーンベンチ	PHC	MCV-91BNS-PJ	細菌検査
バイオハザード対策キャビネット	PHC	MHE-S901A2-PJ	細菌検査
BDマックス 全自動核酸抽出増幅検査システム	日本ベクトン・ディッキンソン	441916	細菌検査

手術室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設定場所
手術台	マッケ・ケティンゲ	アルファマックス 1133	手術室
手術台	マッケ・ケティンゲ	アルファマックス 1133	手術室
手術台	マッケ・ケティンゲ	アルファマックス 1133	手術室
手術用顕微鏡システム(眼科)	カールツァイス メディテック	OPMI VISU210、MKC-305DR	手術室
手術用无影灯	東機質	6401 ACS/DF/VZ、PRVZOOM NTSC	手術室
手術用无影灯	東機質	6401 ACS/DF/VZ、PRVZOOM NTSC	手術室
アーム式シーリングペンダント(手術室用)	ドレーゲルメディカルジャパン	Forta Life	手術室
アーム式シーリングペンダント(手術室用)	ドレーゲルメディカルジャパン	Forta Life	手術室
アーム式シーリングペンダント(手術室用)	ドレーゲルメディカルジャパン	Movita Warm	手術室
アーム式シーリングペンダント(手術室用)	ドレーゲルメディカルジャパン	Movita Warm	手術室
アーム式シーリングペンダント(手術室用)	ドレーゲルメディカルジャパン	Movita Warm	手術室
アーム式シーリングペンダント(手術室用)	ドレーゲルメディカルジャパン	Movita Warm	手術室
アーム式シーリングペンダント(手術室用)	ドレーゲルメディカルジャパン	スレープモニターアーム	手術室
アーム式シーリングペンダント(手術室用)	ドレーゲルメディカルジャパン	スレープモニターアーム	手術室
脳神経外科手術用顕微鏡	オリンパス	OME-8212-L-T、OME8C-NU 他	手術室
鏡視下手術システム シーリングタイプ	カール・ストルツ	IMAGE1コントロールユニット K2220011U14 他	手術室
鏡視下手術システム シーリングタイプ	カール・ストルツ	IMAGE1コントロールユニット K2220011U14 他	手術室
眼科用冷凍手術装置	マイラ社	AU-CR4000、AU-CR4010 他	手術室
ジアテルミーセット	マイラ社	AU-TR4000、AU-TR4010 他	手術室
鏡視下手術システム トロリータイプ	カール・ストルツ	IMAGE1コントロールユニットK2220011U14 他	手術室
光学視管セット	カール・ストルツ	ホプキンスⅡ テレスコープ 他	手術室
鏡視下鉗子呼吸器VATSセット	カール・ストルツ	CLICLINE把持鉗子 他	手術室
外来用膀胱尿道鏡セット	カール・ストルツ	ホプキンスⅡ テレスコープ 他	手術室
手術用膀胱尿道鏡セット	カール・ストルツ	ホプキンスⅡ テレスコープ 他	手術室
レゼクトスコープセット	カール・ストルツ	ホプキンスⅡ テレスコープ 他	手術室
硬性尿管鏡セット	カール・ストルツ	尿管鏡 他	手術室
万能手術台	マッケ・ケティンゲ	アルファスター 1132型	手術室
眼科・口腔外科手術台	マッケ・ケティンゲ	アルファスター 1132型	手術室
脳べら固定器システム	ジョンソン・エンド・ジョンソン	グリーンバークレトラクタープレート 他	手術室
開腹用拡張型開創器	マンソン	オムニクランプ 他	手術室
電動モーターシステム	ビー・ブラウンエースクラブ	エランECイリゲーション付GA835 他	手術室
手術用无影灯	東機質	4401SAD/DF/VZ、PRVZOOM NTSC	手術室
手術用无影灯	東機質	4401SAD/DF/VZ、PRVZOOM NTSC	手術室
電動式パワードリルシステム	日本スライカー	基本セット 500-050-000-S1 他	手術室
高規格全身麻酔器	ドレーゲルメディカルジャパン	ファビウス GS	手術室
高規格全身麻酔器	ドレーゲルメディカルジャパン	ファビウス GS	手術室
高規格全身麻酔器	ドレーゲルメディカルジャパン	ファビウス GS	手術室
体外衝撃波結石破碎装置	ドルニエメテックジャパン	Lithotripter D	手術室
頭部固定装置	欧和通商	メイフィールド型頭部固定装置	手術室
定位脳手術装置	瑞穂医科工業	駒井式CT定位脳手術装置	手術室
電動油圧式椅子	瑞穂医科工業	マイクロテア MC-860	手術室

高出力半導体レーザー手術装置	長田電機工業	オサダライトサージ3000 OSL-3000-3TC	手術室
顎関節鏡システム	日本スライカー	TMJミニスコープセット 他	手術室
脳室ファイバースコープ	オリンパス	VEF-3、A5909	手術室
乳児・小児用泌尿器科内視鏡セット	オリンパス	光学視管、膀胱鏡用ソース 他	手術室
バイポーラ凝固止血器	ジョンソン・エンド・ジョンソン	マリスハイポラー凝固切開装置CMCⅢ 80-1170 他	手術室
バッテリードライバースystem	日本スライカー	システム 5 コードレスバッテリーパワーシステム	手術室
電気メス	タイコヘルスケアジャパン	フォース FX-C	手術室
電気メス	タイコヘルスケアジャパン	フォース FX-C	手術室
電気メス	タイコヘルスケアジャパン	フォース FX-C	手術室
電気メス	タイコヘルスケアジャパン	フォース FX-C	手術室
材料キャビネット	サカセ化学工業	MR64-AS301KTY	手術室
電動診察台	カハラヘルモント	EX-SP5P	手術室
システム作業台	サクラ精機	SD-150G	手術室
システム作業台	サクラ精機	SD-150G	手術室
システム作業台	サクラ精機	SD-150G	手術室
システム作業台	サクラ精機	SD-150G	手術室
システム作業台	サクラ精機	SD-150G	手術室
システム作業台	サクラ精機	SD-150G	手術室
システム作業台	サクラ精機	SD-150G	手術室
システム作業台	サクラ精機	SD-150G	手術室
薬品保冷库	サンヨー電機	MPR-414F	手術室
記録台	サカセ化学工業	RT-002KTY	手術室
記録台	サカセ化学工業	RT-002KTY	手術室
記録台	サカセ化学工業	RT-002KTY	手術室
記録台	サカセ化学工業	RT-002KTY	手術室
記録台	サカセ化学工業	RT-002KTY	手術室
記録台	サカセ化学工業	RT-002KTY	手術室
作業台	サカセ化学工業	BS-WT2C1KTY	手術室
作業台	サカセ化学工業	BS-WT2C1KTY	手術室
展開補助作業台	サカセ化学工業	WT-T604KTY	手術室
展開補助作業台	サカセ化学工業	WT-T604KTY	手術室
内視鏡下椎間板切除システム	メトロニックソファモアダネック	METR _x	手術室
VVI体外式ペースメーカー	日本光電工業	VVI EDP-20A	手術室
搬送用モニタ	日本光電工業	WEC-6003	手術室
ケント鉤牽引器	高砂医科工業	TKZ-F10328	手術室
ケント鉤牽引器	高砂医科工業	TKZ-F10328	手術室
イリゲーションポール	武井医科	TU-1058B	手術室
イリゲーションポール	武井医科	TU-1058B	手術室
関節鏡ポンプシステム	ArthreX社	コンティニアスウェーブⅡ	手術室
股関節手術時開創器	タクト医療	7450 他	手術室
股関節手術時支持器	タクト医療	4150	手術室
メッシュグラフト	秋山製作所	Σ-112-31	手術室
ベンダーセット	シンセス		手術室
ジンマーATS2000タニケットシステム	ジンマー		手術室
コンクレスト関節鏡手術器械	日本スライカー		手術室

エクトラⅡシステム	スミス&ニュー		手術室
手術台用アクセサリ	マッケ・ゲティンゲ	ボディストラップ 他	手術室
手術台用アクセサリ	マッケ・ゲティンゲ	延長腰板	手術室
手術台用アクセサリ	マッケ・ゲティンゲ	肩手術用背板 他	手術室
手術台用アクセサリ	マッケ・ゲティンゲ	支脚器/上肢台 他	手術室
手術台用アクセサリ	マッケ・ゲティンゲ	手術用手術板 他	手術室
手術台用アクセサリ	マッケ・ゲティンゲ	側臥位用上肢台 他	手術室
手術台用アクセサリ	マッケ・ゲティンゲ	体側支持器 他	手術室
電気メス装置	タイコヘルスケアジャパン	サージスタットⅡ	手術室
電気メス装置	タイコヘルスケアジャパン	サージスタットⅡ	手術室
電気メス装置	タイコヘルスケアジャパン	サージスタットⅡ	手術室
ディングマン氏開口器	第一医科	70-109-00	手術室
カセット式卓上型高圧蒸気滅菌器	サクラ精機	STAITIM S-5000	手術室
カセット式卓上型高圧蒸気滅菌器	サクラ精機	STAITIM S-5000	手術室
チューブ乾燥器	サクラ精機	TUK-51	手術室
小児用ストレッチャー	アトムメディカル	RO-6812	手術室
手術用ポジショニングキット 側臥位用	テンビュール社	109981	手術室
手術用ポジショニングキット 伏臥位用	テンビュール社	9点セット	手術室
超音波双方向血流計	ハデコ	Smartdop50EX-F	手術室
昇降式消毒盤台	村中医療器	PR-502別型	手術室
昇降式消毒盤台	村中医療器	PR-502別型	手術室
昇降式消毒盤台	村中医療器	PR-502別型	手術室
昇降式消毒盤台	村中医療器	PR-502別型	手術室
昇降式消毒盤台	村中医療器	PR-502別型	手術室
電動手術用器械展開台車	村中医療器	580-002-02	手術室
電動手術用器械展開台車	村中医療器	580-002-02	手術室
電動手術用器械展開台車	村中医療器	580-002-02	手術室
電動手術用器械展開台車	村中医療器	580-002-02	手術室
電動手術用器械展開台車	村中医療器	580-002-02	手術室
電動手術用器械展開台車	村中医療器	580-002-02	手術室
電動手術用器械展開台車	村中医療器	580-002-02	手術室
電動手術用器械展開台車	村中医療器	580-002-02	手術室
電動手術用器械展開台車	村中医療器	580-002-02	手術室
電動手術用器械展開台車	村中医療器	580-002-02	手術室
ナースینگストレッチャー	村中医療器	030-123-06	手術室
喉頭ファイバースコープ(挿入用)	オリンパス	LF-DP	手術室
電子天秤	エーアンドティー	GX-400R	手術室
エレクターシェルフ	エレクター	4MSS1820S-5PS1900	手術室
エレクターシェルフ	エレクター	4MSS1820S-5PS1900	手術室
肩甲骨保持牽引鉤セット	泉工医科工業	4520120/4520126	手術室
肩甲骨保持牽引鉤セット	泉工医科工業	4520120/4520126	手術室
ラジオ波焼灼装置	ホーストンサイエンティフィックジャパン	RF3000	手術室
カスパー頸椎レトラクターシステム	エースクラップ	BW049Rほか一式	手術室
カスパー腰椎レトラクターシステム	エースクラップ	TE749Rほか一式	手術室
気動式開創器システム	エースクラップ	ユニトラックレトラクションシステム	手術室

恒温器	松吉医科	03-2197-00	手術室
恒温器	松吉医科	03-2197-00	手術室
電動ベッド	カウハールモント	EX-SP5	手術室
温蔵庫	ニッセイ	NB-4EG	手術室
マグナムニードル	バード	MG1522	手術室
関節鏡下鉗子	スミスアンドネフュー	7207200	手術室
NOVAPLUS光源装置	HIGH Q社	HIQ-2020-D	手術室
ブラヴィファイバーオプティックケーブル	ハセガワメディカル	SYM-2080C	手術室
アトムインファウーマ	アトム	V-505 CM-6852	手術室
気管支ファイバースコープ	オリンパス	BF-LT30	手術室
ステリオン滅菌コンテナ	ジョンソン&ジョンソン	PF-20	手術室
上ふた内側トレイ滅菌コンテナ	ジョンソン&ジョンソン	PF-30	手術室
メラ三枚用消毒盤台	泉工医科	J-4	手術室
シャット関節鏡手術器械(NO.3)	コンセプト社		手術室
ラジオ波焼灼装置	センチュリーメディカル	Cool-TipRFジェネレーター	手術室
リトクラストシステム	EMSエレクトロメディカルシステムズ	845-500	手術室
VISERA膀胱腎盂ビデオスコープ	オリンパス	CYF-VA2	手術室
処置用光学視管0° ライトガイド付	オリンパス	WA31000A・WA03200A	手術室
パーサカットシステム	ボストンサイエンティフィックジャパン	840-890	手術室
サージトロンS5(低侵襲手術支援システム)	エルマジャパン	IEC5-S30	手術室
外科用X線装置Clearscope1000	東芝メディカルシステムズ	SXT-1000A/29	手術室
VISERA腹腔・胸腔ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ	LTF-VP 他	手術室
超音波手術システム	オリンパスメディカルシステムズ	SonoSurg-G2 他	手術室
エネルギープラットフォーム	コヴィディエンジャパン	FORCETRIAD	手術室
エネルギープラットフォーム	コヴィディエンジャパン	FORCETRIAD	手術室
ホプキンステレスコープ30°	エム・シー・メディカル	KR26048BA	手術室
コンステレーション ビジョンシステムLXT	日本アルコン	ビジョンシステムLXT	手術室
エンドコーン	エム・シー・メディカル	K23010PA サイズ:34mm	手術室
エックスコーン	エム・シー・メディカル	K23020PAサイズ:25mm	手術室
OES Pro レゼクトスコープシステム	オリンパスメディカルシステムズ	K4630Aセット	手術室
IMAGE 1 HDビデオカメラシステム	エム・シー・メディカル	KNDS90X0515他	手術室
外科用X線装置 Clearscope1000	東芝メディカルシステムズ	SXT-1000A/29	手術室
耐火金庫 指紋認証式	キング工業	KCJ53-2FPE	手術室
ケント牽引開創器	高砂医科工業	TKZ-F10328-A	手術室
クランク型脳神経外科内視鏡	オリンパスメディカルシステムズ	A81000A	手術室
IMAGE 1 HDビデオカメラシステム	エム・シー・メディカル	KNDS90X0515 他	手術室
CLICKline KELLY把持鉗子	エム・シー・メディカル	K33321ML	手術室
内視鏡下血管クリップ式	エースクラブ	PL530R 他	手術室
ファイバー尿管鏡	エム・シー・メディカル	K11278A1	手術室
尿管鏡	エム・シー・メディカル	K27001L	手術室
アイスタット1-DMATキット	扶桑薬品工業	110520	手術室
カミノアドバンスモニター	東機賀	CAM01	手術室
ヘッドフレームセットⅡ型	ミズホ	07-980-06他	手術室
ビジュオモニター	エドワーズライフサイエンス	MHM1	手術室

関節鏡/カニューラセット	スミスアンドネフューエンドスコーピー	4184他	手術室
トラクションタワー(外科用牽引手術台)	ジンマー	00-9905-A00-00	手術室
ジェネレーター GEN11 (カート有)	ジョンソン&ジョンソン	G11R(Renewalセット)	手術室
眼底観察システム Resight700	カールツァイスメディテック	Resight700	手術室
超音波診断装置 Prosound α	日立アロカメディカル	プロサウンド α 6	手術室
HDカメラヘッド	オリンパスメディカルシステムズ	OTV-S7ProH-HD-L08E	手術室
手術用顕微鏡	カールツァイスメディテック	OPMI PENTERO 900	手術室
インバータ・ヘマトクリット遠心機	久保田商事	3220	手術室
サージカル ティシュー マネージメント システム THUNDERBEAT(サンダービート)	オリンパスメディカルシステムズ	USG-400他	手術室
サージカル ティシュー マネージメント システム THUNDERBEAT(サンダービート)	オリンパスメディカルシステムズ	USG-400他	手術室
レッグスプレッダー	村中	I-LHPAMUR	手術室
尿管鏡 6Fr ウレテロレノスコープセット	ボストンサイエンティフィックジャパン	841-420	手術室
手術顕微鏡 HDテレビカメラシステム	池上通信機	MKC-700HD	手術室
脳神経内視鏡	オリンパスメディカルシステムズ	A81002A	手術室
腎盂尿管ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ	URF-V	手術室
MINIパークティニアスネフロスコープ	オリンパスメディカルシステムズ	A37025A	手術室
システム7 ヘビーデューティパワーツール 1式	ストライカー	7205-000-000他	手術室
システム7 サジタル骨鋸ハンドピース	ストライカー	7208-000-000	手術室
ヘッドライトシステム	(株)アムコ	MLX	手術室
VISERA ELITE ビデオシステム	オリンパスメディカルシステムズ	OTV-S190他	手術室
HDカメラヘッド	オリンパスメディカルシステムズ	OTV-S7 ProH-HD-L08E	手術室
超音波手術器(治療用電気手術器) ジェネレーター	ジョンソン&ジョンソン	GEN11他	手術室
超音波吸引器 CUSA EXcel Plus	アムコ	C37-1005他	手術室
脊椎外科用手術フレーム一式	イソメディカルシステムズ	LT-1000LP	手術室
ベッドサイドモニタ BSM-6701	日本光電工業株	MU-671R-Q20 他	手術室
STORZカメラシステム	カールストルツ	STORZ手術室カメラシステム	手術室
ハイスピードドリル Anspach EG1	ジョンソン&ジョンソン	EG1A他	手術室
コア電動マイクロドリルシステム 一式	ストライカー	6400-099-000他	手術室
手術顕微鏡用スリットランプ	カールツァイスメディテック	VISULUX	手術室
ケイセイ神経刺激装置	ケイセイ医科工業	KNS-1000 他	手術室
光学視管	カールストルツ	7229AA 他	手術室
手術支援システム Prime Gaia	日本光電工業株	PRM-7500	手術室
全自動軟水装置	サクラ精機	SS-2D	手術室
側臥位用上肢台フレキシブルタイプ	ゲティンゲグループ・ジャパン(株)	1002.49A0	手術室
STORZカメラセット・光源装置・モニタ付	カールストルツ	KCT200EN/KTC300/KTC301/KTL300/K9826NBJP	手術室
ENDOYE FLEX 先端湾曲ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ	LTF-S190-5	手術室
電動手術用器械展開台車	村中	10023-02	手術室
電動手術用器械展開台車	村中	10023-02	手術室
電動手術用器械展開台車	村中	10023-02	手術室
頭部固定器DOROヘッドレストシステム	ユフ精器	3036-00他	手術室
マルチデブリッターシステム DIEGO ELITE	オリンパスメディカルシステムズ	MDCONS100他	手術室
白内障手術装置	日本アルコン	センチリオン ビジョン システム	手術室
体外衝撃波結石破碎装置	エダップテクノメド	ソノリスアイムーブ	手術室
結石破碎レーザー	エダップテクノメド	Qanta Lithoレーザー	手術室

物質併用電気手術器 エルベVIO3 TUR/TCRモデル	アムコ	VIO3(E125003)他	手術室
電動タニケット A.T.S 4000	ジンマー	60-4000-301-09	手術室
術中腫瘍観察モジュール	カールツァイス	手術用顕微鏡OPMI PENTERO 900用オプション	手術室
ワイナビューウイングフレームFモデルセット	キーラー社	YWF-M-II	手術室
ワイナビューウイングフレームFモデルセット	キーラー社	YWF-M-II	手術室
IMAGE1 S HX-P FI 1チップフルHD ｾﾝﾃﾞｭﾗﾑﾀｲﾌﾟカメラヘッド	カールツァイスメディテック	KTH113	手術室
IMAGE1 S HX-P FI 1チップフルHD ｾﾝﾃﾞｭﾗﾑﾀｲﾌﾟカメラヘッド	カールツァイスメディテック	KTH113	手術室
電動昇降式展開台車(省スペースタイプ)	村中	10023-02	手術室
電動昇降式展開台車(省スペースタイプ)	村中	10023-02	手術室
電動昇降式展開台車(省スペースタイプ)	村中	10023-02	手術室
超音波画像診断装置 Sonosite S II	富士フィルムメディカル	Sonosite S II	手術室
万能手術台	ゲティンググループ・ジャパン	1133. 2B4	手術室
Allen レッグスプレッダージュニアパル	村中	A-10056他	手術室
麻酔器 Fabius GS Premium	ドレーゲル・メディカルジャパン	Fabius GS Premium 他	手術室
電動タニケットA.T.S4000	ジンマー	60-4000-301-09	手術室
血液保冷库	PHC(株)	MBR-107T4-PJ	手術室
全身麻酔器	ドレーゲル・メディカルジャパン	Fabius GS Premium 他	手術室
手術顕微鏡	カールツァイス	OPMI Lumera 700	手術室
SPモータードリルセット	エス・アンド・ブレイン	SPD01他	手術室
ダイオニクスパワー II コントロールシステム	スミスアンドネフューエンドスコーピー	72201030他	手術室
クウォンタム2システム一式	スミスアンドネフューエンドスコーピー	28168	手術室
LED9500ヘッドライトシステム	アムコ	C419504	手術室
AEXジェネレーター	日本メトロニック	40-405-1他	手術室
超音波画像診断装置	日立製作所	ARIETTA65	手術室
フラットディテクター型 ミニCアーム	ガデリウス・メディカル	TAU15X15	手術室
ビデオ喉頭鏡セット	カールストルツ	9403KXC 他	手術室
高解像硬性鼻咽喉一式	オリンパスメディカルシステムズ	WA4KS400 他	手術室
手術用照明器一式	ゲティンググループ・ジャパン	POWERLED II 75DF 他	手術室
ツリウムレーザ手術装置	エダップテクノメド(株)	Quanta Cyber TM 200Wレーザ	手術室
VISERA ELITE II ビデオシステム	オリンパスマーケティング	OTV-S300他	手術室
画像ワークステーションKOELISTリニティ 一式	アムコ	K071300 他	手術室
テーブルモーション手術台	ヒルロムジャパン	1841049 TruSystem TS7000dv 他	手術室
シンクシステム(恒温・超音波槽付)一式	サクラ精機	SS-2150Z 3槽	手術室
回診用X線撮影装置	富士フィルムメディカル	CALNEO Go PLUS	手術室
全身麻酔装置	ドレーゲル・メディカルジャパン	Atlan A350XL Fi02	手術室
術野収録システム	パナソニック	AG-MDR25	手術室
神経機能検査装置	日本光電工業	MEE-2000 smart	手術室
内視鏡用ビデオカメラ(超軽量HD対応カメラヘッド)	オリンパスメディカルシステムズ	CH-S190-08-LB	手術室
ダーマトーム	ケイセイ医科工業	KD-110	手術室
ビデオ光源装置 パワーLED300	カールストルツ	KTL300/STORZ	手術室
Da Vinciサージカルシステム	インテュイティブサージカル	da Vinci Xi	手術室
放射線検出装置ネオプローブ	デヴィコアメディカルジャパン(株)	NPCU4他	手術室

腎センター 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設定場所
透析部門中央監視システム	日機装	Future Net LX	腎センター
アフエレーシス装置	旭化成メディカル	Plasauto EZ	腎センター
3モーター電動チェアー	タチエパーツ	CM3-010、PC-3060	腎センター
3モーター電動ベッド	タチエパーツ	TM3-800-N、UTM-80193、PB-3690、SG-010	腎センター
3モーター電動ベッド	タチエパーツ	TM3-800-N、UTM-80193、PB-3690、SG-010	腎センター
3モーター電動ベッド	タチエパーツ	TM3-800-N、UTM-80193、PB-3690、SG-010	腎センター
3モーター電動ベッド	タチエパーツ	TM3-800-N、UTM-80193、PB-3690、SG-010	腎センター
3モーター電動ベッド	タチエパーツ	TM3-800-N、UTM-80193、PB-3690、SG-010	腎センター
3モーター電動ベッド	タチエパーツ	TM3-800-N、UTM-80193、PB-3690、SG-010	腎センター
薬用保冷库	サンヨー電機	MPR-214F	腎センター
高精度体成分分析装置	(株)バイオスペース	InBody720	腎センター
クリアリフトスケール(リフト式体重計)	バイオ・インターナショナル(株)	CLS-320	腎センター
医用テレメータ	日本光電工業株	WEP-5218他	腎センター
皮膚灌流圧測定器	(株)カネカメディックス	PAD4000	腎センター
電動リモートコントロールベッド	パラマウントベッド(株)	KA-8331他	腎センター
電動リモートコントロールベッド	パラマウントベッド(株)	KA-8331他	腎センター
電動リモートコントロールベッド	パラマウントベッド(株)	KA-8331他	腎センター
人工腎臓装置	日機装(株)	DCS-100NX他	腎センター
電解質分析装置	(株)常光	EX-G	腎センター
血液浄化装置	旭化成メディカル(株)	ACH-Σ	腎センター
サクソン吸引式フットケア用ドリル式	(株)ジェイ・シー・ティ	O949JCT他	腎センター
生物発光式エンドトキシン計 ルミニッツ-ET	日機装(株)	BLA01E	腎センター
透析装置通信システム一式	日機装(株)	DCS-100NX他	腎センター
超音波診断装置	キャノンメディカルシステムズ(株)	TUS-X100S/MX	腎センター
超音波診断装置	キャノンメディカルシステムズ(株)	TUS-X100S/MX	腎センター
個人用逆浸透装置	日機装(株)	AquaUNO	腎センター
3モーター電動チェアー	タチエパーツ	CM3-020他	腎センター
3モーター電動チェアー	タチエパーツ	CM3-020他	腎センター
3モーター電動チェアー	タチエパーツ	CM3-020他	腎センター
3モーター電動チェアー	タチエパーツ	CM3-020他	腎センター
3モーター電動チェアー	タチエパーツ	CM3-020他	腎センター
個人多用途透析装置	日機装	DBB-200Si	腎センター

個人多用途透析装置	日機装	DBB-200Si	腎センター
多用途透析用監視装置	日機装	DCS-200Si	腎センター
超音波画像診断装置	キャノンメディカル	Aplio450 CUS-AA450/J4	腎センター
3モーター電動チェア	タチエスパーツH&P	CM3-020-I	腎センター
3モーター電動チェア	タチエスパーツH&P	CM3-020-I	腎センター
3モーター電動チェア	タチエスパーツH&P	CM3-020-I	腎センター
3モーター電動チェア	タチエスパーツH&P	CM3-020-I	腎センター
3モーター電動チェア	タチエスパーツH&P	CM3-020-I	腎センター
3モーター電動チェア	タチエスパーツH&P	TM3-800-N	腎センター
3モーター電動チェア	タチエスパーツH&P	TM3-800-N	腎センター

輸血室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設定場所
血液保冷库	サンヨー電機	MBR-506T4	輸血室
血液保冷库	サンヨー電機	MBR-506T4	輸血室
バイオメディカルフリーザー	サンヨー電機	MDF-U537D	輸血室
薬品保冷库	サンヨー電機	MPR-312D	輸血室
ヘモクイック	テルモ	ME-AC185	輸血室
ヘモクイック	テルモ	ME-AC185	輸血室
免疫血液学用遠心器セロマチックⅡ	久保田商事	KA-2200+ロータ	輸血室
免疫血液学用遠心器セロマチックⅡ	久保田商事	KA-2200+ロータ	輸血室
PCアジテーターチャンバー	荏原	EKC-6M	輸血室
輸血管理システム	バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株)		輸血室
純水製造装置	オルガノ	PRA-0015-0V1	輸血室
カード用全自動輸血検査装置	バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株)	IH-500	輸血室

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

1. 機器の共同利用（令和4年度実績）	CT	1,318件
	MRI	1,366件
	超音波検査	483件
	内視鏡検査	654件
2. 共同利用を行った医療機関述べ数		3,821件
3. これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数		3,821件
4. 共同利用に係る病床利用率		0%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

1. 共同利用の施設	研究室、会議室、図書室、講堂、登録医室、駐車場
2. 共同利用の装置・機器	コンピュータ断層撮影装置、磁気共鳴診断装置、超音波診断装置 内視鏡検査装置
3. 共同利用の病床	5床

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 ☒ 有 ☐ 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏 名： 松岡 正代

職 種： 事務（医療相談センター）

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙参照				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	5床
--------------	----

共同利用運営規定

（目的）

第1条 この規定は、川崎市立多摩病院登録紹介医（以下、「登録紹介医」という）が川崎市立多摩病院（以下、「病院」という）の施設および医療機器等の共同利用を推進することを目的とする。

（共同利用に供する施設等）

第2条 本規定の共同利用に供する施設等は、下記に定める範囲とする。ただし、本規定に定めのない施設等について共同利用の要請があった場合は、病院長の認める範囲とする。

1. 共同利用の施設

研究室、会議室、図書室、講堂、登録医室、駐車場

2. 共同利用の装置・機器

コンピューター断層撮影装置、磁気共鳴診断装置、超音波診断装置、内視鏡検査装置

3. 共同利用の病床 5床

（共同利用に関する庶務）

第3条 本規定の運用に関する庶務及び本規定の運用は、医療相談センター内の地域医療連携室（以下、「地域医療連携室」という）が担当する。

（共同利用の申込）

第4条 共同利用を希望するときは、事前に「地域医療連携室」に申込み、病院長の許可を得るものとする。

（その他）

第5条 その他、共同利用について必要な事項は地域医療連携室で協議し、地域医療支援病院運営委員会に諮る。

附則 この規定は、平成22年7月20日より実施する。

登 録 紹 介 医 リ ス ト

医 療 機 関 名	医師名	住 所	主たる診療科
⑦ あいクリニック平尾	宮本 謙一	東京都稲城市平尾3-7-4コソヤビル1F	訪問診療 呼吸器内科
あい歯科クリニック	飯野 真樹	川崎市多摩区登戸2684-2 2F	歯科
アオキ歯科クリニック	青木 美喜夫	川崎市多摩区西生田3-7-22登坂ビル2F	歯科
青野診療所	青野 治朗	川崎市宮前区鷺沼1-11-6-406	内科 老年内科 循環器内科 消化器内科 老年精神科 皮膚科 整形外科
あおば内科クリニック	難波 康夫	川崎市高津区梶ヶ谷6-2-8	内科 呼吸器科 循環器科 アレルギー科
あおやぎ形成外科・皮フ科クリニック	青柳 和也	東京都狛江市元和泉1-4-47インター3階	形成外科 皮膚科 美容外科
あおやぎ内科循環器クリニック	青柳 昭彦	川崎市宮前区菅生2-1-9	内科 循環器内科
あかりクリニック	岸本 厚子	川崎多摩区登戸2066-1	内科 婦人科
秋山医院	秋山 實	狛江市岩戸南2-11-9	内科 小児科
秋山歯科医院	秋山 賢一	川崎市多摩区三田1-10-10	歯科
あさい内科医院	浅井 洋貴	川崎市多摩区登戸538	内科 消化器内科
あさおクリニック	前波 輝彦	川崎市麻生区万福寺1-8-10第一優ビル	内科
あさお診療所		川崎市麻生区上麻生2-1-10	内科 小児科
あさお整形外科	香川 晃太郎	川崎市麻生区金程1-34-10	整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科
あさお・百合クリニック	佐野 順子	川崎市麻生区虹ヶ丘1-10-1	内科
足立内科医院	足立 久信	世田谷区世田谷3-24-13	内科 小児科 レントゲン科
あなたのクリニック三島	小林 秀俊	静岡県三島市町野2-16あなたのビル4F	内科 糖尿病内科
あべ内科クリニック	安部 徹	稲城市東長沼3107-1 2F	内科 消化器内科 小児科 皮膚科
アリーナ歯科クリニック	四戸 康隆	川崎市多摩区生田7-7-3-2F	歯科
有馬病院	伊東 信四郎	川崎市宮前区有馬3-10-7	外科
あ・ん・ど・うクリニック	安藤 裕康	世田谷区成城6-10-5 2F	内科 循環器内科
あんどう眼科向ヶ丘遊園クリニック	安藤 一郎	川崎市多摩区登戸2130-27トラスター向ヶ丘遊園201	眼科
安藤歯科医院	安藤 優	川崎市麻生区片平2-6-23	歯科 口腔外科
飯島歯科医院	飯島 一宏	川崎市多摩区登戸2158	歯科
いいじま訪問診療クリニック世田谷区玉川	飯嶋 将史	東京都世田谷区玉川3-25-12	内科 外科 救急科 緩和ケア内科
イカリクリニック	猪狩 次郎	東京都調布市入間町3-9-23	
生田駅前歯科クリニック	大西 千英	川崎市多摩区生田7-9-3-1F	歯科
生田クリニック	内田 善敬	川崎市多摩区三田1-14-1	外科 胃腸内科 内科 皮膚泌尿器科 整形外科
生田クリニック	内田 敬之	川崎市多摩区三田1-14-1	消化器内科
井口歯科	井口 雅夫	神奈川県川崎市多摩区生田1-10-17	歯科
池内クリニック	池内 孝夫	川崎市麻生区栗平2-1-6	内科 消化器科
池田小児科医院	神吉 耕三	川崎市多摩区中野島3-15-15	小児科
石井歯科医院	石井 洋行	川崎市多摩区中野島3-14-37	歯科
いしだクリニック	石田 和彦	川崎市麻生区百合丘2-7-1	脳神経外科 整形外科 内科 リハビリ科
石田整形外科	石田 保夫	川崎市多摩区栗谷3-1-6	整形外科
いしだ内科外科クリニック	石田 孝雄	川崎市宮前区平4-4-1	内科 外科 消化器内科 皮膚科
和泉多摩川クリニック	喜多島 聡	狛江市東和泉3-3-9メゾンと泉多摩川1F	消化器内科 内科
和泉多摩川クリニック	喜多島 喜枝子	狛江市東和泉3-3-9メゾンと泉多摩川1F	内科
石戸谷小児科	石戸谷 尚子	狛江市中和泉1-1-1狛江Y Sビル4F	小児科
石原内科医院	石原 浩	川崎市多摩区宿河原3-10-3セルシオITO	内科 循環器科 消化器科
いずみ泌尿器科皮フ科	泉 博一	川崎市高津区千年301-19ランドコスモス千歳203	泌尿器科 皮膚科
一伸歯科医院	菊池 伸一	川崎市多摩区登戸3-402	歯科
一の橋内科皮フ科	萬納寺 栄一	狛江市岩戸南1-4-11	内科 循環器 胃 外科 皮膚科
伊藤医院	伊藤 幸雄	川崎市高津区久末1894	内科
伊藤医院	伊藤 達也	川崎市高津区久末1894	内科
いとう歯科医院	伊藤 準之助	川崎市高津区下作延6-4-10	歯科 口腔外科 小児歯科 矯正歯科
伊藤耳鼻咽喉科クリニック	伊藤 博喜	川崎市多摩区西生田3-9-33ルーミッシュランド前202	耳鼻咽喉科
稲城癒しの森内科クリニック	香川 昇	東京都稲城市大丸936-1	内科 循環器内科 呼吸器内科 糖尿病内科
稲城診療所	岩田 章孝	東京都稲城市大丸118-1階	小児科 内科

稲城腎・内科クリニック	力石 昭宏	稲城市東長沼3106-1 1F	内科 腎臓内科
稲城平尾整形外科クリニック 稲城平尾よりでソノアミリー内科クリニック	大野 達朗	稲城市平尾4-24-1	整形外科
稲城わかばクリニック	後藤 泰二郎	稲城市平尾4-24-1-202	内科 小児科 皮膚科
稲田歯科医院	関根 秀明	稲城市百科1604-7	内科 呼吸器内科 アレルギー科 小児科
稲田小児科医院	稲田 貴久	川崎市多摩区菅1-3-15-201	歯科
稲田堤駅前脳神経外科内科クリニック	大出 集	川崎市多摩区菅北浦2-2-24	小児科 アレルギー科
稲田堤メディカルクリニック	荘司 光彦	川崎市多摩区菅稲田堤1-17-28-201	脳神経外科 内科 小児科 皮膚科
稲田堤メンタルクリニック	安彦 篤	川崎市多摩区菅2-15-5	内科 消化器内科 外科 肛門科
稲田登戸クリニック	足立 淳	川崎市多摩区菅稲田堤1-17-28-204	精神科
いぬくら内科医院	松本 秀平	川崎市多摩区菅北浦4-3-1 オークヒルズ101号	内科
井上医院	島田 貴	川崎市宮前区犬蔵1-9-45	内科 循環器科 呼吸器科 アレルギー科
井上医院	井上 安子	川崎市麻生区白鳥3-6-12	内科 皮膚科 麻酔科
井上医院	井上 奈津彦	川崎市多摩区宿河原4-25-2	皮膚科
井上医院	井上 久美子	川崎市多摩区宿河原4-25-2	産婦人科
いとりレディースクリニック宮前平	町田 綾乃	川崎市宮前区小台2-5-1ティモネ宮前平3F	婦人科 産科
岩城整形外科	岩城 裕	川崎市多摩区菅1-5-15	整形外科 理学診療科（リハビリテーション科）
植木歯科	植木 博章	川崎市多摩区西生田2-4-20	歯科
上野眼科	上野 宏樹	川崎市多摩区南生田4-20-2	眼科
薄井胃腸科外科	薄井 武人	川崎市宮前区有馬1-1-18	胃腸科 外科 肛門科 皮膚科
内田内科	内田 和仁	川崎市高津区久地4-24-30グリーンスクウェア 1 階	内科 呼吸器科 アレルギー科
永研会クリニック	羽田 哲也	調布市仙川町1-11-8仙川F Tビル	内科 整形外科 リハビリ 形成外科 皮膚科
エンタニ歯科医院	圓谷 達朗	川崎市多摩区栗谷3-1-1井田ビル206	歯科
遠藤歯科クリニック	遠藤 慶一	川崎市高津区溝口1-20-8第2多田ビル1F	歯科
王禅寺公園クリニック	中原 広明	川崎市麻生区王禅寺西3-27-7	内科 神経内科 糖尿病内科 眼科
王禅寺歯科クリニック	三橋 健一郎	川崎市麻生区上麻生4-15-1山口台ビル4F	一般歯科 インプラント 審美歯科 予防歯科 訪問歯科
おおかめ歯科クリニック	大亀 泰久	川崎市多摩区菅1-2-31アザラギエイト202-A	一般歯科 小児歯科 矯正歯科
大串整形外科	大串 一彦	川崎市多摩区登戸1801-1瑞穂第一ビル 2F	整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科
大久保歯科医院	大久保 雅嗣	川崎市高津区久地4-24-30 2F	歯科
大倉消化器科外科クリニック	大倉 聡	川崎市多摩区菅仙谷4-1-5	消化器科 胃腸科 外科 肛門科
おおしま喜多見駅前医院	大島 幸吉郎	世田谷区喜多見9-2-21	整形外科 リハビリテーション科 脳神経外科 リウマチ科
おおたけファミリークリニック	大竹 普	川崎市宮前区平1-1-4平橋クリニックガーデン 2 階	内科 循環器内科 小児科
おおば歯科クリニック	大場 晴一	川崎市多摩区宿河原3-12-6	歯科
大森医院	石川 信子	川崎市多摩区南生田7-20-21	小児科 内科
岡崎医院	岡崎 武臣	川崎市麻生区王禅寺東2-13-1	内科 胃腸科
岡崎医院	岡崎 貴美子	川崎市麻生区王禅寺東2-13-1	小児科
岡野内科医院	岡野 敏明	川崎市多摩区登戸1737	内科 小児科 消化器内科
岡野内科医院	岡野 七重	川崎市多摩区登戸1737	内科 小児科 消化器内科
おぎもと内科クリニック	荻本 剛一	調布市国領町2-13-8	内科
おくせ医院	奥瀬 紀晃	川崎市中原区上小田中1-26-1	内科 消化器内科 循環器内科
小澤歯科医院	小澤 正人	川崎市多摩区生田7-2-1	歯科一般
小田嶋歯科医院	小田嶋 千里	川崎市多摩区宿河原3-3-7伊東ビル2階	歯科
小野歯科	小野 正道	川崎市多摩区生田7-11-8	歯科口腔外科
小野田医院	小野田 昌一	川崎市宮前区馬絹6-22-14	外科 胃腸科 内科
小幡医院	小幡 知行	狛江市猪方3-23-1	
おばた小児クリニック	小幡 俊彦	川崎市麻生区千代ヶ丘4-18-12	小アレルギー
オリーブ歯科	片瀬 洋	川崎市多摩区登戸1870PROSPER向ヶ丘101	歯科 矯正歯科 小児歯科 口腔外科
⑦ ガイアクリスタルクリニック	水間 哲郎	川崎市麻生区万福寺1-7-1TWビル2F	精神神経内
かえでファミリークリニック	櫛笥 永晴	川崎市多摩区長尾5-2-2-101	内科 小児科
かきお駅前さいとうクリニック	齋藤 光代	川崎市麻生区上麻生6-39-35	内科 呼吸器科 皮膚科 アレルギー科
柿生眼科	久城 初江	川崎市麻生区上麻生1-20-1小田急TOWN 新百合ヶ丘5F	眼科
柿生内科クリニック	菅田 文彦	川崎市麻生区上麻生5-38-10	内科 リウマチ科 リハビリテーション科
かさい歯科医院	河西 衛司	川崎市麻生区下麻生3-19-22エトワール柿生2F	歯科 小児歯科 矯正歯科 歯科口腔外科
葛西皮膚科医院	葛西 庸子	川崎市麻生区王禅寺東4-13-5	皮膚科
梶ヶ谷クリニック	羽生 仁	川崎市高津区末長1-23-17	内科 小児科 消化器科 内視鏡科 整形外科

かじわら内科泌尿器科クリニック	梶原 隆広	稲城市矢野口1541 1F	内科 泌尿器科 小児科 皮膚科
かじわらハートクリニック	梶原 秀俊	狛江市中和泉5-17-27-101	循環器内科 呼吸器内科 内科
かじもと整形外科	梶本 陽司	川崎市多摩区宿河原4-28-8エスエス 7-9-9宿河原1F	整形外科 麻酔科 リウマチ科 リハビリテーション科
柏田内科クリニック	柏田 和子	狛江市西野川1-15-19	内科 小児科 循環器
かとうクリニック	加藤 一彦	狛江市中和泉1-1-1狛江 Y S ビル4F	内科 外科 消化器科
加藤歯科医院	加藤 昌美	川崎市多摩区三田4-5546	歯科
神奈川ひまわりクリニック	小野 龍太	川崎市宮前区宮前平3-3-26	内科 皮膚科 アレルギー科
かねこクリニック	金子 光延	川崎市宮前区馬絹1172-2	小児科 内科
かねこ眼科クリニック	金子 敏雄	川崎市麻生区王禅寺東3-26-6王禅寺メディカルビル31 眼科	
鎌田クリニック	鎌田 正広	川崎市宮前区平2-11-3Y O U ビル 1 階	内科 呼吸器内科 アレルギー科
上麻生内科	小関 新	川崎市麻生区上麻生2-11-21	内科
かやま眼科クリニック	嘉山 尚幸	川崎市高津区末長1-9-1スタジオ梶ヶ谷 M A L L 6 F	眼科
川崎市西部地域療育センター診療所	田野 稔郎	川崎市宮前区平2-6-1	精神科 神経小児科 整形外科 リハビリテーション科 耳鼻咽喉科
川崎北部在宅診療所	肌附 英幸	横浜市青葉区美しが丘西3-64-13	内科 精神科
カワシマ歯科医院	川島 和夫	川崎市多摩区登戸1803たけやビル1F	歯科 小児歯科 口腔外科
川本整形外科	川本 守	川崎市宮前区宮前平2-1-3	整形外科 リハビリテーション科
菊池歯科医院	菊池 典男	川崎市多摩区枋形2-24-9	歯科
岸歯科医院	岸 高生	川崎市麻生区高石1-2-10	一般歯科 小児歯科 矯正歯科
岸内科胃腸科医院	岸 忠宏	川崎市多摩区西生田2-2-5	内科 消化器内科 呼吸器内科 循環器内科
岸内科胃腸科医院	塩田 香	川崎市多摩区西生田2-2-5	内科 消化器内科 呼吸器内科 循環器内科
岸本歯科医院	岸本 七重	川崎市宮前区平2-4-10山田ビル3F	一般 小児歯科
きしろメンタルクリニック	木代 眞樹	川崎市多摩区登戸2710-6第2 ネスト向ヶ丘102	心療内科 精神科
きたじま内科・脳神経クリニック	北島 和人	川崎市宮前区東有馬5-1-27* 5th フラワー D 東有馬 1 階	内科 神経内科 リハビリテーション科
北浜こどもクリニック	北浜 直	川崎市高津区下作延3-3-10-2F	小児科 アレルギー科 予防接種
喜多見東山クリニック	茅野 浩子	東京都世田谷区喜多見9-10-3	血液透析内科
木下耳鼻咽喉科医院	木下 俊之	川崎市高津区下作延1911-5	耳鼻咽喉科
木村耳鼻咽喉科	木村 元俊	川崎市多摩区中野島6-26-1フジヨシハイム2F	耳鼻咽喉科
木山医院	木山 博夫	川崎市宮前区けやき平8-1	耳鼻咽喉科
経堂ファミリアクリニック	岸野 明洋	東京都世田谷区経堂2-6-3 1F	耳鼻咽喉科 内科 小児科 皮膚科 美容皮膚科 形成外科
くさか整形外科クリニック	日下 達夫	川崎市宮前区平1-1-4平橋クリニックガーデン1 階	整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科
くじこどもクリニック	丸山 啓子	川崎市高津区久地4-24-307* リンクスウェア 2 階	小児科
久地さとう医院	佐藤 浩則	川崎市高津区宇奈根637-5	内科 脳神経内科 皮膚科
久地歯科	田川 義展	神奈川県川崎市多摩区堰3-7-13保谷ビル2階	歯科一般 口腔外科 矯正歯科
久地診療所	喜瀬 守人	川崎市高津区久地4-19-8	内科 小児科 整形外科 婦人科
国島医院	國島 友之	川崎市高津区下作延3-22-7	内科 循環器科 胃腸科 呼吸器科 小児科
窪田医院	田中 美砂子	川崎市高津区二子5-10-1	内科 小児科 (循環器 糖尿病 代謝)
窪田医院	永山 千絵子	川崎市高津区二子5-10-1	内科 小児科 (循環器 糖尿病 代謝)
久保田診療所	久保田 風生	川崎市多摩区宿河原4-21-23	小児科 内科 アレルギー科
久保田診療所	久保田 雅久	川崎市多摩区宿河原4-21-23	内科 胃腸科
くまざわ整形外科クリニック	熊澤 祐輔	調布市下石原2-32-2 さわやMBC 1F	整形外科
公文内科クリニック	公文 通夫	川崎市多摩区登戸1792-2アムクレスト向ヶ丘1F	内科 呼吸器科
クラ矯正歯科クリニック	蔵 真由美	川崎市多摩区登戸新町101	矯正歯科
くりう内科クリニック	栗生 和幸	川崎市宮前区神木2-2-1宮崎台メディカルプラザA-2	内科 呼吸器内科 循環器内科 アレルギー科
栗木台かわぐちクリニック	川口 文夫	川崎市麻生区栗木台1-2-3	内科 小児科 外科 小児外科
clinic WIZ のぼりと・ゆうえん小児科	加久 翔太郎	川崎市多摩区登戸1927-1 Aristiol 階	小児科 小児救急科…
クリニックのびのびキッズピア	山本 弘子	川崎市宮前区宮前平2-15-3ダイチビル201	小児科 アレルギー科
黒岩歯科医院	黒岩 良夫	川崎市多摩区登戸2501	歯科
K S P クリニック	前田 壽哉	川崎市高津区坂戸3-2-1K S P ビル西503	胃腸科 内科 外科
Kークリニック	河上 哲	川崎市宮前区宮前平2-1-6	泌尿器科 内科
恵泉クリニック	太田 祥一	東京都世田谷区上祖師谷1-35-15シオン鳥山	訪問在宅診療 総合診療 整形外科 心療内科
小泉整形外科医院	小泉 孝夫	世田谷区宇奈根3-13-21	整形外科
高クリニック	高 慎太郎	東京都稲城市平尾1-54-20	内科 小児科
こう内科クリニック	洪 基哲	川崎市多摩区登戸2766-5SKビル 1 F	内科 循環器科 呼吸器科
コクボ診療所	国保 久光	川崎市多摩区長尾7-3-9	神経内科

GOGO歯科クリニック	山本 郷	川崎市多摩区中野島3-15-40	小児歯科 矯正歯科 歯科口腔外科
こしじまクリニック	越島 謙次郎	狛江市岩戸北3-12-13-101	内科 小児科
小柴歯科医院	小柴 博人	川崎市高津区上作延485-7三田ビル1F	歯科一般 小児歯科
五所塚診療所	浜島 秀典	川崎市宮前区五所塚1-21-4	内科 小児科
こすぎ駅前クリニック	宮脇 誠	川崎市中原区新丸子東2-925	内科 消化器内科
ことぶきクリニック	前田 壽哉	川崎市多摩区菅仙谷4-1-5	内科 老年内科
こにし・もりざね眼科	小西 美奈子	川崎市麻生区上麻生1-3-2老番館ビル7F	眼科
小林内科医院	小林 明文	川崎市麻生区上麻生1-9-10	内科 小児科
小林外科胃腸科	小林 達哉	川崎市宮前区神木本町2-2-17	外科 胃腸科 皮膚科 内科 放射線科
小林外科胃腸科	小林 美奈子	川崎市宮前区神木本町2-2-17	外科 胃腸科 皮膚科 内科 放射線科
小林外科胃腸科	小林 美弥子	川崎市宮前区神木本町2-2-17	外科 胃腸科 皮膚科 内科 放射線科
コハル内科	鈴木 春彦	川崎市多摩区菅4-1-1コントライ101号	内科 アレルギー科
こまえ耳鼻科クリニック	小林 健彦	狛江市中和泉5-1-1	耳鼻咽喉科
近藤歯科	近藤 猛	川崎市多摩区登戸2043-3F	一般外科 矯正歯科 口腔外科
⑪ 在宅療養支援クリニック かえでの風 かま・かわさき	宮木 大	川崎市多摩区三田1-8-9-106号	内科 緩和ケア科
斉藤歯科医院	斉藤 善司	川崎市高津区二子2-8-10	歯科 小児歯科
斎藤内科医院	齋藤 茂治	川崎市麻生区上麻生3-13-1-912	内科
栄耳鼻咽喉科クリニック	木村 栄成	東京都稲城市百村1624-1	耳鼻咽喉科
さかね内科クリニック	坂根 健志	川崎市中原区宮内2-12-1	内科 循環器内科 呼吸器内科
鷺沼診療所	行形 毅	川崎市宮前区有馬1-22-16	内科 皮膚科 泌尿器科
作間歯科	作間 敏信	川崎市高津区溝口1-11-2	歯科
佐久間耳鼻咽喉科クリニック	佐久間 惇	川崎市宮前区菅生2-1-6日向園ビル1階	耳鼻咽喉科
さくらい歯科	櫻井 章	川崎多摩区登戸2102-1 第2井上ビル2F	一般歯科 審美歯科 口腔外科
桜クリニック	岡野 公一	川崎市多摩区登戸3292グランシャリオ1F	内科 小児科
桜クリニック	岡野 晶子	川崎市多摩区登戸3292グランシャリオ1F	内科 小児科
ささき歯科クリニック	佐々木 信行	川崎市多摩区菅2-10-23-3F	歯科
ささき腎泌尿器クリニック	佐々木 秀郎	川崎市多摩区登戸2566-1	泌尿器
さとうクリニック	佐藤 牧	川崎市中原区小杉町3-8-6	内科 外科 消化器内科 肛門外科
佐藤診療所	阿部 健二	狛江市東和泉1-3-14	内科 小児科
里村整形外科	里村 俊彰	川崎市宮前区有馬4-12-14	整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科
さるや歯科医院	藤本 記代	川崎市高津区溝口3-10-38 2F	一般歯科 小児歯科
猿谷耳鼻咽喉科医院	猿谷 昌司	川崎市高津区溝口3-10-38	耳鼻咽喉科
シイヤ歯科	糟谷 行義	川崎市多摩区登戸3175	歯科
潮見台植木クリニック	植木 茂年	川崎市宮前区潮見台6-7グリーンヒルズ潮見台1階	脳神経外科 内科 小児科
齒科林医院	林 泰宏	川崎市多摩区菅1-2-28	一般歯科
ししどファミリー歯科 稲田堤駅前	矢戸 孝太郎	川崎市多摩区菅2-2-35みずが安田1階	歯科
しのづか眼科	篠塚 康英	稲城市矢野口380-2-103	眼科
柴本内科	柴本 昌昭	世田谷区八幡山3-32-25	内科 循環器科 小児科
嶋崎内科医院	嶋崎 美奈子	川崎市麻生区千代ヶ丘8-1-1	内科
嶋崎内科医院	滝田 孝之	川崎市麻生区千代ヶ丘8-1-1	内科
清水小児科クリニック	清水 晃	川崎市多摩区菅6-13-20	小児科
下北沢乳腺・甲状腺いしがきクリニック	石垣 貴之	世田谷区北沢2-12-14 3F	乳腺外科 内分泌外科 内分泌内科
しもやまこどもクリニック	下山 丈紀	川崎市麻生区百合丘1-5-4米山ビル1F	小児科
白岩耳鼻咽喉科医院	白岩 恒男	川崎市多摩区登戸1917第5井出ビル	耳鼻咽喉科
しんたに耳鼻咽喉科クリニック	新谷 敏晴	川崎市多摩区登戸3356-1A-7A2F	耳鼻咽喉科
神保クリニック小児科	神保 修	狛江市和泉本町1-2-13	小児科 内科
新ゆり大塚レディースクリニック	大塚 博光	川崎市麻生区上麻生1-3-4WAKAビル6F	産婦人科
新百合ヶ丘池内クリニック	池内 信人	神奈川県川崎市麻生区万福寺1-1-27ティモア4階	内科 消化器内科
新百合ヶ丘ステーションクリニック	高橋 啓泰	川崎市麻生区上麻生1-20-1小田急73ビル新百合ヶ丘5F	
新百合ヶ丘龍クリニック	龍 誠之助	川崎市麻生区古沢7	内科 婦人科
新百合ヶ丘龍クリニック	龍 綾子	川崎市麻生区古沢7	小児科
新ゆりクリニック	小野田 肇	川崎市麻生区万福寺1-8-7	内科 胃腸科 外科 整形外科
新ゆり整形外科	野崎 博之	川崎市麻生区上麻生1-3-5	整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科
新ゆり武内クリニック	武内 宏之	川崎市麻生区上麻生1-3-5ドレイクビル5F	泌尿器科 性病科 内科

新ゆり内科	高橋 央	川崎市麻生区王禅寺西4-3-8	内科 感染症内科
新百合山手ファースト歯科	永田 達也	川崎市麻生区万福寺3-1-1	歯科 口腔外科 矯正歯科
新百合山手福本内科	福本 学	川崎市麻生区万福寺6-7-2メディカルモリノビル206	内科
菅野耳鼻咽喉科	菅野 澄雄	川崎市宮前区東有馬3-5-29KUMANOビル1階	耳鼻咽喉科
菅野耳鼻咽喉科	黒田 寿史	川崎市宮前区東有馬3-5-29KUMANOビル1階	耳鼻咽喉科
杉医院	杉 俊二	川崎市多摩区中野島2-7-12	産科 婦人科
すこやかこどもクリニック	小野木 恵子	川崎市麻生区白鳥3-5-2ガーデンヒルズ白鳥1F	小児科
鈴木耳鼻咽喉科医院	鈴木 毅	川崎市麻生区上麻生5-38-5	耳鼻咽喉科
鈴木歯科医院	鈴木 忠人	川崎市多摩区西生田1-8-1-201	歯科
鈴木内科医院	鈴木 雅之	川崎市多摩区登戸新町188	内科 消化器科
すずき内科クリニック	鈴木 健吾	川崎市多摩区登戸2130-27トラスター向ヶ丘遊園208	内科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科
須田メディカルクリニック	須田 直史	川崎市多摩区南生田4-20-2	内科 消化器内科（内視鏡科） 大腸肛門外科
スマイルデンタルクリニック梶ヶ谷	小泉 憲弘	川崎市高津区下作延4-27-10 1F	歯科
住永クリニック	住永 雅司	川崎市高津区溝口2-6-26アズマヤ栄橋ビル2階	内科 人工透析
成城内科	野村 明	世田谷区成城6-22-3	内科
成城はくの内科・循環器内科	伯野 大彦	東京都世田谷区成城2-27-6	内科 循環器内科 呼吸器内科 糖尿病・代謝内科 アレルギー科
清泉メディカルクリニック	野口 淳	世田谷区代沢2-36-30-3F	訪問診療
清泉メディカルクリニック	木村 知一郎	世田谷区代沢2-36-30-3F	訪問診療
関口内科医院	関口 信哉	川崎市多摩区菅2-8-27第1 平山ビル1階	内科・糖・循環器・呼吸器内科
センタービル歯科医院	南 裕之	川崎市高津区久地4-24-5	歯科
セントラル整形外科	笹尾 三郎	川崎市麻生区万福寺1-1-2ティエー44階	整形外科
ソフトタウン歯科医院	磯村 富蔵	川崎市多摩区三田1-13-1-103	歯科
そめや内科クリニック	染谷 貴志	川崎市高津区末長45-1	内科 消化器科
⑤ 高倉内科クリニック	高倉 英典	世田谷区喜多見9-1-7-2F	消化器内科 循環器科
たかの循環器・内科クリニック	高野 誠	川崎市宮前区宮前平3-2-1	内科 循環器内科
たかはしクリニック	高橋 俊光	川崎市宮前区宮崎2-13-1ドンジョン宮崎台1階	
高橋クリニック	高橋 章	川崎市多摩区壘3-5-14	外科 小児外科 整形外科 内科
高橋内科医院	高橋 重人	川崎市高津区諏訪1-9-1諏訪平老番館101	内科 リウマチ科 アレルギー科
たくこどもクリニック	橋本 卓史	川崎市麻生区上麻生5-6-18-201	小児科
武井クリニック	武井 裕	川崎市高津区下作延2-7-26-101	内科 循環器科 心臓血管外科 外科
たけもとレディースクリニック	竹本 由美	川崎市多摩区登戸2566-1がらんぽろ登戸302	産婦人科
たけやま呼吸器・内科クリニック	武山 廉	川崎市多摩区登戸2427-5-3F	呼吸器内科 内科 アレルギー科
たちばな耳鼻咽喉科	橋 伸哉	川崎市多摩区登戸2130-27トラスター向ヶ丘遊園2F	耳鼻咽喉科
田中クリニック	田中 柳水	川崎市高津区東野川2-36-5久末がらんぽろA棟1階	脳整リハ
谷平医院	谷平 茂	東京都稲城市矢野口277-2	整形外科 形成外科 内科 リハビリ科
たま稲田堤眼科	棚橋 玲子	川崎市多摩区菅1-2-31プラザクリエイト103号	眼科
玉城歯科医院	玉城 恒	川崎市高津区二子5-2-5井上ビル2F	歯科
多摩クリニック	桜井 端彦	川崎市多摩区布田2-24	内科
多摩クリニック	桜井 淳	川崎市多摩区布田2-24	内科
たま耳鼻咽喉科	及川 貴生	川崎市多摩区登戸1842 1F	耳鼻咽喉科
多摩脳神経外科	諫山 和男	川崎市多摩区登戸1654	脳神経外科
多摩泌尿器科クリニック	野村 栄	川崎市多摩区登戸3056ライフビュア手塚B	泌尿器科
たま皮フ科	村上 正之	川崎市多摩区栗谷3-1-1井田ビル208	皮膚科
多摩ファミリークリニック	大橋 博樹	川崎市多摩区登戸新町337エニービル1F	内科 小児科 外科
たまふれあいクリニック	鈴木 忠	川崎市多摩区枳形2-24-6エスベランザ枳形101	訪問診療（内科 精神科）
だるま内科・内視鏡クリニック	星野 博之	川崎市麻生区下麻生2-3-7	内科 消化器内科 循環器内科 肛門外科
地域ケアこころの診療所	武田 充弘	東京都世田谷区砧8-5-18砧ソコビタ＃202	精神科 心療内科
ちとせクリニック	金井 文彦	東京都世田谷区南島山4-9-14南島山ビル1F	訪問診療
千年診療所	大関 一郎	川崎市高津区千年新町29-5	内科 胃腸内科 呼吸器内科
千谷歯科医院	千谷 康世	川崎市多摩区菅1-4-5野村ビル2F	歯科
調布狛江ホームケアクリニック	松浦 秀憲	東京都狛江市岩戸北2-12-12	内科 リハビリテーション科
塚本医院	塚本 房江	川崎市麻生区栗木台2-15-5	内科（糖尿病）
つかもと整形外科醫院	塚本 理一郎	東京都世田谷区千歳台2-14-7千歳クリニック＃2F	整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科
つじこどもクリニック	辻 志穂	東京都世田谷区砧6-33-5 2階	小児科 小児外科

つじ内科クリニック	辻 正人	川崎市多摩区菅仙谷4-1-5	内科 循環器科
津田整形外科	津田 敦彦	調布市国領2-13-5	
津田山クリニック	横山 護	川崎市高津区下作延1910	内科 外科
土屋医院	土屋 広明	川崎市多摩区南生田1-12-2	内科 胃腸科 循環器科 外科 小児科
つちや内科・循環器内科	土屋 勝彦	川崎市中原区上小田中5-2-7クレシア武蔵中原1F	内科 循環器内科
堤耳鼻咽喉科	堤 康一朗	東京都中野区本町2-42-15	耳鼻咽喉科
椿クリニック	野中 勇志	川崎市高津区下作延2-4-6溝口鈴木歯科ビル2F	訪問診療
鶴田歯科医院	鶴田 達郎	川崎市麻生区白山4-1-1	
つるや内科クリニック	鶴谷 孝	川崎市高津区久本1-6-5	内科 消化器科 肝臓科
出川眼科	出川 慎之	東京都稲城市東長沼800-1	眼科
手塚歯科医院	手塚 貴信	川崎市多摩区長沢4-2-9ｸﾞﾘｰﾝﾊﾞｰﾚｰ松澤206号	歯科
てづか内科・循環器クリニック	手塚 尚紀	川崎市多摩区菅1-5-12エビドール稲田堤1A	
てるた歯科クリニック	城田 照太	川崎市多摩区西生田4-12-1	歯科 小児歯科
田園都市クリニック	横田 雅史	川崎市宮前区鷺沼1-22-7カーサエステレーヤ 1 階	内科 糖尿病内科 呼吸器科 アレルギー科
田園都市溝の口 つつじ内科クリニック	竹野 景海	川崎市高津区新作3-1-4	内科 糖尿病内科 代謝内分泌内科
田園二子クリニック	山岡 桂太	川崎市高津区二子5-8-1第3井上ビル2階1号室	内科 整形外科 皮膚科 (訪問診療)
土井医院	土井 義之	川崎市多摩区菅北浦4-11-25	内科 呼吸器科 消化器科
東方医院	佐々木 健一	川崎市宮前区小台2-6-2ラポール宮前平3F	漢方内科 整形外科 内科 皮膚科
東横恵愛病院	西本 雅彦	川崎市宮前区有馬4-17-23	精神科 内科
トータス往診クリニック	大橋 晃太	東京都狛江市岩戸南4-22-7-102	訪問診療
土橋クリニック	土橋 雄二	世田谷区祖師谷4-23-18	内科 麻酔科 整形外科 婦人科
ともクリニック	鈴木 知子	川崎市麻生区上麻生5-6-8	内科
ともこ皮ふ科	今井 知子	東京都稲城市平尾1-18-26	皮膚科
豊田クリニック	豊田 博史	川崎市多摩区登戸3200	小児科 内科
④ ないとう歯科医院	内藤 仁司	川崎市多摩区西生田4-1-4 2F	歯科
なかお内科クリニック	中尾 裕	東京都稲城市東長沼3107-4京王リナーズ 稲城3F	内科 消化器内科 内視鏡内科
中込内科クリニック	中込 健郎	川崎市多摩区生田7-2-13SKビル2F	内科 消化器科 糖尿病
中島医院	中島 太一郎	世田谷区大原2-16-7 1F	内科
永島歯科医院	永島 久美子	川崎市麻生区千代ヶ丘2-4-12	
長瀬クリニック	長瀬 良彦	川崎市高津区下作延3-3-10スルバリエ梶ヶ谷204	内科 消化器内科 肝臓内科 内視鏡内科
(中野島北口) コガワクリニック	古河 哲哉	川崎市多摩区中野島6-26-2 2F	内科 消化器科
中野島歯科医院	米山 慶	川崎市多摩区中野島3-14-1イグレック 2F	歯科 小児歯科
中野島小児科クリニック	池上 香	川崎市多摩区中野島6-22-9	小児科
中野島診療所	高橋 伸之	川崎市多摩区中野島4-9-1	内科 小児科 皮膚科 整形外科 麻酔科
中野島整形外科	山田 浩司	川崎市多摩区中野島6-26-2 1F	整形外科 リハビリテーション科
中野島たきぐち耳鼻咽喉科	滝口 修平	川崎市多摩区中野島3-13-8	耳鼻咽喉科
中野島糖尿病クリニック	大津 成之	川崎市多摩区中野島3-13-8	糖尿病内科 内科
中野島糖尿病クリニック	渡部 ちづる	川崎市多摩区中野島3-13-8	糖尿病内科 内科
長峰クリニック	武井 滋	東京都稲城市長峰2-2-2	内科 アレルギー科
長峰クリニック	武井 牧子	東京都稲城市長峰2-2-2	小児科 アレルギー科
中村医院	中村 全	川崎市多摩区登戸新町358-1	内科 消化器科
中村クリニック	中村 健	川崎市多摩区生田6-6-5ｶﾞｰﾃﾞﾝ 11F	内科 外科
なかむらこどもクリニック	中村 俊紀	川崎市多摩区登戸2428番地Noborito Gate Building4F	小児科 アレルギー科
中村歯科医院	中村 吉宏	川崎市多摩区登戸新町365-2	歯科 小児歯科
なでしこ耳鼻咽喉科	葵澤 えり子	世田谷区千歳台5-18-10-1F	耳鼻咽喉科
にじいろ子どもクリニック	潟山 亮平	神奈川県川崎市麻生区万福寺1-1-2ｼｬｰﾐｰﾎｰﾙ4階	小児科
西根医院	西根 晃	川崎市多摩区梶形1-8-38	内科
西村クリニック	西村 真	川崎市多摩区菅 2 - 4 - 2 - 2 0 2	内科 胃腸科 外科 肛門科 整形外科 皮膚科
にもり内科クリニック	二森 浩行	川崎市麻生区上麻生6-29-36	内科 消化器内科
日本橋かきがら町クリニック	松尾 準雄	中央区日本橋蛸殻町1-10-4宮田ビル 42F	内科 老年内科 循環器内科 消化器内科 老年精神科 皮膚科 小児科
根岸耳鼻咽喉科医院	根岸 達郎	川崎市宮前区宮前平2-1-5	耳鼻咽喉科
のぼりとキッズクリニック	武藤 淳一	川崎市多摩区登戸2565-1イル・マーレ3F	小児科 アレルギー科
登戸駅前メンタルクリニック	橋本 昌靖	川崎市多摩区登戸2422-1 5階	精神科
登戸クリニック	友廣 忠寿	川崎市多摩区登戸2569田中ヒマワリビル1F	内科

登戸内科・脳神経クリニック	加茂 力	川崎市多摩区登戸新町434	内科 神経内科 循環器内科 リハビリテーション科
登戸なかたに消化器・糖尿病内科	中谷 行宏	川崎市多摩区登戸2665-1イル・マーレ2F	消化器内科 内視鏡内科 糖尿病内科 内科
登戸きむら皮フ科クリニック	木村 聡子	川崎市多摩区登戸3356-1ルークス1F-A	皮膚科
登戸ハナミズキ内科	根本 憲一	川崎市多摩区登戸2428登戸ゲートビルディング4F	内科 糖尿病内科
野村眼科	野村 征敬	川崎市麻生区上麻生1-4-1小田急新百合ヶ丘駅ビル6F	眼科
① パークシティクリニック	大森 慎太郎	川崎市幸区小倉1-1パークシティ新川崎クリニック棟217号	内科 小児科 糖尿病内科 内分泌内科
はじかの医院	初鹿野 誠彦	川崎市高津区北見方3-6-35-A	内科 小児科
花村歯科医院	花村 裕之	川崎市高津区下作延3-16-26	歯科
原クリニック	原 俊雄	川崎市宮前区鷺沼4-10-5	内科 消化器科
原クリニック	原 眞由美	川崎市宮前区鷺沼4-10-5	眼科
原島歯科クリニック	原島 大	川崎市多摩区菅6-10-25	歯科
原田内科クリニック	原田 契一	川崎市多摩区西生田4-16-24	内科
はるひ野歯科	中田 伸一	川崎市麻生区はるひ野1-15-1-101	歯科 小児歯科 歯科口腔外科
はるひ野内科クリニック	荒木 康史	川崎市麻生区はるひ野4-4-1はるひ野メディカルビル3A棟	内科 循環器内科 呼吸器内科 アレルギー科
林整形外科	林 央介	神奈川県川崎市麻生区百合丘1-5-19	整形外科 リハビリ 皮膚科
東長沼クリニック	中島 一生美	稲城市東長沼1726-16 1F	内科 消化器科 外科 小児科
光中央診療所	小幡 純一	川崎市麻生区万福寺1-8-7	内科 リウマチ科 アレルギー科 小児科
ヒトミ歯科	関矢 徹	川崎市高津区千年2-1	歯科 小児歯科
平井歯科	平井 順	川崎市多摩区中野島6-25-1 第2フジモビル2F	歯科
平尾内科クリニック	竹田 有為子	東京都稲城市平尾3-7-26	内科
ひらかた消化器内視鏡クリニック	平方 敦史	東京都稲城市若葉台1-55	消化器内科
ひろまつデンタルクリニック	廣松 伸一	神奈川県川崎市多摩区中野島5-2-37	一般歯科 矯正歯科 小児歯科
ひろむら内科クリニック	広村 宗範	東京都稲城市矢野口955-5	糖尿病内科 内分泌内科 内科
ひらやま耳鼻咽喉科クリニック	平山 裕	川崎市麻生区万福寺6-7-2メディカルモリノビル2F	耳鼻咽喉科 アレルギー科
ひろわたり眼科	廣渡 崇郎	川崎市麻生区百合丘1-5-1 1階	眼科
ファースト歯科クリニック	松本 高順	川崎市多摩区中野島6-24-18	歯科
ファミリー歯科医院	石川 知治	川崎市高津区上作延490-1	歯科 矯正科 小児歯科
福島内科医院	福島 芳彦	川崎市宮前区宮前平2-19-9	内科 呼吸器 循環器 消化器科
福島内科医院	福島 淑隆	川崎市宮前区宮前平2-19-9	内科 消化器科
福住医院	福住 亮雄	川崎市高津区末長1055-7	整形外科 胃腸内科
福住医院	山口 由太郎	川崎市高津区末長1055-7	脳神経外科
福西内科クリニック	福西 康夫	川崎市高津区東野川1-7-9野川クリア野川2階	脳神経外科
藤井整形外科	藤井 壮一	川崎市多摩区登戸3375-1第2TSSビル2F	整形外科 リハビリテーション科 麻酔科
ふじえ眼科	藤江 敬子	川崎市多摩区中野島3-27-34ビル3番館108号	眼科
藤川医院	藤川 雅彦	狛江市和泉本町2-16-5	内科 循環器科
藤木内科医院	藤木 博昭	川崎市麻生区王禅寺東1-9-3	内科
藤田クリニック	藤田 毅	川崎市多摩区中野島3-14-37	内科 胃腸科 外科
富士通クリニック	石井 俊哉	川崎市中原区上小田中4-1-1	内科 整形外科 皮膚科 耳鼻咽喉科 眼科 歯科
ふじなみ歯科医院	藤波 淳	川崎市多摩区菅2-1-1-3F	歯科
藤波歯科医院	藤波 洋	川崎市多摩区登戸83	歯科
藤波歯科クリニック	藤波 一典	川崎市多摩区登戸1845シェモアビル1F	歯科
二子クリニック	山田 恭司	川崎市高津区二子1-11-15	内科 消化器内科 外科 肛門外科
二子玉川齋藤メディカルクリニック	齋藤 賢一	世田谷区玉川2-5-8 齋藤メディカルビル	内科 消化器内科 胃腸内科 アレルギー科 小児循環器科 小児消化器科 小児泌尿器科 小児皮膚科 小児眼科 小児耳鼻咽喉科 小児内分泌科 小児外科 小児整形外科 小児矯正科 小児歯科 小児口腔外科
府中みどりクリニック	青野 嘉道	府中市分梅町1-12-1-101	内科 老年内科 循環器内科 消化器内科 老年精神科 皮膚科 小児科
ブライトデンタルクリニック多摩	田中 泰彦	川崎市多摩区登戸3351-6 1F3号	歯科 小児歯科 矯正歯科 歯科口腔外科
古畑泌尿器科クリニック	古畑 壮一	横須賀市衣笠栄町1-27花富ビル2F	
ベルズレディースクリニック	鈴木 由美	川崎市多摩区登戸3351-203	婦人科
保坂産婦人科クリニック	保坂 真	狛江市東和泉1-21-3	産婦人科
本田医院	本田 朱麗	川崎市宮前区白幡台1-7-8	外科 乳腺外科
北部市場クリニック	藤野 喜理子	川崎市宮前区水沢1-1-1川崎市中央卸市場 北部市場4F	内科 外科 皮膚科
② 前田医院	前田 暢彦	川崎市多摩区布田10-8	外科 呼吸器科
前原医院	前原 真司	川崎市多摩区菅馬場1-1-27	内科
またい歯科医院	又井 由紀子	川崎市多摩区宿河原6-38-3 1F	歯科
まちだ耳鼻咽喉科	川上 猛敬	東京都町田市木曽西2-17-26 2F	耳鼻咽喉科

松本脳神経外科内科クリニック
的場歯科医院
村松小児科医院
馬目整形外科・内科クリニック
馬目整形外科・内科クリニック
ミオ医院
水上内科医院
溝の口おかもと糖尿病内科
溝のロクリニック
溝のロクリニック
溝のロステーションビル歯科
溝のロデンタルクリニック
みぞのくちファミリークリニック
光永医院
南山リハビリテーション病院
みねき内科クリニック
宮川クリニック
宮崎台クリニック
宮崎台耳鼻咽喉科
宮沢クリニック
みやびクリニック
宮部耳鼻咽喉科医院
宮前平グリーンハイツ診療所
宮前平すがのクリニック
宮前いとうクリニック
宮前平医院
宮前平健栄クリニック
宮前平整形外科クリニック
みやもと訪問クリニック
みよしこどもクリニック
三好歯科クリニック
三好歯科クリニック
向ヶ丘胃腸・肛門クリニック
向ヶ丘整形外科
向ヶ丘メンタルクリニック
向ヶ丘久保田内科
向ヶ丘久保田内科
向ヶ丘たけもとレディースクリニック
向ヶ丘PEDスポーツクリニック
むとう小児科クリニック
村山歯科医院
メディクスクリニック溝の口
メドアグリクリニックせたがや
もぎ循環器科内科医院
もぎたて耳鼻咽喉科
もちづき泌尿器科クリニック
本橋内科クリニック
MOMO DENTAL CLINIC
森クリニック
もりこどもクリニック
森歯科医院
森戸歯科医院
もりや脳神経クリニック
モンブランデンタルクリニック

松本 正博
的場 利紀
村松 芳子
馬目 晃匡
馬目 聖子
三尾 英之
水上 純一
岡本 芳久
井出 真弓
井出 肇
山本 成允
宮城 直美
高木 博
光永 忍
藤田 曜三
峯木 仁志
宮川 弘一
泉 正紀
細井 広道
宮沢 章子
中田 雅弘
宮部 聡
橋本 眞佐子
菅野 雅彦
伊東 優
青山 弘毅
出川 寿一
田中 達朗
宮本 謙一
三吉 智子
三好 敬三
西山 敦
櫻井 丈
山本 穰
柏田 勉
久保田 章
岡崎 伸夫
竹本 周二
町田 浩通
武藤 真二
村山 真人
南 陸彦
菊野 隆明
茂木 純一
茂木立 学
望月 康平
本橋 信博
柴田 桃子
森 久美子
森 直行
森 理
森戸 弘行
森谷 匡雄
上橋 健一

狛江市和泉本町1-2-10
川崎市麻生区王禅寺西7-27-26
川崎市麻生区王禅寺東3-29-3
川崎市宮前区野川本町1-3-1
川崎市宮前区野川本町1-3-1
川崎市麻生区王禅寺東5-1-5
川崎市多摩区西生田3-9-26ミノルビル2F
川崎市高津区溝口2-14-31 1F
川崎市高津区溝口1-12-20ウエストキーンビルⅡ-2階
川崎市高津区溝口1-12-20ウエストキーンビルⅡ-2階
川崎市高津区溝口2-9-26 HARUKA BLDG4階
川崎市高津区溝口2-14-31 NSデヴィカビルⅡ2B
川崎市高津区久本3-14-1-1階
川崎市麻生区百合丘1-2-2
東京都稲城市矢野口3124-12
川崎市麻生区東百合ヶ丘2-29-10
川崎市高津区諏訪1-3-15
川崎市宮前区宮崎3-14-23
川崎市宮前区宮崎2-10-8トラベズ宮崎台 2 階
世田谷区成城6-16-6 1F
川崎市宮前区南平台3-1-7
川崎市多摩区生田7-2-7
川崎市宮前区けやき平1-16-209
川崎市宮前区小台2-6-6 3F
川崎市宮前区菅生2-1-6日向園ビル2階
川崎市宮前区土橋2-1-30
川崎市宮前区小台2-5-2宮前平ハイツ2階
川崎市宮前区小台2-6-6宮前平デヴィカビルⅡ2F
川崎市多摩区菅北浦2-17-153階
川崎市宮前区土橋6-15-1宮前平バームハウスB-115
川崎市多摩区宿河原2-4-16
川崎市多摩区宿河原2-4-16
川崎市多摩区登戸2662-1プラザ向ヶ丘遊園3階
川崎市宮前区大蔵1-23-7
川崎市多摩区登戸2663東洋ビル3F
川崎市多摩区登戸2708-1YMビル3F
川崎市多摩区登戸2708-1YMビル3F
川崎市多摩区登戸2088 4F
川崎市多摩区登戸2141
川崎市宮前区土橋3-2-17
川崎市多摩区登戸2719 ⅡビルⅡ2F
川崎市高津区下作延5-11-12
世田谷区瀬田5-3-7
川崎市宮前区宮崎5-14-19
川崎市高津区久本1-2-5関口第1ビル401
川崎市麻生区上麻生5-40-1鈴木ビル2階
川崎市多摩区宿河原3-1-6
川崎市多摩区登戸1883-1-1F
川崎市高津区久未9-1
稲城市若葉台4-18-4
川崎多摩区菅北浦4-11-29
川崎市多摩区栗谷3-1-6セウイスビルⅡ1F
東京都稲城市平尾1-33-34
川崎市多摩区登戸2434-1フェリーチェ1F

小児科
整形外科 内科 リウマチ科 リハビリテーション科
内科
整形外科 リハビリテーション科
内科
糖尿病内科 内科
皮膚科
内科
歯科
歯科
内科 小児科 皮膚科
産婦人科 皮膚科
リハビリテーション科 内科
内 循 消
内科
内科 循環器内科 呼吸器科内科 胃腸科
内科 小児科
耳鼻咽喉科 気管食道科
麻酔科 心療内科 精神科
内科 小児科 外科
耳鼻咽喉科 アレルギー科
内科 小児科
内科 消化器内科・外科 心療内科 精神科
皮膚科 形成外科
整形外科 形成外科 理学療法
整形外科
内科 呼吸器内科 緩和ケア内科
小児科
歯科 矯正歯科 小児歯科 口腔外科
歯科
整形外科 リウマチ リハビリ
精神科 心療内科
産婦人科
婦人科
小児科
歯科 小児歯科 矯正歯科
内科 呼吸器科 アレルギー科 消化器科
精神科
内科 外科 精神科 訪問診療
内科 循環器科
耳鼻咽喉科
泌尿器
内科 循環器科 消化器科 呼吸器科
歯科 小児歯科 矯正歯科 歯科口腔外科
小児科
歯科
一般歯科 小児歯科
脳神経外科 リハビリテーション科 内科
歯科 小児歯科 矯正歯科 口腔外科

㊦ ヤガサキ歯科医院	矢ヶ崎 隆信	川崎市多摩区菅4-3-32ベルヴィル 2 階	歯科 小児歯科 矯正歯科
矢野医院	矢野 健太郎	世田谷区池尻3-4-5	内科 在宅医療
矢野ロクリニック			
柳川歯科医院	清水 雅英	東京都稲城市矢野口380-2-101	一般歯科 小児歯科 口腔外科 矯正歯科
山下歯科医院	柳川 敏夫	川崎市多摩区布田3-1	歯科
山口歯科医院	山下 哲司	川崎市高津区溝口1-24-5	歯科
山口内科小児科医院	山口 一美	川崎市高津区二子2-2-6	内科 小児科
	山口 開	世田谷区三軒茶屋2-6-5	内科 小児科
山崎クリニック	山崎 晴義	川崎市多摩区西生田3-26-7	内科 小児科
山根歯科医院	山根 一之	神奈川県川崎市多摩区中野島3-14-29	歯科
やまもとクリニック	山本 勝	川崎市多摩区登戸新町404古谷ビル3F	内科 呼吸器内科 循環器内科 小児科
山本内科クリニック	山本 一哉	川崎市宮前区白幡台1-9-10	内科 小児科
ゆうクリニック	木村 孝	川崎市麻生区王禅寺東5-2-9	
ゆきばしクリニック	星 忠成	川崎市多摩区登戸2777 N100ビル302号室	訪問診療 内科 整形外科 リハビリテーション科
ムサ内科小児科ファミリークリニック	石川 結美香	川崎市麻生区上麻生5-40-1鈴木ビル103	内科 小児科
ゆめこどもクリニック	林 毅陸	川崎市高津区東野川2-36-5久末ﾀﾞｲｶﾙﾋﾞﾚｯｼﾞB棟 2 階	小児科
百合ヶ丘駅前クリニック	山崎 行敬	川崎市麻生区百合丘1-2-1	内科 老年内科 訪問診療
百合が丘すみれクリニック	遠藤 友美恵	川崎市麻生区細山2-8-7 1F	内科 呼吸器内科 アレルギー科
百合が丘すみれクリニック	松浦 健太郎	川崎市麻生区細山2-8-7 1F	
百合丘水野クリニック	水野 泰彦	川崎市麻生区百合丘1-16-22	内科 外科 消化器科
横田歯科医院	横田 嘉郎	川崎市多摩区登戸21787ｼｬﾂ ﾍﾞﾝｼﾞ1階	歯科
横山歯科医院	横山 茂平	川崎市麻生区百合丘1-6-20	歯科
耳鼻咽喉科よしだクリニック	吉田 高史	川崎市麻生区百合丘1-2-1-201	耳鼻咽喉科
吉澤歯科医院	吉澤 利之	川崎市多摩区中野島6-22-1	一般歯科 小児歯科 口腔外科
吉田内科	吉田 博美	川崎市多摩区登戸2710-6第2ネスト向ヶ丘202	内科
吉田皮フ科	吉田 秀也	川崎市宮前区鷺沼1-18-1	皮膚科
吉松クリニック	吉松 信彦	川崎市麻生区百合丘1-16-2-301	内科 外科 胃腸科
よつば診療所	御影 秀徳	川崎市多摩区南生田5-24-9生田ﾌﾞﾗｻﾞｽﾊｳｽ	訪問診療
米田胃腸科外科	米田 禮之	川崎市麻生区王禅寺西1-24-1	胃腸科 外科
読売ランド前すわクリニック	諏訪 敏之	川崎市多摩区西生田1-8-1-102	内科 消化器内科・外科
㊦ ライズ訪問診療クリニック	工藤 敏和	東京都狛江市市岩戸北2-12-12ﾌｪｽﾃｨﾅｽ5号	内科 訪問診療
レオ歯科クリニック	宍倉 俊介	川崎市高津区溝口1-18-6 2F	歯科 小児歯科 口腔外科 矯正歯科
㊦ 若葉台眼科	佐藤 功	東京都稲城市若葉台2-4-4-3階	眼科
渡辺耳鼻咽喉科	渡辺 昭司	川崎市多摩区宿河原4-25-2	耳鼻咽喉科
渡辺小児科医院	渡辺 明子	川崎市多摩区栗谷3-1-1井田ビル207	小児科 アレルギー科
渡辺クリニック	渡辺 茂	川崎市高津区下作延2-9-10	小児科 内科 循環器科
渡辺クリニック	渡邊 丈芳	川崎市麻生区上麻生7-22-11	内科 脳神経外科 人工透析
渡辺内科消化器科医院	渡辺 義郎	川崎市麻生区上麻生4-34-5	内科 消化器科
One-for-all さぎぬま一丁目クリニック	堀内 一哉	川崎市宮前区鷺沼1-24-4 ﾚｲｽﾞﾓｰﾙ鷺沼1階	内科 呼吸器内科 アレルギー科 訪問診療

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

別紙参照

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	登録医への動画配信12回 研修29回 (Web開催10回含む)
(2) (1) の合計研修者数	動画配信視聴数詳細不明 研修404名 (Web開催参加者数詳細不明)

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有 (有) ・ 無
イ 研修委員会設置の有 (有) ・ 無
ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
奥瀬 千晃	医師	総合診療内科	副院長	32	教育責任者
井上 ふみ子	看護師		副院長	34	看護部長
藤井 真樹	看護師			23	医療相談センター師長
大内 幸敏	臨床放射線技師			36	画像診断部技術課長

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設 備 概 要
講 堂	152.36 m ²	(主な設備) マイク音響設備・プロジェクター・PC 施設・別紙参照
会 議 室	21.32 m ²	(主な設備) ホワイトボード・会議用テーブル・イス 施設・別紙参照
研 究 室	10.547 m ²	(主な設備) 会議用テーブル・イス・PC 施設・別紙参照
図 書 室	15.60 m ²	(主な設備) 図書棚 11連・PC 施設・別紙参照
会 議 室 2	15.45 m ²	(主な設備) 会議用テーブル・イス・PC
	m ²	(主な設備)

2023年度 川崎市立多摩病院 地域医療従事者向け研修会

	開催日	名称	講師(敬称略)	内容	参加者
1	4月	多摩病院 動画配信 第34回	小児科 岩崎 俊之	診療科案内	登録紹介医
2	5月25日	第24回 多摩病院 生涯教育研修会	薬剤部 高田 将季 アイン薬局登戸店 原嶋 渉	トレーシングレポートを活用したがんトレーシングレポートを活用したがん化学療法のマネージメント がん患者フォローのための薬薬連携ー提供される情報を活用したトレーシングレポートー	院内・院外薬剤師51名
3	5月30日	TAMAネットワーク 第1回定例会	看護相談 郡	2022年度活動実績 年間計画 学習会について 訪問看護ステーション看護師が必要と考える看護サマリの内容	院外看護師9名 ケアマネ2名 院内看護師3名 WEB開催
4	5月	多摩病院 動画配信 第35回	腎臓・高血圧内科 丑丸 秀	診療科案内	登録紹介医
5	6月	多摩病院 動画配信 第36回	代謝・内分泌内科 浅井 志高	診療科案内	登録紹介医
6	6月22日	第11回 川崎北部PDセミナー	腎センター 樋代 理景 日本大学 腎臓・高血圧・内分泌内科 主任教授 阿部 雅紀	当院における腹膜透析 地域連携の現状と課題 高齢者PDを地域でサポートする事の意義と有用性	WEB講演会
7	6月29日	TAMAネットワーク 第1回学習会	司法書士 渡邊 博史 行政書士 稲葉 寛史 社会福祉士 武笠 太朗	後見人制度とは 家族信託とは 身元保証人制度とは	院内16名 院外35名 WEB開催
8	7月	多摩病院 動画配信 第37回	アレルギー科 今村 愉子	診療科案内	登録紹介医
9	8月	多摩病院 動画配信 第38回	形成外科 田邊 雅祥	診療科案内	登録紹介医
10	9月	多摩病院 動画配信 第39回	腫瘍内科 小倉 孝氏	診療科案内	登録紹介医
11	9月5日	川崎市北部医療連携講演会	整形外科 大沼 弘幸 麻生リハビリ総合病院	二次性骨折予防リエゾンサービスの現状と課題 整形疾患の神経障害性疼痛を考える	WEB講演会
12	9月14日	TAMAネットワーク 第2回学習会	緩和ケア病棟師長 伊藤 優子 医療相談センター師長 藤井 真樹 外来看護師 ピヨ 美保 訪問看護ステーションタウンナース藤田 友美	緩和ケア病棟の現状 ACPIについて 事例報告 事例報告	院外看護師6名 ケアマネ4名 地域包括支援センター2名 院内関係者25名 WEB開催

2023年度 川崎市立多摩病院 地域医療従事者向け研修会

	開催日	名称	講師(敬称略)	内容	参加者
13	9月28日	2023年度第1回多摩病院薬剤部 抄読会	薬剤部 松本 浩	癌患者における静脈血栓塞栓症予防のためのアピキサバン	院内・院外薬剤師19名
14	10月	多摩病院 動画配信 第40回	神経精神科 三宅 誕実	診療科案内	登録紹介医
15	10月6日	第1回 川崎市立多摩病院－多摩区薬剤師会 薬業連携研修会	薬剤部 藤重 瑤子	保険薬局における抗菌薬適正使用について	院内・院外薬剤師27名
			薬剤部 土師 日香里	ポリファーマシー ～介入のポイントと当院での取り組み～	
16	10月18日	TAMAネットワーク 第2回定例会	読売ランド訪問看護ステーション 三澤	学習会アンケート結果共有	院内3名 院外10名 WEB開催
				第3回学習会の内容検討	
				各事業所の状況報告、共有	
17	11月	多摩病院 動画配信 第41回	放射線科 森本 公平	診療科案内	登録紹介医
18	11月10日	川崎北部 CKD 筋・疼痛セミナー	大阪公立大学医学部 リハビリテーション学科 音部 雄平	慢性腎臓病患者におけるフレイル・サルコペニアとリハビリテーション	院外14名 院内2名 WEB開催
			聖マリアンナ医科大学 緩和医療学 橋口 さおり	腎機能低下患者における神経障害性疼痛管理	
19	12月	多摩病院 動画配信 第42回	乳腺・内分泌外科 志茂 彩華	診療科案内	登録紹介医
20	12月5日	2023年度 川崎市立多摩病院 緩和ケア研修会	なのはな薬局 早川 晃央	在宅緩和ケアにおけるPCAポンプの役割	院内10名 院外22名 WEB開催
			緩和ケア内科 森山 久美	ケアリングマインドと緩和ケア	
21	1月	多摩病院 動画配信 第43回	耳鼻咽喉科 中村 学	診療科案内	登録紹介医
22	1月16日	TAMAネットワーク 第3回学習会	川崎市地域包括ケア推進室 田中	川崎市の地域包括ケアシステムビジョンについて	院内35名 院外 8名
23	2月	多摩病院 動画配信 第44回	皮膚科 小牧 玲雄	診療科案内	登録紹介医
24	2月21日	TAMAネットワーク 第3回定例会	看護相談 郡	学習会アンケート結果共有	院外11名 院内 3名 WEB開催
				活動内容の振り返り	
				次年度活動計画立案	
				各事業所の状況報告、共有	
25	2月22日	第5回 川崎北部CKD-MBD医療連携の会	九州大学病院 腎・高血圧・脳血管内科 山田 俊輔	CKD-MBD診療の新しい輪郭を探る～ガイドライン改定前夜	WEB講演会

2023年度 川崎市立多摩病院 地域医療従事者向け研修会

	開催日	名称	講師(敬称略)	内容	参加者
26	2月22日	第25回 多摩病院 生涯教育研修会	薬剤部 大森 春采	術前に中止が必要な薬剤について	院外30名 院内13名
			薬剤部 加藤 蒼生	周術期薬剤管理加算と周術期チームの取り組みについて	
27	2月28日	川崎緩和ケア地域連携講演会	緩和ケア内科 森山 久美	OIC管理も含めた難治性のがん性疼痛に対するアプローチ	院内11名 院外10名
28	3月	多摩病院 動画配信 第45回	総合診療内科 家 研也	診療科案内	登録紹介医
29	3月28日	2023年度第2回多摩病院薬剤部 抄読会	高津中央病院薬剤部 村山 瑞稀	未治療の転移性膵管腺癌患者におけるNALIRIFOX 対 nab-PTXおよびGEM(NAPOLI3)	院内9名 院外14名

(様式第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 長 島 悟 郎
管理担当者氏名	医療情報部長 宮 崎 秀 和

		保管場所	分 類 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医療情報部	一患者一元番号法による永久保存 文書ファイルはターミナルデジット収納 病名：ICD-10 術式：ICD-9-CM Kコード
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	医療相談センター	
	救急医療の提供の実績	医事課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	医療相談センター	
	閲覧実績	医療相談センター	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	医療相談センター	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	病院長 長 島 悟 郎
閲覧担当者氏名	医療相談センター 松 岡 正 代
閲覧の求めに応じる場所	登録医室
閲覧の手続の概要 ・ 諸記録の閲覧を希望するときは、事前に医療相談センター地域医療連携室に申し込み、病院長の許可を取る。 ・ 諸記録の閲覧は登録医室とし、医療相談センターの職員が同席する。 ・ 諸記録の閲覧時間は、原則として外来診療時間内とする。 ・ 諸記録は印刷、複写、撮影等を含め病院外に持ち出すことを禁止する。	

前年度の総閲覧件数		0件
閲 覧 者 別	医 師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	そ の 他	0件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4 回	
委員会における議論の概要		
・開催日 令和5年6月7日(水) ・出席者 委員8名 ・議論の概要 詳細別紙 ・開催日 令和5年9月6日(水) ・出席者 委員8名 ・議論の概要 詳細別紙 ・開催日 令和5年12月6日(水) ・出席者 委員7名(1名欠席) ・議論の概要 詳細別紙 ・開催日 令和6年3月6日(水) ・出席者 委員8名 ・議論の概要 詳細別紙		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

第 47 回 川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会 議事録

日 時 令和 5 年 6 月 7 日（水）13 時 30 分～14 時 30 分

場 所 川崎市立多摩病院 2 階講堂

出 席 者

委 員 O, K, K, A, Y, K, T（代理）、K

病 院（事務局）

医 師 N, O, A

看護師 I

事務職 A, K, S, I, M, K

（川崎市病院局） M, A

配布資料（資料 1～4 まで前年度、今年度分あり）

- ・ 第 47 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会次第
- ・ 第 47 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会座席表
- ・ 救急災害医療センター患者来院数・・・・・・・・・・・・・・・・（資料 1）
- ・ 川崎市立多摩病院 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率・・・・・・・・（資料 2－1）
- ・ 登録紹介医施設からの紹介件数の内訳・・・・・・・・・・・・・・・・（資料 2－2）
- ・ 高額医療機器の共同利用・・・・・・・・・・・・・・・・（資料 3）
- ・ 川崎市立多摩病院地域医療従事者向け研修会・・・・・・・・（資料 4）

1) 開会

多摩病院医療相談センター Mより開会が宣言された。

今年度から就任したKとAより就任の挨拶があった。当院からの出席者が交代となり、Sより挨拶があった。

2) 議事

（O）

コロナも一段落したということですが、毎日川崎市のリアルタイムサーベイランスで新規の感染者が特に月曜日は多く報告されているようです。病院の病床の利用率も徐々に増えているようですが、幸いなことに重症な患者さんは比較的少ないように思います。われわれ開業医も粛々とワクチン接種を進めておりますので、これからも色々な情報共有をよろしくお願いします。

それでは議事に入らせていただきます。議題 1 は病院長報告です。病院長よりご報告

をお願いいたします。

(1) 病院長より報告事項

私から6点ほど、資料はありませんが口頭でお話をさせていただきます。

〔歯科との連携〕

歯科衛生士を4月に1名追加雇用いたしました。それに伴って3月までは周術期といって手術をする患者さんの口腔ケアだけをやらせていただいていたのですが、4月から体制が整えば、摂食・嚥下チームが介入するような患者さんの口腔ケアをやらせていただくことになります。虫垂炎などいろいろな病気で入院する方々がありますが、口腔ケアをさせていただき、後は地域の開業医の先生に診てもらってくださいというかたちで患者さんを誘導することになると思いますので、歯科の登録紹介医の先生方によりしくお願いしたいと思います。

〔新型コロナウイルスについて〕

先ほど〇からお話があったとおり、福岡の高校で大勢の方がコロナにかかったり、沖縄で新しい株が出てきたり、まだまだコロナ禍は収まらないであろうと思っております。残念な話ですが聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院ではクラスターが発生し、20人以上の方が感染しています。西部病院では引き続き入院患者さんのスクリーニング検査をしていますが、それでも入院して4日めくらいに陰性だった方が陽性になり、そこから広がったという話です。

コロナではなく別の病気の治療のために入院している方が、入院してコロナになるというのは大変なことです。多摩病院では引き続きしっかり管理していかなくてはならないと思っております。

大学病院ではコロナのスクリーニング検査を止めていますが、これも数日前に虫垂炎で入院された方が入院4日後に陽性になり、同室者の方が感染した事例があります。ですのでいろいろなご意見がありますが危機は継続していると捉えており、申しわけありませんが面会制限は引き続きさせていただいております。また、受け入れ病床の確保についても継続して対応したいと思っております。

来年4月1日から感染症法が改正され、公立病院はパンデミックの時にはどんなに毒性が強くて医療者が死んでしまうかもしれないという状況であっても、強制的に患者さんの受け入れが義務化されることになります。ご存じのように川崎市は南部と北部の医療圏があり、南部医療圏は感染症病床が川崎病院12床、井田病院は40床あり、北部は感染症病床はありません。その辺の事情を踏まえてしっかり川崎市と連携しながら北部の医療圏の感染症パンデミックへの対応を考えていかなくてはならないと思っております。

〔災害拠点病院の要件〕

来年4月1日から災害拠点病院の要件が変わり、今までは地震だけだったのが洪水対策も必要となります。当院は設立以来、地下に電源があります。地下に電源があると災害拠点病院の要件を満たさなくなり、移設をしなくてはなりません。構造上の問題がありとりあえず非常用電源だけを地下1階から3階へ移しますが、防水対策やポンプの設

置などにかかなりの額をかけた改修をしないと災害拠点病院の役割を果たせなくなります。喫緊の課題となっていますので、しっかり川崎市と連携しながら体制をつくっていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします

〔鈴木産婦人科閉院について〕

鈴木産婦人科が今月いっぱい閉院します。当院は年間 400 件くらいの分娩を扱っていますが、鈴木産婦人科の閉院に伴い、他の医療機関が対応しなくてはならない妊婦さんが増えてきますので、対策を講じる必要があります。倍くらいの妊婦さんを受け入れる体制の整備をすることになります。

聖マリアンナ医科大学が新病院になりましたが、4 割くらいが個室や有料部屋になっています。救急車から連絡があつて個室しか空いていないときに個室入院ができない患者さんをお断りしている現状があります。成人はともかく小児で個室というのは、若いご両親には難しいところがありそのような患者さんが当院に流れてきています。通常であれば小児の病床の稼働は 50 パーセントもいきませんが、今は 70、80 パーセントぐらいです。

それに加え登戸の再開発があり、多分人口構成が変わり、お子さんを持つ若い世代が多く入ってくる可能性があります。妊婦さんやお子さんの医療と健康を守る体制をつくらなくてはいけないと考えております。

〔川崎SDGsパートナー〕

医療の話ではありませんが、川崎SDGsパートナーというのがあり、多分当院が病院としては初めてゴールドパートナーにさせていただいています。引き続き当院で委託をさせていただいている業者の方にSDGsに関わっていくことを義務付けたり、積極的にパートナーになっていただくような働きかけをしています。

今年度に電気自動車の充電機を設置する予定です。業者の方もSDGsで様々なことを進めていて電気自動車を持っていたりもしますが、取引先に行ったとき電源が無く動かなくなってしまうことがあり使えないという意見がありました。当院に充電器を1台設置して引き続き様々なSDGsに対応していきたいと思えます。

今まで紙ごみをシュレッダーにかけていましたがそれを止めて、市内の業者に依頼して溶解し再生紙にする活動を開始しています。CO2をどれくらい削減できたか数値化して皆さんにお知らせできればよいかと思えます。

〔マイナンバーカードについて〕

当院ではマイナンバーカードを持ってきたいただいて保険証に紐づけることができるようにしています。ただ、そこから先の健康診断のデータやお薬手帳との紐づけに関してはストップをかけています。もし紐づけたとして、当院の電子カルテの富士通のシステムの中にそのデータが取り込まれますが、データが違う人のものと大変なことになるので、保険証としての活用に留めています。この問題は今後の状況を見据えながら考えていこうと思えます。

私からの報告は以上6点ですが、看護部長から1点ご報告させていただきます。

引き続き、看護部長より3年ぶりに実施した看護の日について報告があった。

〔看護の日のイベントについて〕

5月19日金曜日に9時半から11時に正面玄関で、健康測定として血圧・体脂肪・骨密度、AEDの操作体験、栄養相談、リーフレットの配布を行いました。イベントの参加延べ数は149名で、コロナ前の参加人数より2割程度少ない状況でしたが、骨密度の測定やAEDの操作体験は途切れることなく好評でした。参加者の方から「年に何回やっていますか」「毎月やって欲しい」とお言葉をいただきました。地域の方々との交流と健康への関心を深めていただく機会になったと評価しており、次回は秋の開催に向け計画したいと考えております。

(O)

ありがとうございました。ただいま病院長と看護部長からご報告いただきましたが、ご質問やご追加意見などありますでしょうか。

K、入院中からの口腔ケアに病院も注目していくというお話がありましたが、いかがでしょうか。

(K)

誤嚥性肺炎で亡くなる方が多く、患者さん自身では無理なので、入院中といえども口腔ケアをやっていただけなのは誤嚥性肺炎を防ぐ意味で有効だと思います。

(O)

ありがとうございます。

鈴木産婦人科は多い年で年間千を超える出産がありました。最近ではコロナ禍の影響かあるいはアクセスがよくなっていることもあるのか、帰省分娩が半分くらいだそうです。われわれの中でも課題となっているのが、スタッフを募集しても斡旋業者にとられてなかなか人が集まりません。また、光熱費が高騰しており一般の飲食店や商店のように商品に転嫁するということできません。鈴木産婦人科は築25年くらいになるそうで、改修工事を考えるともう閉めますというお話でした。患者さんがどこに回っていくのか注目していきたいと思います。

その他何かございますでしょうか。

(K)

水害への対応をするということでしたが、地下には水害の時に電源以外で影響が出るような設備はありますか。

(N)

地下には医薬品が置いてあり、1回1億円という高価な医薬品もあります。災害対策として高価な物は一か所にまとめ、水が出てきそうな時は上にあげることを考えています。他には内視鏡の機械もあり、臨床工学技士が人工呼吸器などの医療機器を地下で管理しているのでそれらも人海戦術で上にあげなくてははいけません。

(K)

元年に等々力ミュージアムが台風被害で貴重な美術品がかなり失われました。そのようなことが無いように早めに手を打つよう川崎市に要望していただきたいと思います。

(N)

難しいのは排水ポンプを付けるなどしても、下水が多摩川に流れていくので、そこが逆流してくると止めようがありません。水害が発生したら何をしていても地下は浸水するという設定で対応していかななくてははいけません。

(O)

ありがとうございます。よろしければ議事を進めさせていただきます。

(2) 救急災害医療センター患者来院数について (資料 1)

(O)

今回は 2022 年度の総括と、2023 年度 4 月の資料があります。まず 2022 年度の資料をご覧ください。上の表は 2022 年度の救急災害医療センターへの患者来院数を示しています。最上段に救急患者取扱数 (A+B) とありますが、2022 年度の救急取り扱いの患者総数は 8,558 件でした。そのうち 31 パーセントに当たります 2,652 名が入院されています。2021 年度のデータが右端にあり、2021 年度と比べて総件数は 51 件増加しましたが、入院に至った件数は後ほどお話しますが、98 件減少しており、主にウォークイン患者さんからの入院が減少しています。

その下 (A) ウォークイン患者数ですが、2022 年度のウォークイン患者数は 4,262 名で、そのうち 30 パーセントに当たる 1,298 名が入院しています。2021 年度では 1,475 名が入院していたので、ここが大きく減っています。

(B) 救急車来院数ですが、2022 年度は 4,296 名で、そのうち 32 パーセントの 1,354 名が入院しています。2021 年度が 1,280 名ですので、ここは数を伸ばしています。2021 年度と比較して、ウォークイン患者数やそこからの入院件数は減少していますが、救急車来院数とそこからの入院患者数は増加しました。

その下の緑の部分、2022 年度の救急災害医療センターへの紹介患者数は 1,642 名で、そのうち 61 パーセントの 1,007 名が入院に至っています。紹介患者さんからの入院数は若干落ちています。

次にその下の表で救急災害医療センター患者来院数 年度別月平均患者数をご覧ください。月平均のデータを前々年度と前年度、今年度とを並べて比較した表です。先ほどから申し上げておりますが、ウォークイン患者数ならびにそこからの入院患者数は減少しておりますが、救急車で来院数とそこからの入院患者数は増加しております。発熱患者や COVID-19 の受け入れに伴う専用病床の確保を継続していますが、その一方、前年度は段階的に一般病床を増やしてきました。また、可能な限り救急車の受け入れに力を入れたことがこの結果に結びついたと考えております。

次に、単月となりますが 2023 年度 4 月の救急災害医療センター患者来院数について説明いたします。上の表は 4 月のみのデータとなりますが、4 月の救急患者取扱数は 610 名です。前年同月は 694 名なので 80 名ほど減っております。35 パーセントの 212

名が入院しています。前年同月は 192 名の入院でしたので入院数が伸びています。

ウォークイン患者数は 288 名で、前年同月は 355 名ですから 4 月もウォークインの数は大きく減少しています。288 名のうち 36 パーセントにあたる 105 名が入院しています。前年同月は 95 名ですので、入院患者は少し増えていることになります。

救急車の来院数は 322 名でした。前年同月は 339 名ですので数値を落としています。322 名のうちの 33 パーセントにあたる 107 名が入院しました。前年同月は 97 名の入院でしたので、救急車で来院数は伸びませんでしたが、そこから入院に至っている患者数は若干増えていることになります。

緑の箇所の紹介患者数は 147 名で前年同月は 99 名でしたので、およそ 1.5 倍の患者さんをご紹介をいただいております。そのうち 61 パーセントに当たる 90 名が入院となっています。前年同月は 99 名の紹介のうち 52 名が入院していますので、ここも大きく伸びていることになります。

下の表についてはまだ単月ですので参考までにご覧いただければと思います。本年度は当院は新型コロナウイルスに対する病床を一般病床と合わせて 5 東に 32 床確保したまま継続しています。また、医師の働き方改革を見据え外科系の消化器一般外科・脳神経外科・整形外科がオンコール制を取り、全外科体制というような当直へ変わっています。同様に内科系は循環器内科がオンコールであったり、近隣の医療施設とのアライアンスを組むなどして働き方改革に取り組んでいます。

一般病床ですがフルオープンして、現在の運用病床が 369 床となっています。まだオープンしたところがすべて埋まっている状況ではありませんが、積極的にご紹介いただいた患者さんや救急依頼があった患者さんに対応し、最大限地域に貢献できるようにしていきたいと思っております。以上になります。

(O)

ありがとうございました。ただ今のご報告に対しまして何かご質問等ございますでしょうか。

ウォークイン患者の入院数が減っているとお話がありましたが、軽症の患者さんが多く受診するようになったと考えるのか、それとも入院の適応基準を少し上げた、コロナ病床を確保する関係でキャパが狭くなっていて、どうしても受け入れ基準を厳しく上げるを得ないのか、稼働率の問題なのか教えていただければと思います。

(O)

ウォークインからの入院が減っているのは、ウォークインの患者さんは軽症の方が多かった印象があります。外科系では転倒や交通外傷で外来で処置してお帰りいただけるような患者さんで、内科系はご帰宅いただける発熱の患者さんといった方が多かった印象です。

(O)

コロナが心配だからとりあえず来た、という方が結構いらっしゃるのでしょうか。

(O)

発熱や咽頭痛で来院しても検査で陰性であったり、陽性でもお薬を出してお帰りいただける方が多く、今はこのような方の入院は多くないです。

(O)

ありがとうございます。何かご追加はありますでしょうか。なければ議事を進めさせていただきます。

(3) 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率について (資料 2-1)

(O)

最初に 2021 年度・2022 年度の通年の紹介率・逆紹介率の資料をご覧ください。紹介率と逆紹介率の算出方法は資料の下に表示していますのでご参照ください。当院の施設基準は紹介率 65 パーセント、逆紹介率 40 パーセントになります。実線が 2022 年度、点線が 2021 年度の推移です。2022 年度の年間の紹介率は平均で 76.7 パーセントです。年間の逆紹介率は 73.6 パーセントでいずれも施設基準を満たしております。2022 年度は紹介率・逆紹介率共に若干の増加を認めました。要因として紹介状を持参しないウォークインの患者数が先ほどのデータにもありましたが減少していたり、選定療養費の影響も多少はあると報告を受けていて、それらの影響でこのような数値になったと思われます。

続きまして 2023 年度は単月のデータになりますが、紹介率は 79.5 パーセント、逆紹介率は 88.7 パーセントです。逆紹介率が非常に大きく伸びています。これにつきましては 2022 年度の 2 月、3 月頃から逆紹介率が大きく伸びており、病院長をはじめとした逆紹介率の向上、「地域の先生方へ当院からの診療情報の提供を強化しよう」と積極的に逆紹介と診療情報の提供を行っていく啓蒙活動があり、この影響も多分にあると思っております。

(O)

ありがとうございました。ただ今の件につきまして何かご質問はありますでしょうか。

(K)

2021 年 2022 年とも 7 月 8 月や 12 月に紹介率が落ちっていますが、病院以外のところがお休みであったりすることが影響しているのでしょうか。

(O)

ご紹介元の医療施設が休業されている影響もあるかと思います。

(N)

コロナの波で医療崩壊しているときのデータなので、開業医のところに患者さんが行けなかったり、ちょうど夏休みであったりということがあります。

(O)

季節的にも感染症の多いときは、やはり紹介状をわざわざ持ってこない方が多いと思います。

何かその他ございますか。なければ 2-2 についてお願いします。

(O)

資料 2-2 をご覧ください。登録紹介医施設からの紹介件数になります。2021 年度末の登録紹介医数は 451 件で内科が 363 件・歯科が 88 件です。多摩区内では 171 件で内科が 111 件・歯科が 60 件ご登録いただいています。

最下段の資料ですが、2022 年度の当院への総紹介件数は 19,117 件です。2021 年度と比較して 1,051 件増加しています。

その上の表についてですが、登録紹介医施設からの 2022 年度の紹介件数は 12,112 件で、2021 年度と比較すると 445 件増加しています。

円グラフですが、多摩区の登録紹介医施設からの紹介が 9,947 件で 52 パーセント、多摩区以外の登録紹介医施設からの紹介が 2,165 件で 11.3 パーセント、法人内からの紹介を含んで非登録紹介医施設からの紹介は 6,094 件で 31.9 パーセントという数値でした。例年同様、多摩区の登録紹介医施設からの紹介が半数を占めていました。

今年度 4 月単月の実績ですが、紹介いただいた総件数は 1,830 件になります。前年同月から 290 件増加しています。そのうち登録紹介医からの紹介件数は 1,115 件で前年同月と比べて 96 件増加しています。

上の円グラフになりますが、多摩区の登録紹介医施設からの紹介が 928 件 50.7 パーセントです。多摩区以外の登録紹介医施設からの紹介は 187 件 10.2 パーセント、法人を含む非登録紹介医施設からは 715 件で、39.1 パーセントでした。法人内からの紹介件数が昨年度と比べて増えているのは、4 月は法人間での医師の異動に伴い患者紹介が増えるのでそれがデータに反映したと考えております。

いつもご紹介いただき、誠にありがとうございます。以上です。

(O)

ありがとうございます。1 月にマリアンナ本院が開院のため数日間クローズしていましたが、その影響もあって紹介患者が増えてのでしょうか。

(O)

その時は患者さんのやり取りはほぼありませんでした。本院で受けられない救急患者さんを当院で多く受け入れました。引っ越しのために本院から当院へ患者さんを転送することは無かったです。

(O)

その他何かご質問やご追加はございますでしょうか。

(K)

この資料の「登録紹介医施設からの紹介数」には、高額医療機器の利用のみで紹介さ

れた患者数も入っていますか。

(O)

入っています。

(K)

高額医療機器利用の紹介と、診察の紹介患者さんの割合はいかがでしょうか。

(K)

高額医療機器利用の紹介数は次の資料 3 になります。これは登録紹介医の先生からの紹介なので、4 月だけでみるとおおよそ 30 パーセントくらいが検査紹介となります。

(O)

他に何かございますか。では、資料 3 に基づき高額利用機器の共同利用についてご説明をお願いいたします。

(4) 高額医療機器の共同利用 (資料 3)

(O)

2022 年度につきましては、内視鏡が 2021 年度より 100 件ほど下回っておりますが、CT と MRI、超音波は 2021 年度を上回るご利用をいただいております。特に MRI は 170 件ほど増えております。

今年度 4 月はいずれの高額医療機器のご利用も昨年度と同等かそれより多くご利用いただいております。ご迷惑をおかけしておりました内視鏡についても少し増加しています。内視鏡は今まで検査の間隔を換気のために 15 分から 20 分程度開けていたのを、今はやめています。通常のタイムテーブルに戻して運用していますので、1 日あたりにこなせる件数が少し増えてきております。また、検査状況を見ながら枠開けをしてもらっていますので、もし予約が入らないことがありましたら医療相談センターにその旨お伝えいただければ枠開けの交渉をしておりますので、ぜひご利用いただきたいと思います。

(O)

ありがとうございます。検査には波がありますが、この件について何かございますか。なければ議事を進めさせていただきます。

(5) 地域医療従事者向け研修会 (資料 4)

(O)

2022 年度も動画配信やオンラインを利用した講演会を中心に計 27 回の研修を開催しております。

2023 年度は 3 回まで研修会を実施しております。この後も適宜予定を組み積極的に開催してまいります。

また、資料は配布しておりませんが、以前からご報告している動画版市民健康講座に

つきましても、白内障の動画を準備中で、看護部から人生会議をテーマにした動画を準備中です。

(O)

ありがとうございます。Web会議ですと人数をカウントしづらいようなことはありませんか。

(O)

あると思います。

(O)

他に何かお気づきの点などございますか。無いようですのでさらに議事を進めさせていただきます。

(6) その他

(A)

2点コメントさせていただきます。役所としてはマイナンバーカードの普及を推進する立場ですが、やはり保険証等への紐づけに関して、現場の先生の意見としてはまだまだ危ういとお聞かせいただき、ありがとうございました。

もう1点、医師の働き方改革の体制をとられたということですが、これはまだ始まったばかりですか。

(O)

当直体制でオンコールを増やしたのは4月からです。

(A)

年間960時間越えの方が何人減ったかというデータはまだ出ないですか。

(O)

そのデータは次年度に向け持ち合わせており、今までの実績では研修医も含めて960時間越えの医師はいないです。診療科ごとに出せると思いますが、方向性として当院はA水準で行く準備を進めています。宿直が取れるところは宿直の申請をしていく予定ですが、データをしっかり集めて数か月以内には申請できるよう準備をしています。

(A)

ありがとうございます。

(O)

医師会としても病院からの応援というのは絶対不可欠です。開業医が特殊外来・専門外来をお願いしているところもあるので、病院の中だけで手いっぱいなので人を出せませんとなることを一番懸念しています。

もう一つ多摩区の場合、休日急患診療所で準夜帯から深夜帯にかけての患者さんの数と勤務時間で計算すると実働時間が平均して 15 パーセント弱くらいということで、ここを宿日直の形で申請を取ることができました。ただ内科については準夜帯だけですので、何とか地域の医師会の先生方でサポートしながらと考えております。働き方改革はあけてみないとわからないところもありますが、われわれも非常に興味関心を持って臨んでいるところであります。

消費税問題ですが、川崎市医師会では行政から各種の予防接種や健康診断を消費税を付けて委託を受けております。課税医療機関が大前提ですべての医療機関に消費税分を付けてお渡ししています。この 10 月から非課税の医療機関に対しては消費税を払っていただけない状態で消費税を渡しているの、医師会の方で負担しなくてはならず、医師会側が全部をお渡しすると恐らく税務署から年間 4 千万円ほどの請求書が来ることになり、医師会が成り立たなくなってしまう。各医師会にどのような対応を取るのか確認したところ、非課税の登録をしていない非課税事業所に対しては消費税分を最初から引いてお渡しするというかたちをとります。医師会では登録事業所かどうかは公開されていますので、それを見て非課税事業所であれば消費税分は医師会側が立て替えてお支払いするということになります。開業している先生方にはこのようなかたちになるとお話する予定となっています。

その他何かございますでしょうか。無いようですので事務局からお願いします。

3) 閉会

(事務局より)

本日の議事録は委員長の確認後、各委員に配布させていただく。
また、次回開催日時を令和 5 年 9 月 6 日 (水) 13 時 30 分からとし、14 時 30 分、
〇の閉会の辞をもって終了とした。

以 上

第 48 回 川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会 議事録

日 時 令和 5 年 9 月 6 日（水）13 時 30 分～14 時 30 分

場 所 川崎市立多摩病院 2 階講堂

出 席 者

委 員 O, K, K, A, Y, K（代理）, E（代理）, K

事務局（事務局）

医 師 N, O, A,

看護師 I

事務職 A, K, S, I、M, K

（川崎市病院局） M, A

配布資料

- ・ 第 48 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会次第
- ・ 第 48 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会座席表
- ・ 救急災害医療センター患者来院数・・・・・・・・・・（資料 1）
- ・ 川崎市立多摩病院 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率・・・・・・・・（資料 2－1）
- ・ 登録紹介医施設からの紹介件数の内訳・・・・・・・・・・（資料 2－2）
- ・ 高額医療機器の共同利用・・・・・・・・・・（資料 3）
- ・ 川崎市立多摩病院地域医療従事者向け研修会・・・・・・・・・・（資料 4）

1) 開会

多摩病院医療相談センター Mより開会が宣言された。

2) 議事

(O)

皆様、はじめまして。医師会からまいりましたOと申します。私はここから 5 分くらいのところまで開業しております。川崎市医師会では地域保健を担当しており、会長から引き継ぎを受けました。どうぞよろしくお願いいたします。

2006 年にこの病院が開院したとき、私自身は総合診療内科の医師として赴任しまして、当時はいかに紹介率を上げるか、上司から指導を受けながらやっておりましたが、今は立場が逆になり不思議な気持ちでございます。まだまだわからないことがたくさんありますので、皆様方のご指導をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(1) 病院長より報告事項

最初に、私はこの運営委員会に副院長の頃から出ていますが、ずっと同じやり方できていて議事内容が同じです。本来であれば、ステークホルダーの方々に来ていただいて地域医療支援病院として何が求められどのような解決方法があるのか、ざっくばらんに議論いただくのが本筋ではないかと思っております。同じ内容を報告しておしまいでしたので、〇に来ていただいたことすし、規定や会の運営方法を変えていければと思います。というのも、皆さんご存じかと思いますが、東横病院が3月31日をもって閉院します。コロナや医療環境の変化など諸々のことがあり、やはり私立が運営するのはどこの地域でも厳しくなっていて、地域医療支援病院としてステークホルダーの方々の協力を得ながらしっかりとした経営基盤を作り上げていかななくてはならないと思っております。〇と相談しながら進めていければと思いますので、よろしくお願いいたします。

〔外来延患者数と外来新患者数の推移〕

赤が今年度4月から7月で黄色が昨年度、青はコロナ前の2019年でコロナの影響がなかった時です。残念ながら去年と比べても赤の棒グラフのところは延患者数も新患者数も回復していない状況になります。地域の方々に多摩病院にいらしていた方々を、まだしっかり診られる環境になっていないということになります。現状はまだ面会制限もしていますし、救急車の搬入はコロナを想定してのフルPPEの装備では3台4台と救急車を同時に受けることができないなど、様々な障壁がありますが、地域医療支援病院としてどのような外来運営を展開していくか、皆様のご意見に基づいて考えていかなくてはいけないと思っております。

〔入院延患者数と新入院患者数の推移〕

2019年よりもまだまだ低いですが、入院に関しては去年の黄色の棒グラフよりも赤の方が上がってきていて少しずつ回復している状況になります。

〔診療科別紹介患者数〕

全体的なことはこれから〇からお話がありますが、こちらは2017年から19年の1か月の平均紹介患者数を外来の診療科別でみたもので、実績は7月の実績になります。総合診療内科や消化器内科、整形外科はかなり紹介患者が減っています。ここでステークホルダーの方々にお願いしたいのは、医師会の先生方にはぜひ多摩病院に患者さんをご紹介いただき、ここを上げていかないと地域医療支援病院の役割が果たせないと思っております。

〔救急車来院取扱件数〕

紫色が2019年で緑が去年、赤が今年です。8月まで表示がありますが、去年に比べると少しは救急車の搬入台数が増えています。お電話をいただいてもお断りすることがあるかもしれませんが、救急隊からお電話をいただく頻度が上がれば受けられる時間帯もありますので、多摩区内で発生した救急患者さんを搬送するときはぜひ多摩病院にご連絡いただければと思います。

〔分娩件数〕

鈴木産婦人科が6月をもって閉院しました。恐らく年間で1,000件近い出産を扱っていたと思いますが、その分が多摩病院に流れてきて、7月が66件、8月が56件となっています。右側にあるグラフは2019年から2023年度のもので、7月8月は非常に増えています。多摩病院ではこれくらいの件数の分娩は受けられるので、件数を落とさずに維持したいと考えておりますので、「出産するなら多摩病院」ということで皆さんにご協力いただきたいと思います。

〔下半期に向けた課題〕

2023年度の下半期にどのようなことをやっていくかということですが、9月いっぱい空床休床補償がなくなります。当院は32床、いつどのようなときでもコロナの患者さんが発生したら受け入れられる体制を維持してきましたが、10月以降はそれができなくなるので、コロナ病床をかなり縮小せざるを得ないであろうと思っています。現状でも救急隊が10回電話をかけてやっと多摩病院にたどり着いたとか、東京からだとか、コロナに罹患した人の受け入れは厳しい状況にあると思いますが、コロナ専用というかたちにしてコロナの患者さんがいないときでもそこを維持するのは現在の状況では厳しく、波が来た時には増やして引いた時には減らすかたちでやっていかざるを得ません。いずれにしてもコロナ前の外来・入院機能へしっかり回復させなくてはならないと考えております。

冒頭で申し上げたように、東横病院がいったん閉鎖することになりますので、東横病院で行っている企業検診や外来機能の一部、また今まで東横病院に紹介されていたクリニックの先生方が、今後は多摩病院や大学病院に紹介できるよう引き継ぎをしっかりとやらなくてはなりません。

コロナはE.G.5という株が流行っていて、その後はまた別の株が流行っていくという話もあります。台風や水害への備えもしていかななくてはならないと考えておりますが、現状では多摩病院が災害のためにあらたな施設を造ったりする場合は聖マリアンナがすべての支出負担をすることになっていて、それではなかなか難しいので、この点は行政としっかり相談しながら対策を講じていかなくてはと思います。線状降水帯といったこれまで考えられなかった災害が降りかかってくる恐れがあるので、しっかりやらなくてはなりません。

医師の働き方改革、そしてアカデミアとしてのさらなる地域医療への関与というのは、全国の公立病院の中で大学が指定管理者となっているのは当院と他にいくつかあるくらいで、大学人としてどのようなことができるかを考えていかなくてはと思います。

〔多摩病院入院症例数〕

これはダイヤモンドプリンセスの事件があったから多摩病院に入院したコロナ患者の推移で、一番右側が第9波、今になります。第8波を超えて患者が増えています。10月に入っても恐らくこの勢いは変わらず、対応していかななくてはならないと思っております。

〔聖マリアンナ医科大学のアカデミック・ポジション〕

多摩病院に在籍している教授は私も含めO、Aなど7名の教授がおります。准教授は8名おりますので、このようなアカデミックタイトルを持った職種が地域の方々の健康を守る医療を展開するかたちをもっともっと前面に打ち出していきたいと考えています。

私からは以上です。ありがとうございました。

(O)

N、ありがとうございました。ただ今のご報告について何かご意見、ご質問等ある方はいらっしゃいますでしょうか。

(K)

前回か前々回に、浸水対策のために電源設備を移行するというお話が出ましたが、現状は全く進展していないのでしょうか。

(N)

工事の計画はできあがって、着工する・しないというところですが、工事の内容自体にまだ少し疑問があり、現状ガソリンは地下に埋まったままです。電源だけを上に持っていくますが、もし洪水になったら地面に埋まっているので水没してしまいます。水没してそこから上に持ち上げるとガソリントankの中に空気が入っていきます。空気取りのために設置するのが2メートルくらいの筒で、洪水で木や車が流れてきたりすると簡単に壊れてしまい機能しなくなってしまうので、そこをどうするか相談をしているところで、少しずつ詰めていく必要があります。

(K)

もう少したったらほぼ計画通り、電源を上に移せるようになるのでしょうか。

(N)

ガソリンを上に移さない限りは完璧な防災対策にはならないと私個人は思っていますので、それにはかなり時間がかかりそうです。少なくとも3日分のガソリンを、1日分でも12時間分でもとにかく上に持っていくと、病院局と相談しながら進めているところです。

(O)

よろしいでしょうか。それではK、お願いします。

(K)

紹介患者さんですが、FAXで患者さんの希望日に予約しようとする「その日はいっぱいです」と断られてしまうのが一つ、当日診て欲しい患者さんがいるので電話をすると返事のためにたらい回しになっていて、結局返事がもらえるまで10分、20分経ってしまうことがあります、このようなことを解消すれば、病院にとって負担にはなるでしょうがかなり紹介率は上がると思います。当日診て欲しいという患者さんは緊急性がある

ので、連携室が電話を取って受けるのかどうか調べるのに 10 分、20 分と待たされるのはつらいので、連携室は「はい、わかりました」でその後はすぐに病院が動いてくれるシステムができると紹介率は徐々に増えていくと思います。

(O)

ありがとうございます。いただいたご意見ですが、われわれも解決しなくてはと考えております。予約日については先日病院長名で、予約枠にもともと設定されている地域連携室の予約が入っていても入っていなくても 1 日 1 人ずつは入れさせて欲しいとお願いをして、少し枠を広げています。救急の当日診療依頼については、地域連携室を含めてしっかり検討させていただきたいと思います。

(O)

ありがとうございます。その他ありますでしょうか。

多摩病院と聖マリアンナ医科大学病院とで機能分化しているところがあると思うのですが、先生によって守備範囲が異なるところがあるのかなと思います。消化器内科でいうと ESD ができる期間とできなくなってしまう期間があったり、食道がんは大学の方がよくて噴門部がんは多摩病院の方がダビンチ手術で勢いがあり、そのようなところがタイムリーに情報で伝わると良いと思います。多摩病院に紹介したけれども実はマリアンナ医科大学病院に行ってしまったとかありますので、そのあたりのことがわかりやすくなればスムーズに紹介できるかなと思いました。

(O)

先生がおっしゃるように、時期によって胆・膵系がまったく受けられないということが発生しております。一度はこちらで受けて、こちらからマネジメントしてしかるべき施設で治療し、またこちらにお戻りいただくという、先生方がご苦労されないよう一度はお受けするのが本来だと思いますので検討させていただきます。

(O)

最近ではマリアンナが一次・二次も含めた救急で裾野を広げているところがあります。多摩区の患者さんは多摩病院で診ていただくのが良いと思いますし、患者さん自身もそう思っているようですので、よろしく願いいたします。

私の方からもう一つ、紹介受診重点医療機関というのがあり神奈川県以外の多くの県で公表されているかと思います。神奈川県ももう間もなく月末に公表されると伺っていますが、そうなったときに現場レベルで何か変わることはありますか。

(N)

特に変わりはないと思います。

(O)

今までどおり紹介するということによろしいですか。

(N)

はい。

(O)

わかりました。ありがとうございます

(2) 救急災害医療センター患者来院数について (資料 1)

(O)

資料 1 は 2023 年度の救急災害医療センター患者来院数を示しております。上段は 2023 年度 7 月までの来院者数です。最上段の救急患者取扱数 (A + B) をご覧ください。7 月以降、徐々に救急患者取扱数が増加しております。これらの患者さんが入院に至った比率は 32 パーセントから多いと 40 パーセントで、平均 35 パーセントで推移しております。

その下 (A) はウォークイン患者数で、平均で 300 件以下という少し低い数値で、だいたい例年 300 から 350 の間を推移していますので、4 月は低い数値となっております。5 月以降は漸増しており、入院に至った患者さんの比率につきましては 32 パーセントから多いときは 6 月で 42 パーセントでした。平均が 37 パーセントでこの数値は昨年度に比べて高い数値となっております。

救急車で来院数 (B) ですがこちらも 4 月以降漸増しており、7 月は 477 件まで増加しております。これらの患者さんが入院に至った比率は 29 パーセントから 38 パーセント、平均 33 パーセントで推移しており、この数値も数パーセントですが昨年度に比較して高い数値となっております。

その下、緑の背景の部分は救急災害医療センターへの紹介患者数を示しております。紹介患者数は 5 月以降多くの患者さんをご紹介いただき、例年に比較しても高い数値で推移しています。ご紹介いただいた患者さんのうち入院に至っている比率は 61 から 69 パーセント、平均 64 パーセントで、例年おおよそ 60 パーセントにいくかいかないかなので例年と比べても高い数値となっております。

下段は上段のデータを月平均患者数として、昨年度および一昨年度と比べて提示しております。2021 年度および 2022 年度に比較して、ウォークイン患者数で減少しているものの、救急車来院数が大きく数値を伸ばしており総数でもプラスに転じています。この状況は救急車が増えているということで好ましい状況に転じていると判断しております。4 月の応需率が低かった・救急の数が低かった要因として、夜間帯の救急車応需に対応する医師が新たに着任した 3 年目の後期臨床研修医が多く対応していたことや、法人内での異動直後の医師が担当していたことであつたり、外科系の当直が働き方改革を踏まえて夜間休日帯のオンコール体制を大きく導入したことにより、救急の内科系の医師がオンコールが想定される病態の応需について躊躇していたというか、積極的に受けなかった状況が考えられます。これについて改善策を講じ、5 月以降の漸増傾向については内科系の医師が外科系の医師のオンコール対応が想定される疾患の患者さんも積極的に取り始めたことや、小児科の急患が増えて救急災害医療センターでの受診と入院患者数も伸びました。内科系で高齢者の新型コロナウイルス感染症を含む発熱や対応困難といった患者さんの搬送や受診が非常に多くなってきたということが要因であったと想

定しております。

(O)

ありがとうございます。ただ今のOのご報告についてご意見やご質問がある方いらっしゃいますでしょうか。

救急車が多くなったというのはご依頼の電話が増えてきたのか、それとも応需率が増えてきたのか、どちらの要因でしょうか。

(O)

応需率は把握しておりませんが、比較のお電話に対しては積極的に受ける体制ができていたのではないかと考えております。

(O)

ありがとうございます。その他何かコメントのある方はいらっしゃいますか。救急隊の方はいかがでしょうか。

(E)

多摩病院にはいつも救急隊がお世話になっており、ありがとうございます。多摩病院さんは区内の唯一の救急告示医療機関なのでかなりご協力いただいております。

(O)

応需率の公表は難しいのでしょうか。

(O)

全て拾えていないところがあります。だいたいところは拾えているのですが。

(N)

麻生区や宮前区にかなり流出しているのではないかと考えており、それは当院がお断りするからでしょうが、そのようなことがないよう多摩や宿河原は多摩病院でしっかり受けたいと考えております。

(E)

ありがとうございます。コロナ前の応需率は8割強で100回電話をかければ80数パーセントは受けていただいています。コロナが始まってからは6割7割に低減していて今はコロナの感染が落ち着いてきているところでありますが、戻っていないのが現状です。

(O)

小児の急性腹症は小児外科でマリアンナ医科大学の方がよいのではないかと、とか条件があると思いますので、そのあたりが整理されると一発で取っていただけたらと思います。

(3) 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率について (資料 2-1)

(O)

資料 2-1 は今年度および昨年度の地域医療支援病院紹介率・逆紹介率をお示ししております。紹介率と逆紹介率の算出方法は資料の一番下に記しております。当院の施設基準は紹介率が 65 パーセントで逆紹介率は 40 パーセントをクリアすることが施設基準になっております。実線が今年度で点線が前年度の推移を示しています。

今年度 7 月までの紹介率は平均で 80.3 パーセントとなっております。逆紹介率は平均で 80.1 パーセントでいずれも施設基準を大きく上回って推移しています。紹介率の増加には紹介状を持参された患者さんの数が増加したものと救急車来院数が増加したことが寄与しているものと思われます。

逆紹介率の増加につきましては、昨年度末からのかかりつけ医への診療情報提供書作成の推進に関する取り組み等々の影響もありますし、救急車来院の患者数の増加も大きく寄与していると思われます。

資料 2-2 は登録紹介医施設からの紹介件数の内訳になります。現在の登録紹介医数は 455 件で、前回のご報告から 4 件増加しております。うち内科が 366 件で歯科が 89 件、多摩区内は 172 件で内科が 112 件、歯科が 60 件です。

下の表ですが、登録紹介医施設からの紹介数と非登録紹介医施設を含めた総紹介数についてお示ししております。今年度 4 月から 7 月についてはいずれの月も前年度を上回る紹介数をいただき推移しております。

登録紹介医施設からの紹介数のみに限りましても、現在までは前年度を上回る紹介をいただいております。

上の大きな円グラフですが、左側をご覧ください。2023 年 7 月までの多摩区の登録紹介医施設からの総数は 3,749 件で 50.9 パーセントと概ね例年通りとなっております。

多摩区以外の登録紹介医施設からの紹介総数は 754 件で 10.5 パーセントです。非登録紹介医施設からの紹介数は、法人内からの紹介を除外した非登録紹介医施設からの総数が 2,233 件で 30.9 パーセント、法人内からの総数は 484 件で 6.7 パーセントという数値でした。これらの数値も概ね例年通りですが、法人内からの紹介が若干増えております。要因として年度の始めは法人内の医師の異動によって患者さんを依頼するやりとりや、大学の建て替えて個室が増加し、個室の適応にならなかった患者さんをこちらに紹介をいただいて入院していることが挙げられます。

(O)

ありがとうございます。ただ今のご説明について何かご意見、ご質問ある方はいらっしゃいますでしょうか。多摩区内を中心として順調に紹介が増えているということでしょうか。

(O)

ありがとうございます。

(O)

O 先生から引き継ぎがあったのですが、逆紹介というところで、紹介いただいた先生

に患者さんをお返しする割合をぜひ一度調べていただきたいです。これはマリアンナ医科大学病院の方が顕著らしいのですが、例えば患者さんを病院に紹介し、その後も引き続き管理が必要だが大学病院や多摩病院でずっと診る必要はないが自分が診たい先生がいらっしゃって、例えば自分が週一回アルバイトに行っているクリニックに送るといったことがあったようです。紹介した患者さんが自分のクリニックに戻らないケースは現場レベルで多々聞く話で、もちろん病態上必要であれば仕方がないのですが、こういう理由でそうなったとご報告やご連絡いただければというお話がありました。

(O)

ありがとうございます。入院と外来両方でしょうか。

(O)

入院に関しては在宅医療に移ってしまう患者さんがいらっしゃって、そうした場合はぜひ多摩区内の在宅医療の機関にご紹介いただけますと、例えば私のところでしたら元々の紹介いただいた先生にご連絡して場合によっては一緒に診ることも含め相談します。ぜひそういう連携の中でご理解いただければと思います。今、麻生総合病院が紹介された患者さんが在宅になる場合はトライアングルになるように連絡してくださっているので、ぜひそうしていただければ在宅になった場合でも元の先生とのつながりが切れないのではないかと思います。

(O)

承知いたしました。準備いたします。

(N)

逆紹介のほとんどがこの後お話する高額医療機器の利用によるものですので、診療科ごとに表示するような細かいデータにした方がよろしいかもしれません。検討させていただきます。

(4) 高額医療機器の共同利用 (資料3)

(O)

CTとMRIの利用件数が前年度と比較してCTが60件、MRIが51件と減少しています。今年度になってこの2つの機器の利用件数の減少が目立っており、MRIはご依頼いただければ翌日から入るようなかんじです。脊椎などは以前は数週間お待ちいただきましたが翌日から入るので、ぜひともご紹介いただければと思います。当院での検査のメリットは以前にもお伝えしましたが、何か病気が見つかって急を要するときにはそのまま診療に結び付けて、先生方のところには一報を入れさせていただいて入院治療まで結びつけることができます。先日、画像専門のところで造影検査をやってアナフィラキシーを起こし当院に搬送されることがありました。当院であれば迅速に対応ができますので、患者さんへのメリットも大きいと考えております。

超音波につきましては例年通りです。前年度とほぼ同等です。内視鏡については数自体は例年を上回っています。上部の内視鏡であれば今は数日で予約をお取りすることが

できますが、下部については申しわけありませんが11月の予約になってしまいます。症状があつたり急いだほうがよさそうな場合、お手数ですが地域連携室にご連絡いただければ準緊急枠を使って早めにすることができますので、ご利用いただければと思います。

(O)

ありがとうございます。この件につきまして、ご意見・ご質問がある方はいらっしゃいますか。

(K)

この資料の高額医療機器の利用からは外れますが、1、2年前にダビンチを導入されて有効に使っているとお聞きしましたが、どの程度活用されているのか教えていただければと思います。

(A)

ダビンチは現在泌尿器科と消化器外科で活躍しています。前立腺がんや消化器外科では胃がん、大腸がんの治療で使用しています。大腸がんは今まで直腸に限定されていましたが、経腸にも拡大しています。当院では進行性の胃がんはほぼダビンチで治療させていただいています。来年からまた診療報酬が変わって適用が増えてくれば、例えばヘルニアなどにも導入させるのではないかと言われていますが、発表され次第対応を考えていきたいと思っています。

(K)

これは紹介した外部の先生がやるのは不可能ですか。

(A)

特殊な技術となりますので外部の方では難しいです。

(K)

わかりました。ありがとうございます。

(O)

その他いかがでしょうか。MRIは整形外科の先生方などは多摩病院以外のところへ依頼しているようです。

(O)

ご利用いただけるよう放射線科医師を含めて積極的にアピールしたいと思います。

(O)

高額医療機器ではありませんが、医師会の現場の先生方からマンモグラムのアクセスが悪く、まず乳がん検診が取りづらいというご意見があるのと、症状がある方を乳腺外科に紹介しなくてはいけないところではハードルがあり、例えばマンモグラムと乳腺超

音波だけでも外部で予約ができると、自分のところである程度スクリーニングまでできるという意見がありました。

また、大腿骨頸部骨折で二次性骨折の予防継続管理料が新設され、算定要件にデキサによる測定があり、デキサを持っている医療機関が本当に少ないものですから、ご検討いただけますと地域連携につながるのではないかと思います。

(O)

貴重なご意見をありがとうございます。前向きに進めさせていただきます。

(5) 地域医療従事者向け研修会（資料 4）

(O)

資料の左の番号 9 番までが既に開催済みで、今後は 10 番の 9 月 14 日の多摩ネットワーク、9 月 28 日の多摩病院薬剤部の抄読会と続いています。今年度もWEBまたは動画等の配信が中心となっております。研修会につきましては今後も積極的に継続してまいります。

資料にはございませんが、登録紹介医の先生方に向けた各診療科からの動画版の診療科案内を定期的に発信し、現在 37 回目を迎えております。総数で 6,238 回のアクセスをいただいております。市民に向けては対面開催が叶わず YouTube での健康講座の配信と、糖尿病に関しては薬剤や看護部から配信しております。

今後も医療従事者のみならず、市民の方々に向けて積極的に健康増進に向けた取り組みを行ってまいります。

(O)

ありがとうございます。この件についてご意見のある方はいらっしゃいますか。

(Y)

前回病院長から地域連携の研修会をご提案いただきまして、その後 7 月の初めに I をはじめとする方々にお会いして「今後研修会を開きましょう」という話になりました。第 1 回が 10 月 6 日金曜日に多摩病院の薬剤部の先生が感染症認定薬剤師の話をしてください。多摩区薬剤師会とタイアップして、今年度は 3 回程度研修会を行いたうということになっております。

(O)

ありがとうございます。その他いかがでしょうか。ぜひ市民向けも含めて研修を進めていただきたいと思います。。

(6) その他

(N)

9 月 3 日に災害訓練があり参加されていた方もいらっしゃると思いますが、多摩病院のような地域医療支援病院が災害時に何をしたらよいかと疑問があります。避難所はクーラーが無く非常に暑い中で生活しなくてはならず、数年前の多摩川が氾濫したときは

避難所がなくなるくらい混雑してしまいました。当院は一人ひとりの患者さんのスペースが広くベッドもあります。そこに退院間近や退院日が決まっている人がいらっしやって、一方で発熱していたり下痢をしているような避難所の方々が狭いところでつらい思いをしています。当院は地域医療支援病院で災害拠点病院でもあり、医療だけを提供することになっており、当院の災害防止マニュアルも避難してくる人達も全部断るよう書いてあります。本当にそれでよいのか、それとも少し工夫して当院でも避難してくる方がある程度受け入れる環境をつくった方がよいのか、今の行政や医師会のスタンスがいかなっているのかお伺いしたいです。

(A)

一昨日の避難訓練も私が統括でおりましたが、院長先生がおっしゃることもごもっともではあるのですが、東日本大震災のときの石巻日赤等の現実を見ますと、多摩病院のような診療能力を維持できていて医療器材もある病院については、災害発生時に本当に医療が必要な人のためにその機能をキープして欲しい、下手に開けてしまうとそうでない方々もたくさん入ってきてしまい、群衆のコントロールに必要な医療資源や医療スタッフ、医療スペースが占拠されますので、一番大事な医療機能を確保するために安易に一般の方に門戸を開くのはかなりリスクがあるといわれています。地域医療支援病院のマニュアルにもトリアージして軽症者は病院内に入れないういかたちを取っておりまして、現時点では多摩病院に求められる災害時の役割としてはそのままだと思います。

先生がおっしゃるように暑い体育館の中であれだけの人を何時間も押し込めていてよいのかというのは全く別の話で、順次改善はしたいのですが、規模が桁違いなのですぐには改善しません。今後の解決策として社会・世の中が言っているのはマンション等の堅牢な建物にお住まいの方は避難所に来ないで自宅避難をしてくださいと、自宅避難で頑張れるよう必要な食料や物品、トイレ等はご自身で自宅に確保して7日間頑張ってください、逆に言うと避難所に来ないようにさせる方向でやっています。その上で避難所に来た方の中で「この環境で避難するのはまずい」という方を組織としてピックアップし福祉施設等あるいは公的施設で市民館も想定されますが、ある程度のアメニティが確保できる場所へ、必要な人をピックアップして避難所で我慢してもらうのではなく、できるだけそのようなところへ合理的に運んでいこうという方向で動いております。

(N)

恐らく現状ではまだそこまでの整備ができていなくて、多摩区では高層ビルはほとんど耐震工事が進んでおらず 避難所といわれているところも水害に遭ったら避難所として使えないようなところも多く、地域にお住まいの方々はかなり不安があるのではないかとこの中での話です。少しF U Z Z Yに考えておいた方が良い気かしないでもありません。O、いかがでしょうか。

(O)

医師会の災害担当ではないのですが、多大な傷病者が発生している状況があれば、Aがおっしゃるように医療に注力するという形になるかと思います。逆にこの間の水害のように避難している方は多くても緊急を要する傷病者が少ない状況だと、命からがら逃

げてきた劣悪な環境にいる避難者が、トリアージタグが緑だったのが徐々に黄色になっていき、最後脱水になって赤となるようなシナリオについても同時に考慮しなくてはならないというお話を聞いたことがあります。私は在宅医療もやっていますが、今の施策で個別避難計画も含め「できるだけ自宅に留まりなさい」という中で、自宅で要配慮者の状態が悪くなっているのを覚知できないのではないかと指摘されています。川崎市では民生委員が最初に覚知しようというマニュアルになっているそうです。また、要支援者のリストが医師会に共有されていない現状があります。これを個人情報への配慮だと言うのですが、要配慮者で自宅に留まっている人が本当に劣悪な環境で電気が通らなくなるとして福祉避難所にいかなくてはならないラインというのが無く、どのように覚知し、傷病者が少ないのであればあらゆる施設を使ってそのような方をケアしていくのかというのはとても重要なことで、医師会でも話題になっているところです。

(K)

私は自治防災に関して色々携わっていますが、先ほどの災害時の要支援者のデータが医師会に共有されていないというのは、たいへん問題だと思っております。災害時要支援者は各自治会の防災地区長と民生委員が握っております。個票というのがあり、その中に関係者やどのような症状かなどすべて書かれていて、これは個人情報なので部外には出さないようにと行政からの指示が届いております。やはりこのような情報は個人情報であっても医師会の皆さんと共有しておいていただき、有効に使っていただくようお願いできればと思います。

(O)

ありがとうございます。その他何かございますでしょうか。
無いようですので事務局からお願いします。

3) 閉会

(事務局より)

本日の議事録は委員長の確認後、各委員に配布させていただく。
また、次回開催日時を令和5年12月6日(水)13時30分からとし、14時30分、
〇の閉会の辞をもって終了とした。

以 上

第 49 回 川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会 議事録

日 時 令和 5 年 12 月 6 日（水）13 時 30 分～14 時 30 分

場 所 川崎市立多摩病院 2 階講堂

出 席 者

委 員 K, K, A, Y, K, M, K, T（陪席）

病 院（事務局）

医 師 O, A, T

看護師 I

事務職 A, K, I（代理）, I, M, K

（川崎市病院局） M, A

配布資料

- ・ 第 49 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会次第
- ・ 第 49 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会座席表
- ・ 救急災害医療センター患者来院数・・・・・・・・・・・・（資料 1）
- ・ 川崎市立多摩病院 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率・・・・・・・・（資料 2－1）
- ・ 登録紹介医施設からの紹介件数の内訳・・・・・・・・・・・・（資料 2－2）
- ・ 高額医療機器の共同利用・・・・・・・・・・・・（資料 3）
- ・ 川崎市立多摩病院地域医療従事者向け研修会・・・・・・・・・・・・（資料 4）
- ・ 紹介入院患者の退院先施設（追加資料）

1）開会

多摩病院医療相談センター Mより開会が宣言され、本日の出欠状況について説明があった。Oは厚労省の会議のため欠席で、議事進行は多摩区医師会会長のKが代理を務める。多摩消防署より、Mと共に救急係長のTが出席している。当院側は病院長が本日同時刻に開催の当法人の会議のため欠席し、医事課長の代理でIが出席している。

また、当院側の新たな出席者として救急災害医療センター長のTが加わったことを報告し、Tより挨拶があった。

2）議事

（K）

本日はOが厚労省の会議で急に欠席となり、代わりに座長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

早速議事に入らせていただきます。最初に、Aより病院長の挨拶文をご披露いただき

ます。よろしくお願いいたします。

(A)

病院長から預かりました挨拶文を読ませていただきます。

「いつも当院の運営にご協力いただきありがとうございます。また、本日は急な会議のために参加できないことをご容赦ください。川崎市立多摩病院では引き続き地域に根差した医療を展開するために、様々な活動を行っております。市民への啓発につきましては多摩区民祭への参加や看護の日、医療安全週間の開催などを通じ実際の医療を地域の方々に体験していただく取り組みを継続しているほか、タウンニュースや川崎FMを通じた疾病に関する知識の普及に努めております。かわさきFMの放送内容につきましては、当院ホームページからも視聴できますので一度ご覧いただければと思います。

また、地域の医療者に向けた活動といたしましては、先日「地域連携の会」を開催し、地域の医療者の方々から様々なご意見を聞く会を設けたほか、引き続き各診療科からの疾病に対する最新知見をYouTubeを通じて発信する活動を継続しております。来年度は院内に広報部を立ち上げまして、こうした活動をさらに展開していくことを考えております。

医療を必要とする市民の方々へ寄り添うために、さらなる稼働の改善・救急医療体制の整備を進めています。

緩和ケア病床につきましては、これまで各診療科が個別に担当していたものを11月1日から新たに緩和ケア専門医を採用いたしまして、院内のみならず地域の緩和ケアの積極的なニーズに取り組むことを目指しています。今後とも当院の運営に関しましてご指導のほどよろしくお願いいたします。

地域医療支援とは関係ございませんが、先日11月13日に菅野美穂主演のフジテレビのドラマ「ゆりあ先生の赤い糸」のロケが当院で行われました。また、12月3日には4月の特別編として放送されます吉沢亮主演のTBSドラマ「PICU」の撮影も行われております。お時間があればご覧いただければと思います。」

以上でございます。

(K)

ありがとうございます。特に質問は無いということでよろしいでしょうか。

それでは議事に入らせていただきます。まず、議題 1. 救急患者数について、○より資料1について説明いただきます。

(2) 救急災害医療センター患者来院数について (資料1)

(○)

資料1は今年度10月までの救急災害医療センターへの患者来院数を示しております。最上段の救急患者取扱数A+Bをご覧ください。2023年度4月以降、7月が非常に多く来院して7月がピークとなっておりますが、それ以降やや減少傾向に転じております。救急災害医療センターに来院された患者さんの中で入院に至った患者さんは、平均で35パーセントとなっております。

(A) のウォークイン患者数ですが、ウォークイン患者数も 7 月をピークとして以降は減少に転じております。ウォークイン患者さんが入院に至ったパーセンテージは 10 月までの平均で、37 パーセントになっております。例年に比べて若干高い値で、昨年度は年間を通して 30 パーセントでした。

(B) 救急車による来院患者数ですが、同様に 7 月をピークに以後は漸減しております。入院に至った比率は現状では 33 パーセント、昨年とほぼ同等の値になっております。

一番下、緑のハイライトの紹介患者来院数ですが、今年度は例年と比較して多くの患者さんを紹介いただいております、紹介患者数は高い値で推移しております。

続きまして、下段の救急災害医療センター患者来院数 年度別月平均患者数をご覧ください。上のデータの月平均患者数を昨年度および一昨年度と並べて提示しております。2021 年度および 2022 年度と比較しましてウォークイン患者数は減少していますが、一方で救急車来院数が大きく伸びています。総数ではほぼ横ばいの状況にあります。最近の傾向として、紹介状をお持ちにならない発熱の患者さんが減少していきまして、当院では COVID はそれほど多く検出されていない状況で、インフルエンザの方が多い状況です。救急車では、施設での対応が困難であったり、誤嚥性肺炎や尿路感染症の方々を多く見受けます。近隣の施設では多くの COVID の方が発生したり、近隣の区でも増えてきているという情報がありますので、今後も注意が必要と思っております。

また、10 月 1 日から一般病床を大きく拡充しましたので、今後も救急医療を積極的に展開していきたいと考えております。

(K)

ありがとうございます。何かご意見あるいはご追加がある方はいらっしゃいますでしょうか。

5 類になって、救急災害医療センターの発熱患者さんの対応は今までと変わらず外のコンテナということになっているのでしょうか。

(T)

対応については大きな変更はありません。発熱の患者さんは外のコンテナでお待ちになっていて、救急車の患者さんは一定のエリアに区切って診察場所を限定しています。限定の仕方は現在はある程度緩くなっています。

(K)

ありがとうございます。救急車の応需率はいかがでしょう。

(T)

T 救急係長が一番詳しいデータをお持ちだと思います。

(T)

実数を申し上げてよろしいでしょうか。

(O)

どうぞお願いします。

(T)

応需率は 60 パーセントちょうどで、非応需率は 40 パーセントです。母数は 3 千を超えております。

(K)

ありがとうございます。

(O)

少しでも数値を上げられればと思っておりますが、実際のところオンコール体制になっている診療科があったり、外科系の一部では以前のように受けられないところがあるのでどうにか工夫して応需率を上げるようにしていきたいと思います。

少し変わった部分として、入院患者さんの面会を以前に比べて緩和しております。

(K)

他に何かご意見、ご追加はよろしいでしょうか。

それでは議題 2 です。紹介率・逆紹介率について O より資料 2-1 と 2-2 について説明をお願いします。

(2) 救急災害医療センター患者来院数について (資料 2-1, 2-2)

(O)

資料 2-1 は今年度と昨年度の地域医療支援病院の紹介率・逆紹介率を示しております。紹介率と逆紹介率の算出方法は資料の一番下に記載しております。当院の施設基準としましては、紹介率が 65 パーセントでグラフの赤い横線になります。逆紹介率は 40 パーセントで下の赤線になっております。実線が今年度、点線が昨年度の紹介率と逆紹介率を示しております。

今年度 10 月までの紹介率は平均で 78.8 パーセントとなっております。今年度の逆紹介率は 10 月までの平均で 80.0 パーセントとなっており、いずれも施設基準を大きく上回って推移しております。

紹介率の増加には紹介状を持参されないウォークイン患者さんが減少していることや、応需率というと 60 パーセントというお話でしたが、実数にすると去年より少し数が多くなっていますのでそのようなことが影響していると推測しております。また、逆紹介率の増加については、昨年度末からかかりつけ医の方々への診療情報提供書作成の推進に関する取り組みを行っておりますので、そのことも寄与しているのではないかと考えております。

一方で、紹介率については後ほど述べさせていただきますが、高額医療機器の共同利用での画像の利用が少し減ってきているのが影響していると考えております。

資料 2-2 の登録紹介医施設数の内訳ですが、現在の登録紹介医数は 456 件で、前回の会議から 1 件プラスになっています。医科が 367 件で 1 件プラス、歯科が前回同様 89

件です。多摩区内では総数が前回同様 172 件で内科が 112 件、歯科が 60 件です。

下の 2 つの表について説明させていただきます。登録紹介医施設からの紹介患者数に非登録紹介医施設からの紹介患者数も含めた紹介患者数の総数を示す表となっております。今年度 4 月から 10 月は概ねいずれの月も昨年度を上回る紹介数で推移しています。登録紹介医施設に限った値にしましても、現在まで昨年度を上回る紹介をいただいております。

上の左側の大きな円グラフをご覧ください。2023 年 10 月までの多摩区の登録紹介医施設からの紹介総数 6,255 件で 51.5 パーセント、多摩区以外の登録紹介医施設からの紹介総数は 1,283 件で 10.6 パーセントでした。この数値は例年大きな変化なく推移しております。非登録紹介医施設からの紹介数についてですが、法人内からの紹介数を除いた非登録紹介医施設からの総数は 3,852 件で 31.7 パーセントでした。法人内からの総数は 751 件で 6.2 パーセントで、この数値も概ね例年どおりです。患者さんのやりとりですが、今後東横病院から来られる患者さんが少し増えてくると予測しております。

(K)

ありがとうございます。ただ今の説明について何かご意見やご質問、ご追加等ありますか。

登録紹介医と非登録紹介医で、例えば窓口で何か区別するということはありますか。

(K)

窓口で患者さんを区別するということは一切無いです。

(K)

登録紹介医からの患者さんを優先するということは特に無いということでしょうか。

(O)

窓口では区別しておりません。ですが、やはり受ける側としては登録紹介医からというのはプレッシャーになってくると思います。

(K)

ありがとうございます。その他何かありますでしょうか。

無ければ議題 3 に移ります。

(3) 高額医療機器の共同利用 (資料 3)

(O)

先ほどお話ししましたが、CT と MRI の利用件数が昨年度と比較して、いずれも大きく減少しております。今年度になり明らかに利用が大きく減少している近隣の先生方がおられますので、近隣にできた画像専門施設の影響が大きいと推測しております。医療相談センターで一部の先生方にご意見を伺ってみますと色々な要因があり、当院の MRI は 1.5 テスラですが、画像専門のところは 3.0 テスラが入っており、領域によっては 3.0 テスラで撮りたいとのご意向があったり、画像専門のところは電話 1 本で予約がで

きるといった利便性や簡便性からそういった施設を選んでいるというご意見があります。また、コロナ下で当院が医療や検査制限をしている期間がかなり長かったので、その時に流れ始めてそのままそこへ依頼を継続していたり、なかなか依頼を受けてもらえないといったイメージが残っているというご指摘もありました。機材はすぐには変えられませんが、対応については一つひとつ丁寧に改善していきたいと思います。

超音波検査につきましては昨年度に比べて 40 件ほど多くなっております。内視鏡につきましては、上部内視鏡は今 1、2 週間で予約が取れる状況です。下部につきましては 2 月末から 3 月上旬まで予約が入らない状況です。緊急や緊急でなくてもできるだけ急ぎでやる方がよいという場合、医療相談センターにご連絡くださったときその旨をお伝えいただければ、準緊急枠を準備していますのでその枠をできるだけ対応していきますのでよろしくお願いいたします。

また、4 月以降に東横病院から内視鏡医 2 名が転入する予定で、非常に腕の優れた 2 名がまいります。枠の拡大のみならず治療や検査のクオリティもさらに上がって質の高い医療を提供できると考えております。

(K)

ありがとうございました。何かご質問はございますか。

(K)

ご説明の中で、CT と MRI の利用件数が減少しているのは近隣の画像専門施設を利用する方が増えてきた、とおっしゃっていましたが、多摩病院の中での適切な件数というのはあるのでしょうか。CT と MRI の件数に目標値があるかわかりませんが、件数が下がってくると経営に影響してくるといったことはありますか。

(O)

機器と人員について 1 日に対応できる人数のキャパシティはあり、上限まで設定しております。そこが病院としての適正な数になっておりますので、それを下回ってくるほど病院で行う検査が少なくなり経営に影響してきます。

(K)

今年の下がり具合をどう見ておられますか。まだ余裕があるのもっと入れたいのか、それともこのへんが full という状況なのでしょう。

(O)

余裕があると考えています。当日は仕方ありませんが、MR はご依頼をたくさんいただいていて、部位によっては 2、3 週間、あるいはもっと長い期間入らないときもありました。それが今は部位を問わず翌日や翌々日には予約が入る状況です。少し時間がかかる MR の部位もあり、数年前はそのようなものが入らなかったことが問題になっていましたが、最近は翌日でも入るようになってきています。近隣の先生や患者さんのお立場からすると翌日から入るのは良いことかもしれませんが、病院からしますと MR の予

約が翌日から入ってしまうのは、まだ十分に予約が入っていないと捉えます。

(K)

専門施設の機器と比べ、多摩病院の機器をもうちょっと向上させて患者さんに来ていただく方向は考えておられますか。

(O)

可能であればそうしたいところですが、高額な機器なのですぐに変えるというわけに行かないと思います。

(K)

わかりました。

(K)

紹介するときに手続きが簡単、電話 1 本で済むのは開業医にとってとてもメリットがあります。FAX で申し込み用紙を送って返信が来るまでに 20 分かかるよりも、電話 1 本で「どうぞ」と言われると、次からはそこへ流れるのは致し方ないと思います。

(O)

そのようなお声もいただいており、これから東横病院の患者さんもこちらで診るといいういことになると、地域の先生方の紹介と共にたくさん受けられる体制を構築していかなくてはいけないので、一つひとつの業務を見直して簡便化できるところは簡便化し、時間短縮していくことが大切だと思いますので、そこは丁寧に対策を立てていきたいと思っています。

(K)

ありがとうございます。FAX の返信が早く返ってくるとすごくありがたいです。他に何かございますか。よろしいでしょうか。では議題 4 に移ります。

(4) 地域医療従事者向け研修会（資料 4）

(O)

資料には 12 月 5 日分までが掲載されていまして、薬剤や訪問看護の研修会が行われております。まだオンライン開催することもあります、だいぶ対面形式が増えております。これからも積極的に研修会を開催していきたいと考えております。

また、動画版の市民向け講座も行っており、「10 分でわかる健康講座」というシリーズはこれまで 8 本の動画を公開しております。合計で 1 万 9 千回ほどの再生回数となっております。10 分でわかるシリーズ以外でも動画があり、こちらは 1 万 2 千回ほどの閲覧をいただいております。

登録紹介医向けの動画版診療科案内では得意分野の疾患や医療のご紹介をしており、現在まで 40 本を登録医の先生方にお送りして、こちらは 7 千 5 百回程度のご視聴をいただいております。

市民向け講座は対面開催までに至っておりませんが、時期を見て考えていくことになると思います。

(K)

ありがとうございます。何かご質問やご追加はありますか。

(K)

コロナ前は市民向けに対面で開催していて、出席した方が講師の先生に直接質問をするケースが結構あったと思います。YouTube 発信の動画でやると質問ができないので、YouTube のところを工夫して意見を出せるしくみはできないでしょうか。

(O)

検討したのですが、対策対応には至っていないので継続して検討していきたいと思います。

(K)

市民向けの対面講座は具体的にはいつ頃再開しますか。

(O)

具体的には決まっておりません。通院患者さん向けの、例えば透析関連の教室などは少しずつ講座が再開されてきています。もうしわけございませんが、いつと具体的にはお答えできません。

(K)

皆さん期待されていますので、ご検討をよろしくお願いします。その他この件で何かございますか。消防署から何かございますか。

(M)

特にございません。

(K)

Aはいかがでしょう。

(A)

生田緑地で開催されました多摩区民祭にご参加いただきましてありがとうございます。私は救護所にずっといたので多摩病院のブースを拝見できなかったのですが、職員に聞きますと他のブースと比べても市民の方がだいぶ並んでいるということでしたので、市民向けとはいっても健康講座とは違いますが、ぜひ来年以降も市民向け活動をよろしく願いいたします。

(O)

ありがとうございます。

(A)

一点お聞きしたいのが、春先にNからこの病院が水害を受けたときの対策として地下に発電設備等があつて厳しい状況とのことでしたが、対策の進捗状況を教えていただければと思います。

(M)

施設の性質上、医療設備ということでいろいろ規制がございましてやりたいことが自由にできる状況ではありませんが、できるものについては対策をおこなっております。現在、非常用発電設備のポンプの工事施工させていただいており、年末には完成する予定です。また、今後も国の方からも対策を求められると思いますが、こちらについても今、神奈川県に問い合わせをして情報の収集に努めているところでございます。

(A)

ありがとうございます。

(K)

K、歯科医師会から何かございますか。

(K)

特にございません。

(K)

Y、薬剤師会から何かございますか。

(Y)

薬薬連携の勉強会がスタートしておりまして、第2回が1月下旬から2月ということで話が進んでおります。おかげ様でだんだん話が盛り上がってきております。

(K)

ありがとうございます。K、何かございますか。

(K)

特にございません。

(K)

それでは次はその他、ということで何かございますでしょうか。

(6) その他

(O)

前回宿題でいただいております、紹介患者さんと逆紹介患者さんの詳細につきまして資料を1枚お配りしておりますので、医療情報部のIからご説明申し上げます。

(I)

お手元にあります「紹介入院患者の退院先施設」という資料を説明したいと思います。前回、Oから「紹介患者さんがどれくらい紹介元に戻っているのか、ぜひ調査いただきたい」と宿題をいただきましたので、入院患者に絞ってですが調査を行いました。なぜ入院患者なのか？というところですが、外来患者さんですと患者さんの症状に合わせて逆紹介するタイミングがまちまちで統計を取りづらかったので、今回は入院患者さんがどれくらいお戻りいただいているかを調査した資料となります。

2022年10月から2023年9月までに退院された患者さんをターゲットとしまして、紹介状をいただいてから90日以内に入院した患者さんが、退院後にどこに戻っているかを調べた資料になります。診療情報提供書が書かれたものですべての医療機関を検索しております。紹介元医療機関と書いてあるのが紹介をいただいた医療機関に戻っているパターン、紹介なし（診療情報提供書の発行なし）というのは診療情報提供書の発行は無いが経過報告書などによって紹介元の医療機関に患者さんの経過を説明しているパターンです。あとは他の病院へ転院されているパターン、他の医療機関に診療情報提供書が発行されているパターン、最後が老健などの施設に入所されているパターンになります。それぞれAクリニックからDクリニックのトップ4の医療機関を調査しております。この中にマリアンナ関連と川崎市関連施設は除いております。Aクリニックに関しては、年間135件の紹介後入院があり紹介元に戻っているのが72件、紹介状がないのが42件です。回復期など他院に転院されているのが9件、他の医療機関に診療情報提供書が記載されているのが10件、施設などに入所されたのが2件となっております。それぞれ医療機関別に出していますが、全体で元の医療機関に戻っているもの・経過報告書で診療情報提供書の発行が無いものを合わせますと、だいたい70、80パーセントがお戻りになっている、という結果になりました。

(I)

医療相談センターが訪問診療に関わっており、今年の4月から10月までのデータになりますが、医療相談の方で訪問診療に関わった件数が83件です。そのうち、かかりつけ以外に行かれた患者さんは5件でした。かかりつけに戻されている患者さんは94パーセントになります。5件はかかりつけの先生方が訪問診療をしていないということで、かかりつけの先生と相談させていただいて訪問診療のクリニックを決定させていただいている、という結果でした。

(K)

ありがとうございます。何かご質問はございますか。Iがお話があったのはこの資料の中に入っていますか

(K)

入っています。

(K)

その他というのは、専門が違うから他へ行きます、ということですね。

他にご質問やご追加はございませんか。特に無いようでしたら事務局からお願いします。

3) 閉会

(事務局より)

本日の議事録は委員長の確認後、各委員に配布させていただく。

また、次回開催日時を令和6年3月6日(水)13時30分からとし、14時30分、

Kの閉会の辞をもって終了とした。

以 上

第 50 回 川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会 議事録

日 時 令和 6 年 3 月 6 日（水）13 時 30 分～14 時 10 分

場 所 川崎市立多摩病院 2 階講堂

出 席 者

委 員 O, K, K, A, Y, K, M、I（陪席）、K

病 院（事務局）

医 師 N, O, A, T

看護師 I

事務職 A, K, S, I, M, K,

（川崎市病院局） M, A

配布資料

- ・ 病院長説明資料
- ・ 第 50 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会次第
- ・ 第 50 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会座席表
- ・ 救急災害医療センター患者来院数・・・・・・・・・・・・・・・・（資料 1）
- ・ 川崎市立多摩病院 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率・・・・・・・・（資料 2－1）
- ・ 登録紹介医施設からの紹介件数の内訳・・・・・・・・・・・・・・・・（資料 2－2）
- ・ 高額医療機器の共同利用・・・・・・・・・・・・・・・・（資料 3）
- ・ 川崎市立多摩病院地域医療従事者向け研修会・・・・・・・・（資料 4）

1）開会

多摩病院医療相談センター Mより開会が宣言され、本日は多摩消防署より委員のMと共に菅救急隊長の I が出席されている旨、説明があった。

2）議事

（O）

最初に、病院長より病院長報告をお願いいたします。

（1）病院長より報告事項

〔令和 6 年度目標〕

3 月になり令和 6 年度の目標を作成しております。令和 6 年度は「新たなステージへの展開 ―地域医療の中心となる医療機関として―」ということで 4 点、一つ目は「人員構成に左右されない確実な医療提供体制の確立」、二つ目は「働き方改革の推進」、三

一つ目は「旧東横病院との機能融合」で、色々にご迷惑をおかけしておりますが東横病院は3月いっぱいまで閉院しますので機能融合し、四つ目が「災害時医療のさらなる深化」の4点を掲げております。

[アクションプラン]

細かなことを決めて4半期ごとに評価をしていくアクションプランを作っております。一つ目が「安全で良質な医療の提供」、二つ目が「地域医療機関等との連携強化」、三つ目は「先駆的医療の推進」、続いて「優れた医療人の育成」、「安定した経営基盤の確立」、この五つの項目はすべて法人の附属病院の共通テーマになっています。多摩病院独自としては六つ目のその他というところで、「病院方針の周知徹底」「労働環境の整備」「旧東横病院との機能融合」等々を挙げ、来年度進めていく形になります。詳しいところは後ほどご覧いただければと思います。

後ろのスライドをご覧ください。

去年12月から何とか経営改善をしようということで、Tama Re-Energizing Project (TREP) というのを始めています。執行部がそれぞれのチームに入りT1からT5までであり活動しています。

T1は紹介患者・外来機能の拡充でMに担当していただき、T2は救急患者の拡充で救急車の搬入台数の拡充、これはOに担当していただいています。三つ目が算定漏れが無いよう確実に診療報酬を算定するというので、これはM院長補佐が担当し、四つ目の科別の稼働改善については副院長のAにご担当いただき、業務の見直しはIに担当していただいています。

そのうちの一つをご紹介しますが、このような診療科のパンフレットを作成し、東横病院が閉院しますので、中原区や高津区近辺で東横に通院されていた患者さんをできるだけ多摩病院で引き受けましょうということで広報していくことになります。

また、東横病院に通院していた患者さんのうち既に1,200人くらいを多摩病院に紹介いただき、当院で診療を継続していくことになります。

(O)

ありがとうございます。ただ今のご報告について何かご意見やご質問等、ございますでしょうか。新たなステージを目指すということで目標が立てられるているということですが、診療改定では多摩病院で大きな影響というのは無いでしょうか。

(N)

減収になるかもしれないという話でしょうか。そこは恐らく大丈夫だと思いますが、この後救急のことで触れるかもしれませんが、働き方改革についてはOにしっかりやっただいており、特に救急医療体制を変更することなくいけそうですが、他の医療機関が「今日は脳卒中を診られません」「外傷は無理です」等、いろいろ増えてくると、その病院の救急患者さんが当院に来た時にどこまで診療できるか、このへんが今後の課題になると思っています。

(O)

ありがとうございます。救急のフォローということでは働き方改革もありますし、聖マリアンナが宮前区の乳幼児検診への協力が難しいなど、働き方改革の影響が出ていますと医師会でも伺っています。

その他、よろしいでしょうか。無ければ議題2に移りたいと思います。議題2は救急患者数についてです。O、よろしくお願いします。

(2) 救急災害医療センター患者来院数について (資料1)

(O)

現在パンフレットがどんどんできあがってきていますが、(スクリーン上の)一番左側は僕がいる総合診療内科です。Oも良くご存じかと思いますが、この規模の病院でこれだけの人数の総診の医者がしっかり揃っているところが一つのウリになっているので、あえて全員の写真で表紙に臨んでいます。それぞれの診療科の特色がよく出ているパンフレットになっていますので、できるだけ早く皆様のお手元に届くようにしたいと思っています。

それでは報告に移らせていただきます。資料1をご覧ください。上段は2023年度1月までの救急災害医療センターへの患者来院数を示しております。一番上の救急患者取扱数A+Bですが、今年度1月までの救急患者取扱総数は7,206件でした。この表には表示しておりませんが、前年度2022年度1月までの取扱患者数の累積が7,472件でしたので、前年度との比較ではマイナス266件となっております。この要因として、2022年度は7月と12月の取り扱い件数が900件を超えており、この差が出ているものと推測しております。7月はCOVID-19の患者が非常に多く来ているのと、12月は大学病院の建て替えの影響で大学病院の診療制限に伴った多摩病院への患者さんの流入が影響していたと考えております。これらの患者さんが入院に至った比率は平均で34パーセントとなっており、概ね昨年同様か若干多い傾向にあります。

下の段の(A)はウォークイン患者数ですが、5月以降は300台で推移しております。2023年度今年度1月までの総数は3,332件となっております。こちらも数値としては紙面としてお出ししておりませんが、2022年度1月まで・同月までの総数が3,749件でしたので、前年度との比較では累計でマイナス417件となっております。ウォークインでは417件の減少が認められております。ウォークイン患者の減少は、最近ことに発熱患者さんが減少して、特に若年の方の受診が少なくなっているのと、救急でも選定療養費を頂戴していますので、選定療養費が入ってからそれなりに数が少なくなっている印象があります。これらの患者さん方が入院に至った比率は平均35パーセントで、昨年度と比べて少し高い数値で推移しております。

(B)は救急車による来院数です。今年度1月までの総数は3,874件です。2022年度1月までの総数ですと3,723件でしたので、救急車の数は昨年に比べてプラス151件となっております。これらの患者さんが入院に至った比率は34パーセントで、こちらも若干上がっております。

緑のハイライトになっているところは、救急災害医療センターへご紹介いただいた患者さんの数になります。こちらは昨年に比べて178件多くご紹介いただいております。ご紹介いただいた患者さんの入院比率は高くなっておりまして、平均64パーセントで

した。

救急災害医療センター患者来院数 年度別月平均患者数は、これらの数の年度別での平均数をプラスマイナスで比較しているもので、先ほどお話をさせていただきましたとおりウォークイン患者が減っており、救急車で来院数が増えている傾向にあります。最近の傾向は紹介状無しの若年の発熱者の数が減っているのと、コロナの患者さんは高齢者施設からのご依頼が多い傾向にあります。

また、先ほど病院長からお話がありましたが、4月以降の働き方改革を受けての当院の救急体制については、救急車の応需は救急医と内科系の医師で回しております。救急に対応する医師の日当直については勤務扱いにしました。夜勤明けで帰り代休を取らせる動きになりますが、しっかりと勤務し応需していくという意識を高めてもらうようになっています。しっかりと代休を取らなければいけないので、カツカツのところどううまく調整していかなければなりませんから、今後も課題が多いところであると考えております。多摩病院としては、医師の働き方改革の水準Aでいきますので、960時間以内の時間外・月80時間以内の時間外勤務を想定し運営していく予定です。

資料1については以上です。

(O)

ありがとうございます。ただ今のご報告について何かご意見、ご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

(N)

ウォークインが減って救急車が増えたというのは、本来であればウォークインで来るべき患者さんが救急車で来院しているのでしょうか。救急隊に確認したいのですが、救急車の出動件数が増えていて、最近特に介護施設から皆さん救急車で来ているのですが、昔は介護施設の車で救急受診する方がたくさんいたように思いますが、そこはどうなっているのでしょうか。

(O)

いろいろな施設からは救急車で来る方がほとんどです。施設の車で来院される方はまずいらっしゃらない印象です。

(M)

市の消防局の資料ではそのような割合は出しておらず、あくまでも私の印象ですが、施設からの119の内容を見ると「往診で対応してくれない」「往診医の指示」という理由で、確かに以前よりも増えている印象があります。

(O)

往診医の問題もあるということでしょうか。特別養護老人ホームに関しては嘱託医制度ですので、もともと訪問診療を行っておらず平均年齢が70を超えている先生達が診ているので、救急車指示とならざるを得ないとは思いますが。それ以外の施設に関しては、とりあえずまずは診に行く方が信頼関係が続くことになると思います。また、介護施設

の方々が人手不足で送っていくことができないのと、病院に言っても断られてしまうので救急車であれば確実に連れて行ってくれるという意識があるようです。以前、確か神奈川県に行った調査でしたが、そのような結果を見たことがあります。

この表の見方ですけども、緑の紹介患者来院数と（Ａ）＋（Ｂ）の人数は被っているということでしょうか。

（Ｏ）

そうです。（Ａ）＋（Ｂ）の患者数に緑の紹介患者来院数も入っております。

（Ｏ）

ありがとうございます。多摩病院では総合診療内科に入局する先生が毎年とび抜けて多いのは特筆すべきことで、そのような先生が救急に携わっているということですね。

（Ｏ）

はい、やらせていただいております。

（Ｏ）

多摩病院のアドバンテージが高い部分かと思ってお話させていただきました。

（３）紹介率・逆紹介率について（資料 2-1, 2-2）

（Ｏ）

資料 2-1 をご覧ください。今年度と昨年度の地域医療支援病院の紹介率・逆紹介率を示しております。紹介率と逆紹介率の算定方法は下に記載しておりますので、後ほどご覧ください。当院の施設基準は紹介率 65 パーセント、逆紹介率 40 パーセントで、赤い線で示しています。実線が今年度で点線が昨年度の推移となります。今年度 1 月までの紹介率は平均で 79.2 パーセントです。逆紹介率は平均で 80.5 パーセントとなっております。いずれも施設基準を大きく上回って推移しております。良好な数値の推移につきましては先ほどと重複しますが、紹介状を持参されないウォークイン患者さんが減少していることであったり、救急車来院数が維持できている、または増加傾向にあるということが寄与しているものと考えております。

2-1 は以上になります。

（Ｏ）

ありがとうございます。こちらにつきまして何かご意見・ご質問がある方はいらっしゃいますでしょうか。

紹介受診重点医療機関というのがあり、川崎市の病院もいくつか認定されています。この資料を拝見して、どの病院も紹介率は高いのですが、多摩病院は特に逆紹介率が高く、他の病院ですが逆紹介率が 50 を切っているところもあります。

（Ｏ）

昨年からは病院長発信で、地域の先生方へのしっかりした紹介状の作成に力を入れて、

連携を強めようとして取り組んでまいりましたので、それが維持できているのが一つの大きな要因だと思います。

(O)

私達医師会員にとっては逆紹介は大変助かりますので引き続きよろしくお願いいたします。

(N)

紹介率・逆紹介の中に高額医療機器の共同利用も入ります。MRIを撮りに来た患者さんの画像所見を、放射線科の医師が記載して返すというのも逆紹介に入っています。

(O)

ありがとうございます。他にはございませんか。

(O)

では、次に資料2-2を説明させていただきます。登録紹介医からの紹介数の内訳を示しております。現在の登録紹介医数は、今年度2月の時点で456件となっており、12月にご報告した数と変わりません。多摩区内の登録紹介医数は172件、医科112件・歯科60件で、これも前回と変わりません。

下2つの表ですが、登録紹介医施設からの紹介件数と非登録紹介医施設を含めた総紹介数の2つを示しています。今年度1月までのデータとなりますが、いずれの月も概ね昨年度を上回る数のご紹介をいただいております。

左上の円グラフは今年度1月までのものですが、多摩区登録紹介医施設からの紹介総数は8,764件、全体の51.2パーセントでした。多摩区以外の登録紹介医施設からの紹介総数は1,794件で10.5パーセント、概ね変化なく推移しております。同じ法人からのものを除く非登録紹介医施設からの紹介数は5,499件で32.1パーセント、法人内からは1,057件で6.2パーセントになっています。現在まであまり大きな数の変化はなく概ね例年通りですが、今後は法人内の東横病院からの患者数が増えてくると、東横病院にご紹介いただいていた医療施設からのご紹介、特に睡眠時無呼吸(SAS)の専門外来が当院に移行されますし、東横病院のベテランの内視鏡医が異動してまいりますので、そのあたりの数が増えていくことが予想されます。

資料2-2につきましては以上です。

(O)

ありがとうございます。こちらの報告につきまして、ご意見・ご質問はありますでしょうか。

非登録紹介医施設は多摩区以外の方が多いのでしょうか。

(O)

多摩区以外がほとんどです。

(O)

ありがとうございます。他にはよろしいでしょうか。なければ議題 4 に移りたいと思います。

(4) 高額医療機器の共同利用 (資料 3)

(O)

前回同様にCTとMRIの数が伸び悩んでおります。特にMRIの数が昨年度と比較し大きく減少しております。近隣に開設されている画像専門の医療機関へ流れているのが推測され、簡単に予約が取れるというのが一番のメリットになっているのではないかと、患者さんからも予約が取れますので、できるだけ当施設でもFAXや電話などで手間をおかけしておりますので、そこを簡便にできないかと検討しているところです。できるだけ簡便化し、医療機関からの予約取得方法の時間を短くコンパクト化を目指しておりますので、システムができましたらお知らせしたいと思います。

内視鏡につきましては、以前と比較し消化器内科の内視鏡医が少ないということで、受け入れを制限せざるを得ない状況が続いております。現在上部(胃カメラ)では2週間以内で予約が取れますが、大腸カメラにつきましてはもうしわけないのですが、現時点で5月末くらいになってしまいます。当院に大腸内視鏡が必要な紹介患者さんが来院されたとき、このことをご説明しますと僅かではありますが他の医療機関に行かれる方もいらっしゃると思います。できるだけ早く予約枠を拡大したいと考えております。先ほど申しましたが、東横病院からベテランが2名と非常勤ですが医師が勤務することになっておりますので、内視鏡の運用については着任次第枠を広げ、少しでもお受けできるよう検討してまいります。

(O)

ありがとうございます。こちらのご報告につきまして、ご質問やご意見はありますでしょうか。

(K)

ここでの質問でよろしいのかわかりませんが、市立井田病院では病院と登録医の間にホットラインを引いていると聞いております。前回KからFAXでやりとりして時間がかかるとい話がありましたが、ホットラインを引けばパッと早くなってよくなるのではないかと思いますのですが、そういうことに関しての現在の進め方はいかがでしょうか。

(O)

外科についてはAがホットラインを持っていて運用しています。循環器についてもホットラインがありますが、運用状況についてはTが出席していますので、説明をお願いします。

(T)

循環器と脳卒中のホットラインが現在どこまで稼働しているか把握し切れていないの

ですが、循環器はつい先日開業医の方々向けに「ここに電話をかけてください」というマグネットの表示を作成し、より利用しやすくなるよう活動していたと思います。

(K)

登録医の先生方にはホットラインの番号を開放しており、パウチしたものをお配りしています。

(O)

その他いかがでしょうか。MRIが減っているのは整形が減っているとか脳の撮影が減っているなど、部位的なものがあるのでしょうか。

(O)

全般的に減少しています。

(K)

全般に減っていますが、明らかに減っているのが整形系の脊椎系で、以前脳のMRの枠を増やした関係で脊椎がより取りづらくなったというのがあり、整形系の依頼が当院に来なくなったというのがあります。

(O)

診診連携で紹介したときに、患者さんから「(多摩病院ではなく)よそで撮ってきてと言われた」と聞くことが多く、整形系ではそのような動きがあるのかなと思っておりました。また、マリアンナ系の先生でもそのようなことがありました。

(O)

ありがとうございます。今、整形はすぐ撮れます。昔は脊椎や胸椎はいっぱい撮れなかったのが、今は翌日くらいから撮れるようになっています。ぜひご利用ください。

(O)

整形系のアピールをお願いしたいと思います。その他いかがでしょうか。無ければ続いている話題に行きたいと思います。

(5) 地域医療従事者向け研修会 (資料4)

(O)

資料4は地域医療従事者向けの研修の一覧です。今まで行ったものから今後行う予定のものを記載しております。医師に限らず看護師や薬剤師など多職種が取り組んでおり今後も継続していきます。最近は対面での開催が少し増え、Web開催が少し減ってきている印象がありますが、まだハイブリッドでやるなど工夫して継続している状況です。

参考資料として、今回は診療科の動画配信の視聴回数を付けています。YouTube配信していますが、川崎チャンネルでよろしいですか。

(M)

診療科案内の動画については川崎チャンネルにU pしておりません。YouTube 上で限定公開しております。

(O)

各診療科がトピックスをお伝えしておりまして、2 月末までに 7,357 回の閲覧履歴があります。動画版の公開講座については川崎市が管理する川崎チャンネルにこれらの市民向けの講座をU p させていただいております。こちらの閲覧回数は 2 月末までで 2 万 1 千回を超え、医師に限らず薬剤師やリハビリ技師なども参画しており、今後も継続していく予定です。

(O)

ありがとうございます。ただ今のご説明につきましてご意見などございますでしょうか。研修会には様々な方々にご参加いただいております、交流が深まるのではないのでしょうか。

(O)

緩和の医師が着任しましたので、最近は緩和に関する研修会や講演会も積極的に開催しております。

(O)

ありがとうございます。他にはよろしいでしょうか。次に議題 6) その他ですが、何かございますでしょうか。

特にないようですので、事務局からお願いいたします。

3) 閉会

(事務局より)

本日の議事録は委員長の確認後、各委員に配布させていただく。

また、次回開催日時を令和 6 年 6 月 5 日 (水) 13 時 30 分からとし、14 時 10 分、〇の閉会の辞をもって終了とした。

以 上

(様式例第 19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	患者相談窓口、相談室、病棟面談室
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	・医療福祉相談部門(ソーシャルワーカー) 宮川 恵子、川上 加奈、荒井 悟、小林 千佳、 安重 泉 ・看護相談部門(看護師) 藤井 真樹、郡 さゆり、アニン祥子、井之上 寿子 田村 早紀子、江間 真理子、田中 秀典、 三原 香奈子、早川 光恵、岡田 知絵
患者相談件数	7,340 件
患者相談の概要	
◎心理的・社会的問題の調整援助 ◎退院援助 ◎社会復帰援助 ◎受診・受療援助 ◎経済的問題援助 ◎社会制度活用援助 ◎人権擁護 ◎その他	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	① 有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 財団法人 日本医療機能評価機構、令和6年1月受審 認定期間：令和6年6月5日～令和11年6月4日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	① 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 ホームページ(医療機関向けお知らせや催し物案内、患者向け受診案内等) 診療のご案内(年1回更新) 外来担当医表(毎月地域医療機関へ送付) 地域医療連携室より(毎月検査の予約状況の案内を地域医療機関へ送付) 各診療科より(毎月診療科案内動画をQRコードにして配信 毎月各診療科からのお知らせを地域医療機関へ送付)	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	① 有・無
・退院調整部門の概要 医療相談センター看護相談(在宅医療相談) 医療相談センター医療福祉相談(転院、入所相談)	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	① 有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 「脳卒中」	